

# 令和7年度 第五回TDPFコミュニティイベント

令和8年3月6日（金曜日）

# 本日の次第

1	<b>開会挨拶</b>	東京都デジタルサービス局 データ利活用担当部長 小林 孝幸
2	<b>採択プロジェクトの成果発表</b>	株式会社コア グロースエンジン事業本部 執行役員 本部長 金城 広 氏
		国立大学法人電気通信大学 国際社会実装センター センター長 特任教授 石垣 陽 氏
		東京海上スマートモビリティ株式会社 モビリティ事業部 部長 児島 慎也 氏
		日本電気株式会社 スマートシティ統括部 シニアプロフェッショナル 高地 成彦 氏
	一般社団法人港区観光協会 事務局長 茂木 春良 氏	
3	<b>TDPF事務局からのお知らせ</b>	東京都デジタルサービス局 データ利活用担当 課長代理 清水 紘司
4	<b>データ可視化で見える街の実態・変化</b>	一般財団法人GovTech東京 テクノロジー本部 データ利活用グループ エキスパート 櫻川 輝和

# 採択プロジェクトの成果発表

# フェーズフリーの 地域密着型情報配信プロジェクト

株式会社コア

グロースエンジン事業本部 執行役員 本部長

金城 広 氏



# 令和7年度 東京データプラットフォーム ケーススタディ事業 第五回TDPFコミュニティイベント発表資料

## 「フェーズフリーの地域密着型情報配信プロジェクト」

2026年 3月 6日

運行状況



埼京線

強風の影響で、直通運転を中止している

進路予想

南の海上にあり、時速25キロで西北西に進んでいる。中心気圧は985hPa、中心付近の風

実施主体



株式会社 コア



Lambda Systems



JX 通信社



TV番組・CMデータの調査・分析・配信

協力企業

JCOM株式会社、株式会社ジェイコム東京  
(配信地域：世田谷区/狛江市/調布市)

# アジェンダ

1. プロジェクト概要

---

2. 今年度目指す成果

---

3. 今年度の取組

---

4. 今年度の成果

---

5. 今後の展望

---

# 1. プロジェクト概要

## 1. プロジェクト概要

デジタルに不慣れな層には届けられていなかったSNS等で配信される平時・有事のリアルタイム情報をテレビ等で届け、情報への関心を喚起し、防犯・防災活動や地域コミュニティへの参画の促進を図る

### プロジェクトの背景・目的

#### プロジェクトの背景

デジタルに不慣れな層に対し、SNS等で配信される地域の生活情報や緊急性の高い災害情報などのリアルタイムな情報を届けられていない

50歳以上の中高年齢層は  
依然テレビからの  
情報の入手が根強い

SNS等で配信されるリアルタイムな情報が届かず、地域社会と繋がる機会の損失や災害時の初動対応の遅れ等  
のリスクがある

リアルタイム性と信頼性を両立した  
平時・有事の有益な情報を  
届ける手段の確立が求められている



#### プロジェクトの目的



テレビ等の伝統的なメディアを通じ、  
SNS等で配信されるリアルタイムな平時・有事の地域情報を届け、  
デジタルに不慣れな層の防犯・防災活動促進、地域コミュニティ参画に繋げる



## 1. プロジェクト概要

デジタルに不慣れな層を対象に、実際のCATV放送や地域住民が集う場所でのサイネージ配信を通じ、SNS情報の正確性も担保した平時・有事のきめ細かいリアルタイム情報を届け、その効果を検証する

### 取り組む課題の全体像

- ① SNS情報の正確性を担保し、地域毎のきめ細かい災害、事件・事故、生活情報として活用
- ② データを情報配信プラットフォームに集約し、  
実際のケーブルテレビ(以降 CATV)放送や、デジタルサイネージ(以降 サイネージ)で情報配信
- ③ 視聴効果や各種施策の検証を通じ、本プロジェクトの成果をTDPFに横展開

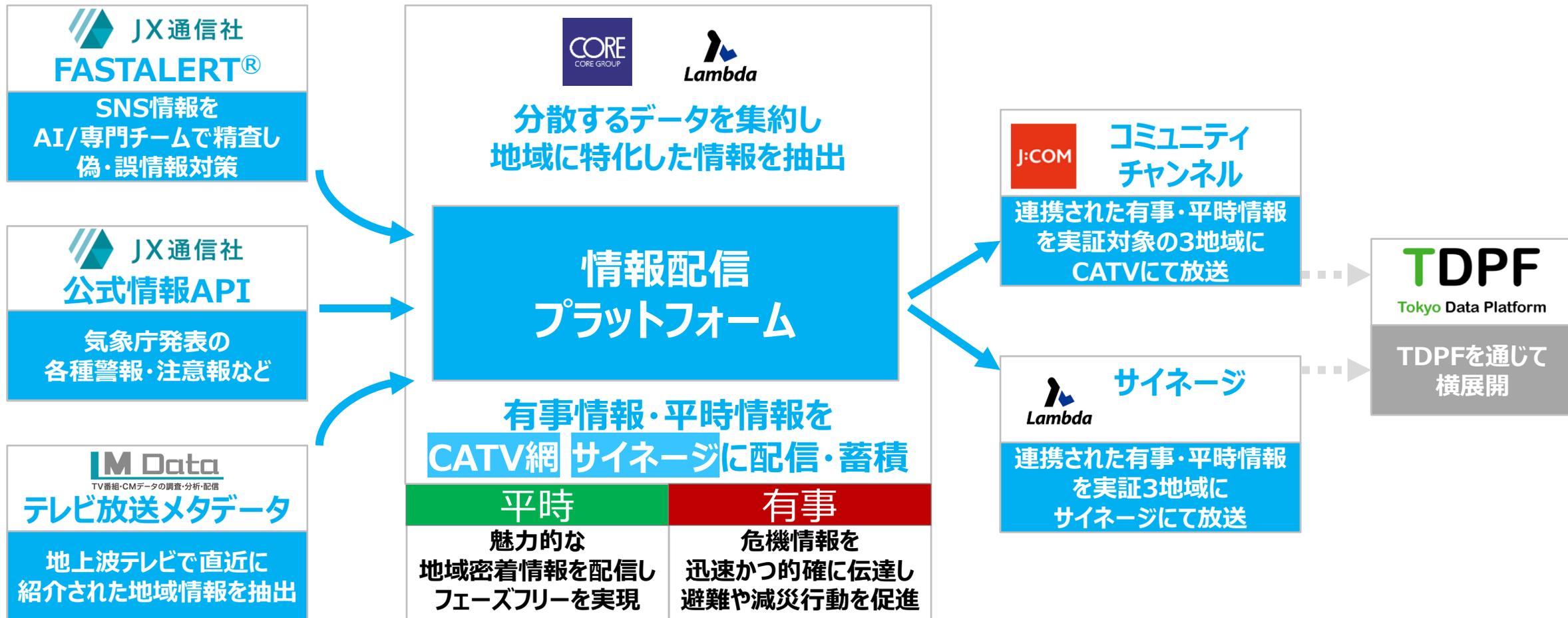
### プロジェクト全体スキーム



# 1. プロジェクト概要

TDPF会員のデータを駆使して地域住民にしっかり情報を配信できるデータフローを確立し、着実な情報配信とともに自治体側で配信データを蓄積・再利用できる仕組みを構築する

## 地域住民への情報配信フロー

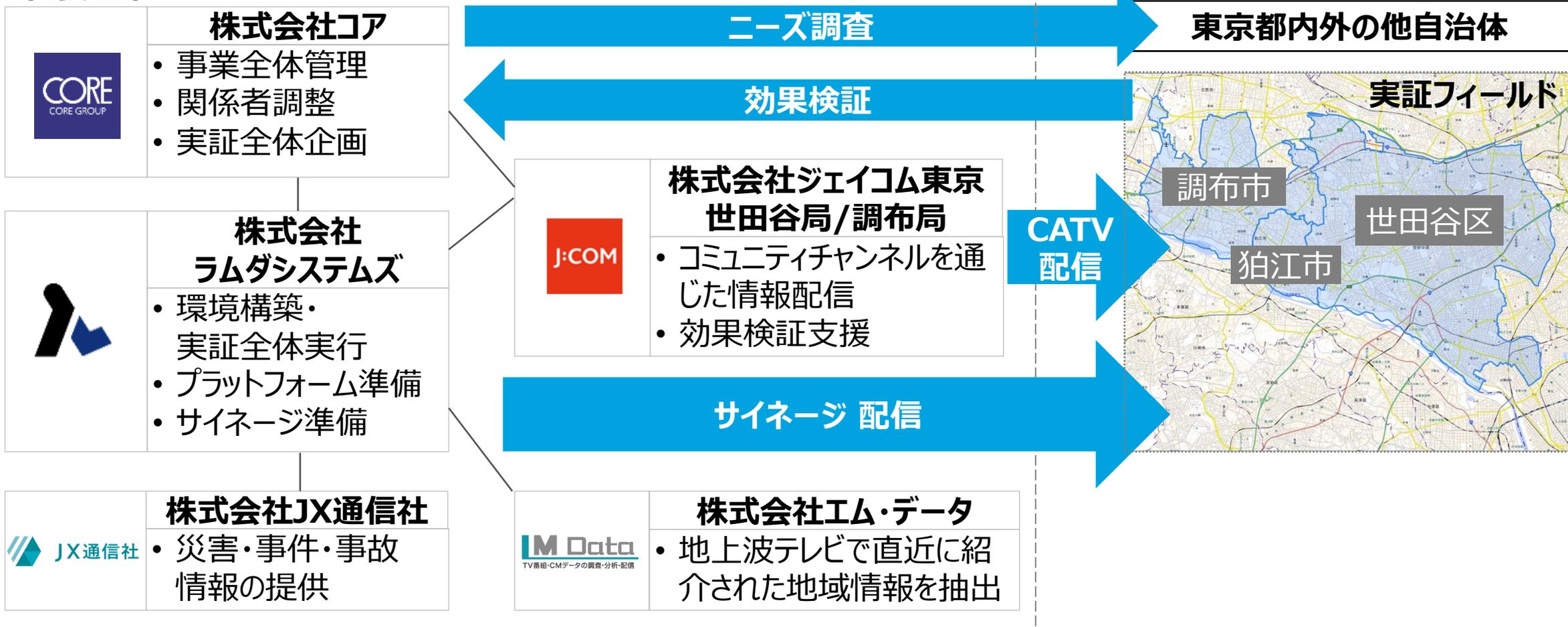


# 1. プロジェクト概要

デジタルに不慣れな層を対象に、実際のCATV放送や地域住民が集う場所でのサイネージ配信を通じ、SNS情報の正確性も担保した平時・有事のきめ細かいリアルタイム情報を届け、その効果を検証する

## 実施体制

### 代表企業



## 2. 今年度目指す成果

## 2. 今年度目指す成果

「デジタルに不慣れな層にとって、配信情報に新規性があったか」「配信情報によって、何かしらの行動変容が生まれたか」「情報配信を今後も継続して欲しいか」を検証し、本情報配信の有効性を明らかにする

### 今年度目指す成果



#### 配信情報の新規性

##### 検証観点.1

デジタルに不慣れな層  
にとって配信された情報は  
知り得なかった情報か？



#### 配信情報による行動変容

##### 検証観点.2

配信された情報によって、  
何かしらの行動変容は  
生まれたか？



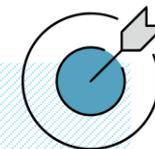
#### 情報配信への満足度

##### 検証観点.3

CATVやサイネージでの  
情報配信は  
役に立つと思うか？



上記3観点を検証し、テレビ等の伝統的なメディアで  
SNS等で配信されるリアルタイムな平時・有事の情報を配信することの有効性を明らかにする



### **3. 今年度の取組**

### 3.今年度の取組

地域性のある有事・平時情報をCATV、デジタルサイネージにて配信し、  
防災・防犯意識の向上と地域活性化につなげる

#### 全体概要



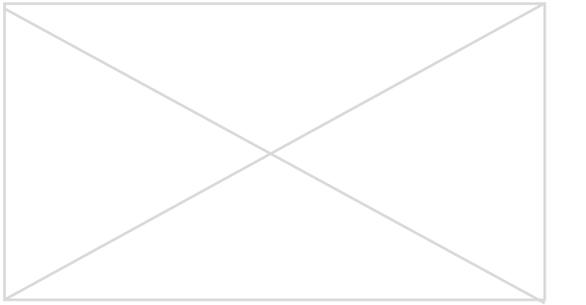
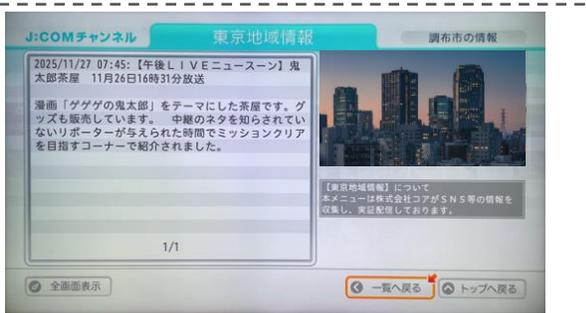
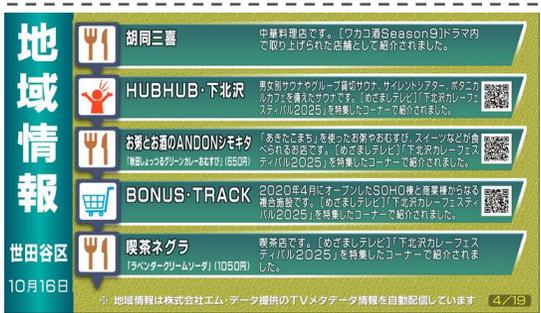
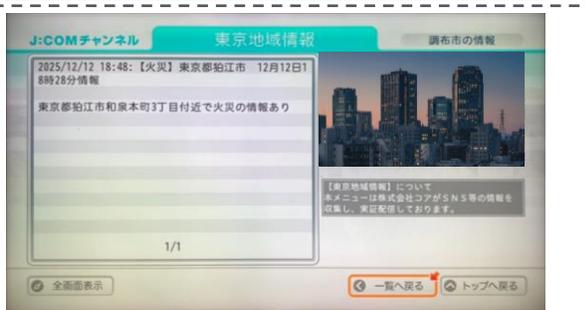
#### 実施事項

- 1 JX通信社 FASTALERT® や、エムデータ社のTVメタデータを活用し、リアルタイム性の高い有事・平時情報を取得、データベースに蓄積
- 2 J:COMコミュニティチャンネルへ連携・放送、また、これまで培ったテロップ技術を用い、データをリアルタイムでレンダリングしてサイネージで放送
- 3 J:COMチャンネルやデジタルサイネージの視聴者よりアンケートを取得、実証実験の検証を行う

### 3.今年度の取組

CATVはデータ放送にて配信、サイネージは視認性の高い画像情報を表示するなど、媒体に適した配信方法にて実証を行った

### 情報配信概要

	情報種別	CATV	サイネージ
<p>平時情報</p>	<p>①自治体情報</p> <hr/> <p>②生活・飲食</p> <p>③観光</p>	 <hr/> 	 <hr/> 
<p>有事情報</p>	<p>④気象情報</p> <p>⑤河川・道路</p> <p>⑥ライフライン</p> <p>⑦事件・事故情報</p> <p>⑧その他 危険動物</p>		

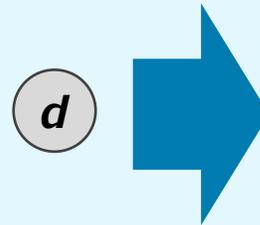
### 3.今年度の取組

CATVを通じた情報配信においては、dボタンを押すことで、中高齢層でもSNS等の情報を簡単に閲覧できるよう仕様を検討した

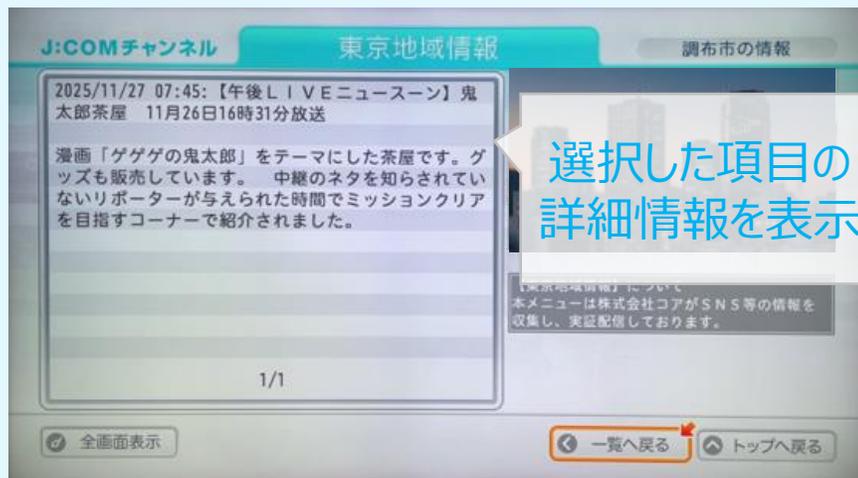
#### CATVの実証概要



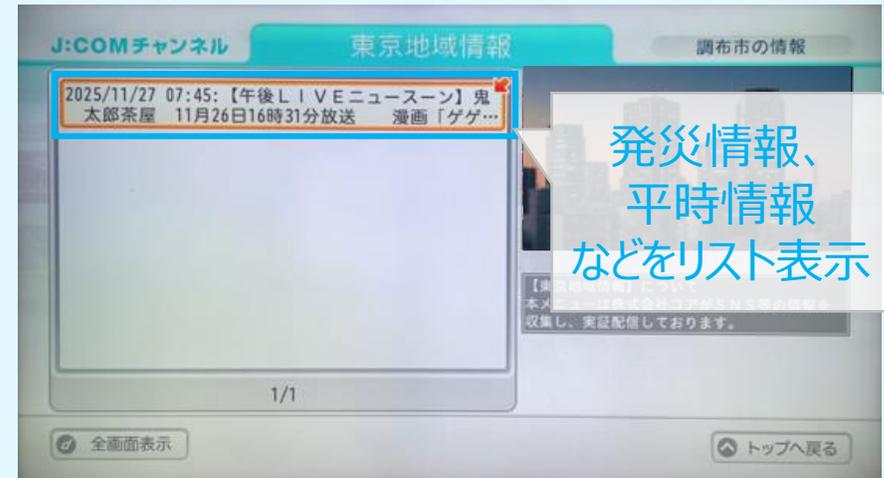
dボタンを押下



「東京地域情報」を選択



リスト内の項目を選択



### 3.今年度の取組

情報配信の実証フィールドとして世田谷区、狛江市、調布市の3地域を設定し、サインージ端末を各2式（うち1式を常設）設置し、地域住民への浸透を図った

#### サインージの設置箇所



世田谷区	1	コア マーリンカフェ
	2	世田谷区 シルバー人材センター



狛江市	3	狛江市 シルバー人材センター
	4	狛江市役所



調布市	5	調布市 シルバー人材センター
	6	調布市文化会館 たづくり



出典：「国土数値情報（行政区域データ）」（国土交通省）（<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2025.html>）（2025年9月8日取得）  
出典：「地理院地図」（国土交通省）（<https://maps.gsi.go.jp/>）を使用して表示しています（2025年9月8日使用）

### 3.今年度の取組

## 情報に応じた視認性の高い情報提供により、地域住民の行動変容を促す

### サイネージの画面イメージ

**有事情報**

**発災情報**

世田谷区  
1月23日  
15時28分現在

- 気象警報・注意報** 東京都では、強風や高波、落雷、空気の乾燥した状態が続くため、火の取り扱い、霜に対する農作物の管理に注意してください。  
昨日 4:20
- 交通事故** 東京都世田谷区 国道246号 玉川通り 新二子橋付近で交通事故の情報あり  
昨日 20:00
- 不審者情報** 東京都世田谷区上北沢4丁目付近で不審者の情報あり  
昨日 19:30
- 気象警報・注意報** 東京都では、強風や高波、急な強い雨、落雷、空気の乾燥した状態が続くため、火の取り扱い、霜に対する農作物の管理に注意してください。  
昨日 16:05

※ SNS等の目撃情報を「X通信社 FASTALERT」のAIが検知した情報を自動配信しています 4/4

**行政情報**

粕江市  
12月15日

- イベント情報** 12月15日(月) たのしいのがちのクリスマスおはなし会(野川地域センター)
- イベント情報** 12月20日(土) 令和7年度 文化庁伝統文化親子教室事業「粕江能楽教室」発表会
- イベント情報** 12月21日(日) クリスマスパン教室(上和泉地域センター)
- イベント情報** 12月25日(木) フラワーアレンジメント教室「お正月を迎える花」(岩戸地域センター)
- イベント情報** 12月26日(金) フラワーアレンジメント教室「お正月にお花を飾りましょう!」(南部地域センター)

2/5

**平時情報**

**地域情報**

世田谷区  
10月16日

- 胡同三喜** 中華料理店です。[ワカコ酒Season9]ドラマ内で取り上げられた店舗として紹介されました。
- HUBHUB・下北沢** 男女別サウナやグループ貸切サウナ、サイレントシアター、ボタニカルカフェを備えたサウナです。[めざましテレビ]「下北沢カレーフエスティバル2025」を特集したコーナーで紹介されました。
- お粥とお酒のANDONシモキタ** 「あきたこまち」を使ったお粥やおむすび、スイーツなどが食べられるお店です。[めざましテレビ]「下北沢カレーフエスティバル2025」を特集したコーナーで紹介されました。
- BONUS・TRACK** 2020年4月にオープンしたSOHO様と商業種からなる複合施設です。[めざましテレビ]「下北沢カレーフエスティバル2025」を特集したコーナーで紹介されました。
- 喫茶ネグラ** 喫茶店です。[めざましテレビ]「下北沢カレーフエスティバル2025」を特集したコーナーで紹介されました。

※ 地域情報は株式会社エム・データ提供のTVメタデータ情報を自動配信しています 4/19

**アンケート募集**

**アンケート募集!**

アンケート用紙への記入  
または  
携帯電話でQRコードを読み込み  
どちらかの方法でご意見ご感想を  
回答をお願いします

QR  
コード

## 4. 今年度の成果

#### 4.今年度の成果

実証のターゲット層は、デジタルに不慣れな層であり、  
平時・有事の主な情報入手元としてアナログと回答いただいた方をデジタルに不慣れな層と分類した。

#### アンケート収集の考え方（デジタルに不慣れな層の分類）

デジタルに不慣れな層を判断する上での前提

主な情報入手元としてアナログと回答頂いた方をデジタルに不慣れな層と分類する

##### <アンケート選択肢>

- アナログ：テレビ/新聞・チラシ/ラジオ/知人・家族からの伝聞/防災無線(有事のみ)
- デジタル：LINE/SNS(X・Instagram等)/アプリ(自治体公式アプリ/地域情報アプリ等)  
/Webサイト(ニュースサイト・自治体ホームページ等)

収集結果

アンケート  
全 478件中

対象アンケート 147件※

※ 有事/平時双方にて、主な情報入手手段1位、2位をアナログと回答者を対象とする

## 4.今年度の成果

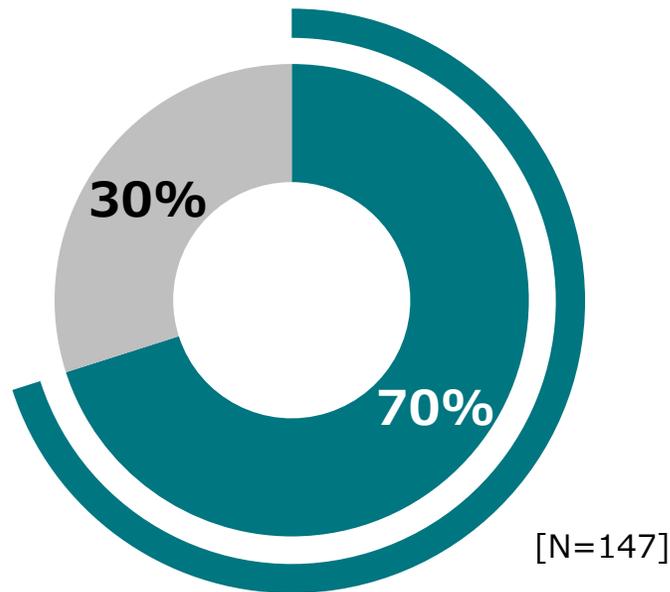
アンケートに答えたデジタルに不慣れな層の約7割にとって、新規性のある情報を配信できた

### 効果検証 1/3

#### 検証観点.1

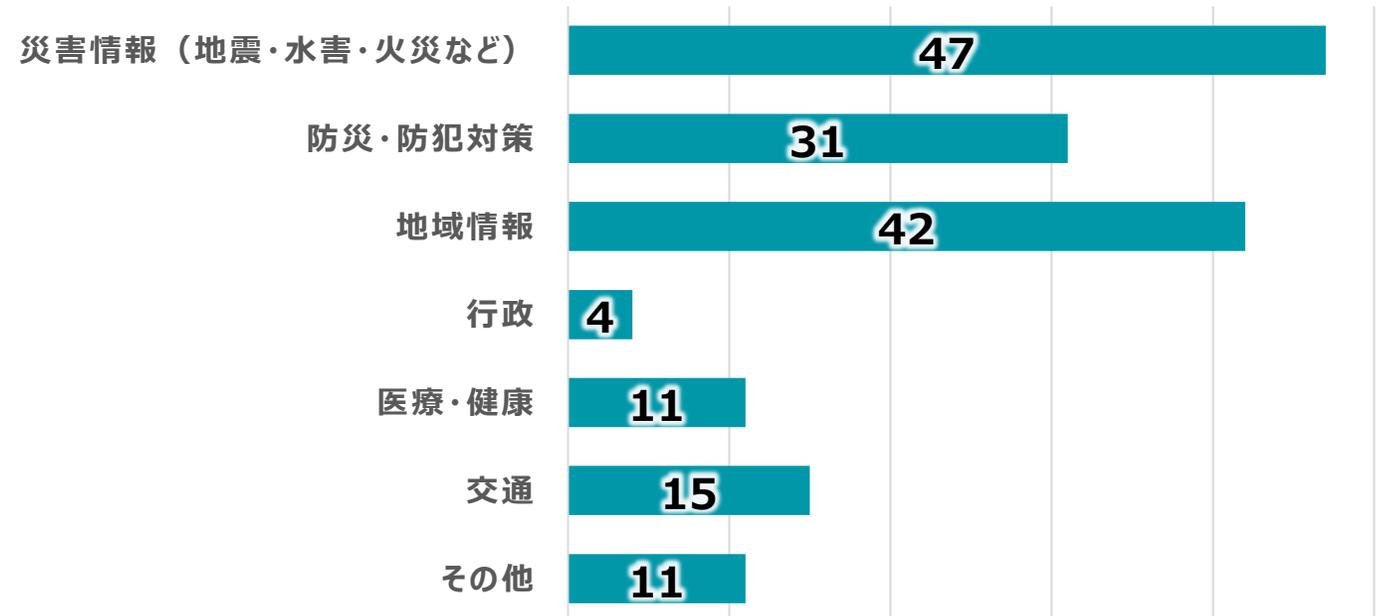
### デジタルに不慣れな層にとって配信された情報は知り得なかった情報か？

#### 配信した情報に新規性を感じたか？



- 新規性を感じた(各種配信情報のいずれかに新規性を感じた回答者の割合)
- 新規性を感じなかった

#### どのような情報に新規性を感じたか？(複数回答)



- 新規性を感じた

## 4.今年度の成果

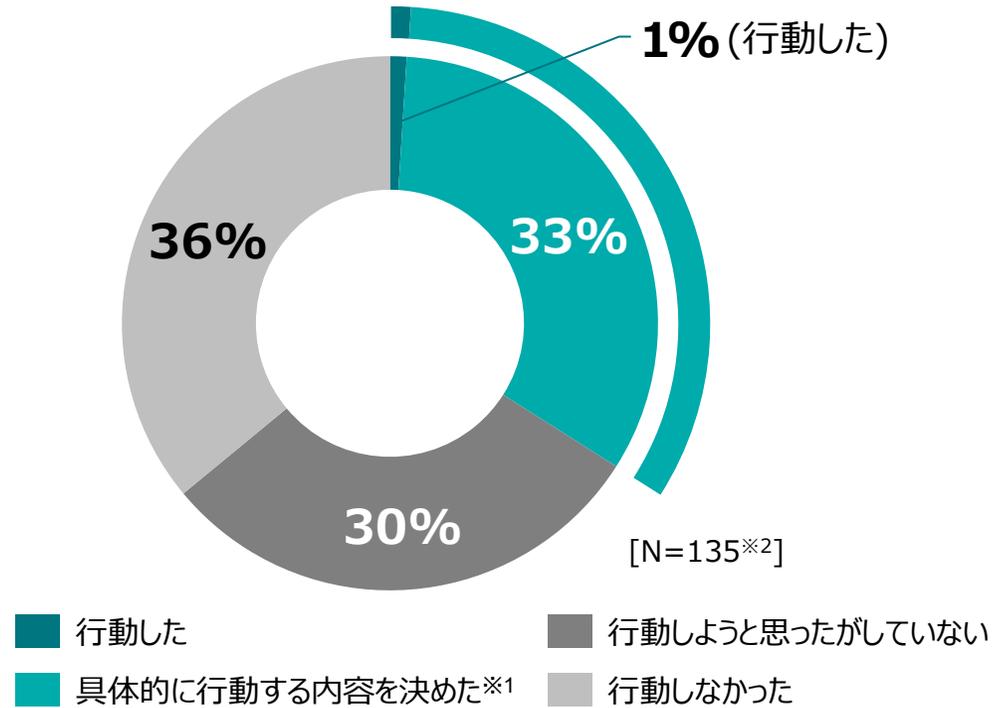
地域イベントへの参画や避難所位置の確認・ハザードマップ閲覧のような防災活動のような行動および意識変容を促すことができた

### 効果検証 2/3

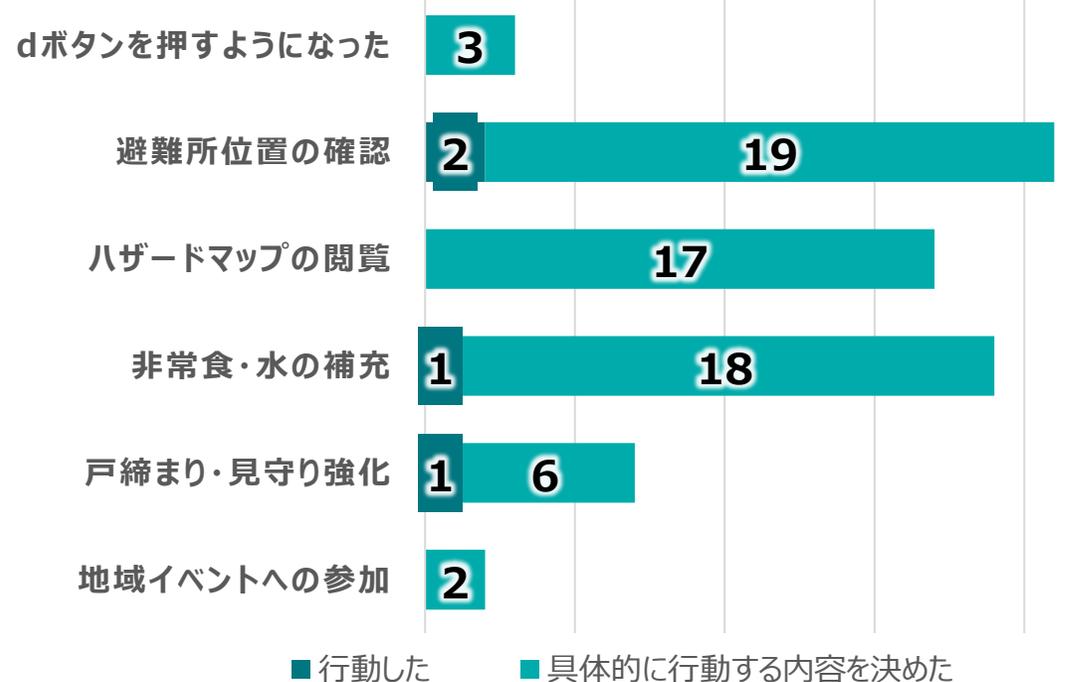
#### 検証観点.2

### 配信された情報によって、何かしらの行動変容は生まれたか？

CATVやサイネージ配信情報を見て、実際に行動したか？



実際にどのような行動をしたか (複数回答)



※1 各種シルバー人材センターにて収集したアンケートは当日のみの視聴であることから、“行動した”、“少し時間をおいて行動した”を“具体的に行動する内容を決めた”へ変更して集計

※2 無効回答が12件あり、n数が変更

## 4.今年度の成果

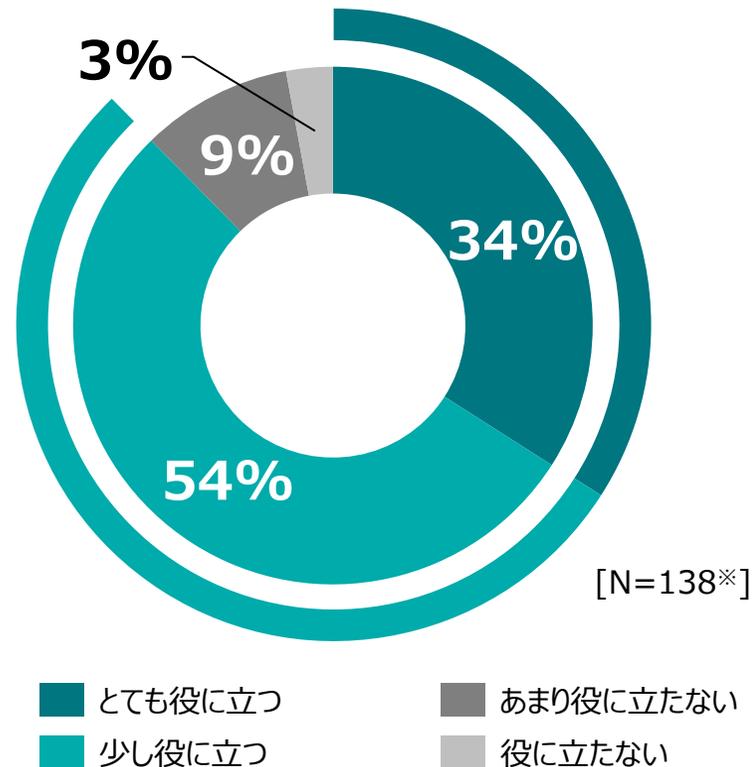
デジタルに不慣れな層の約9割に、本情報配信が役に立ったと感じていただけた

### 効果検証 3/3

#### 検証観点.3

CATVやサイネージでの情報配信は役に立つと思うか？

CATVやサイネージ配信情報は役に立つと感じますか



※ 無効回答が9件あり、n数に変更

#### 4.今年度の成果

CATVのアンケートにおいても、地域住民から多くの生の声を収集できた

SNSも活用した人手を介さない自動的な災害情報の配信放送は初であり、住民にも受け入れられた

#### CATVのアンケート(主な声を抜粋)

##### 配信内容について



GOOD

現在の情報でよいと思う

調布市  
女性



MORE

地域のイベント紹介(を行ってほしい)

調布市  
女性



MORE

地上波で配信しない情報  
(を配信してほしい)

調布市  
男性

##### 配信形式について



GOOD

もっと活用したいと思う 帰宅したら  
即リモコンのdボタンを押してみたい!

狛江市  
女性



GOOD

ケーブルテレビを使用していないが、  
常時観れるようで、情報収集も含め取り  
入れてみたいと思った。

調布市  
女性



MORE

重要な情報はdボタンなしで表示する  
(ようにした方が良くはないか)

調布市  
男性

#### 4.今年度の成果

サイネージのアンケートにおいても、地域住民から多くの生の声を収集できた  
SNSを活用した人手を介さない自動的な災害情報の配信は初だったが、住民にも受け入れられた

#### サイネージのアンケート(主な声を抜粋)

配信内容について

 **GOOD**  
せつかくの情報を知らない方が多い様に思われる

 **GOOD**  
信頼性の高い情報を配信し続けてほしい

 **MORE**  
町内会のイベント紹介(を行って欲しい)

粕江市 女性  
世田谷区 男性  
調布市 男性

配信形式について

 **GOOD**  
設置場所を増やしてほしい

 **MORE**  
情報の信頼性を確認する方法、  
情報提供元の明示等(を行って欲しい)

 **MORE**  
高齢者には分かりにくいと思います

世田谷区 男性  
世田谷区 男性  
粕江市 女性

#### 4.今年度の成果

人手不足の時代にあって、自助・共助のために民間スキームによる平時・有事の地域情報配信を通じて行政側の業務を低負担で支援できる具体的なモデルを提示できた

#### 実証自治体からの声

	世田谷区	狛江市	調布市
評価点		<ul style="list-style-type: none"><li>自動的にCATV、サイネージへの情報配信がなされ、自治体職員の労力がかからず使用できる点</li><li>ファクトチェック済みのSNS情報が配信される点</li><li>市民の情報源となるツールが増えることは良いことと考える</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>自動的にCATV、サイネージへの情報配信がなされ、自治体職員の労力がかからず使用できる点</li></ul>
改善点	<ul style="list-style-type: none"><li>一斉送信機能等と連動する仕組み</li><li>単独自治体での実施よりも、隣接する調布市・狛江市と連携した「広域連携」としての取組</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>ファクトチェック済み情報の活用方法の検討</li><li>防災関連部署以外での導入</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>単独自治体での実施よりも、隣接する世田谷区・狛江市と連携した「広域連携」としての取組</li></ul>

## 5. 今後の展望

## 5. 今後の展望

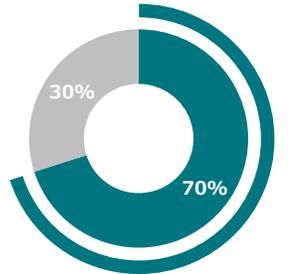
アンケートの回答から本実証を検証した結果、地域住民からの声を収集できたことから、一定の意義が認められたと考える

### 今年度の総括



#### 配信情報の新規性

##### 検証結果



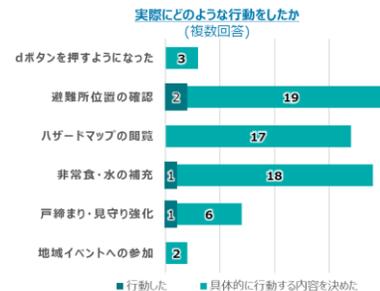
■ 新規性を感じた ■ 新規性を感じなかった

✓ アンケートに答えたデジタルに不慣れな層の約7割にとって、新規性のある情報を配信できた



#### 配信情報による行動変容

##### 検証結果

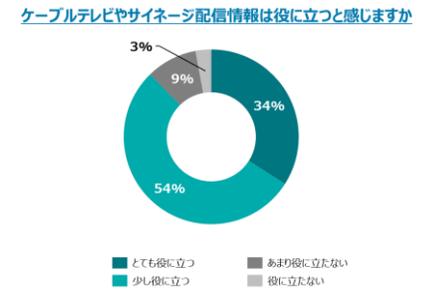


✓ 地域活動への参画や避難所位置の確認のような意識・行動変容を促すことができた



#### 情報配信への満足度

##### 検証結果



✓ デジタルに不慣れな層の約9割が本情報配信に対し、役に立ったと感じている



### 実証成果

デジタルに不慣れな層に対し、SNS等で配信されるリアルタイムな平時・有事情報をテレビなどの伝統的メディアで届けることで、これまで届いていなかった情報を提供できた。あわせて、防災・防犯や地域活動への参画といった行動変容や、情報配信自体へのニーズも見られたことから、この取組には一定の意義があると考えられる

## 5. 今後の展望

放送した有事・平時のデータや、地域住民からのアンケート回答を還元し、地域コミュニティの活性化を目指す

### TDPFへの還元

#### 還元内容

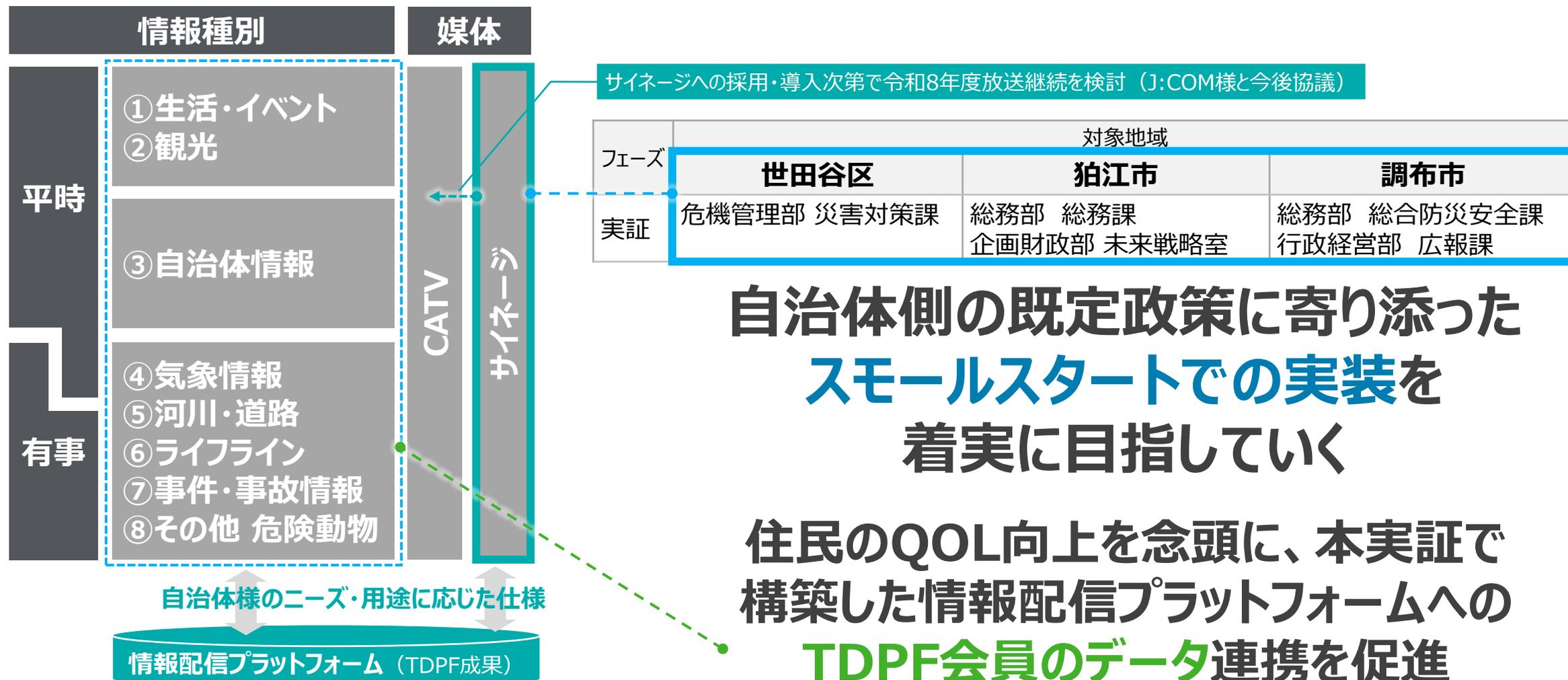
#### 活用イメージ

	還元内容				活用イメージ
	分類	地域	期間	内容	凡例
緯度経度 情報付きの 有事・平時 情報	有事情報	世田谷区  狛江市  調布市	2025/11/1 ～ 2026/2/14	交通事故や浸水などの 発災情報 (JX通信社提供)	●交通事故や浸水が起きやすい地域の特定 
	平時情報			地上波テレビで紹介さ れた地域情報 (エム・データ社提供)	●メディアで紹介されることが多い地域や、 人流のあると考えられる地域の特定
実証実験を 通じて 入手した 地域住民の アンケート	ローデータ			各設問への回答 実証実験への自由 回答によるフィードバック	●中高齢層の抱えている課題やニーズ推測 
	分析結果	アンケートの集計結果 [新規性] [行動変容][有効性]	●中高齢層に不足している情報の推測 ●中高齢層の行動変容促進サービスの参考 ●ニーズ有無の推測		

## 5. 今後の展望

令和8年度の各自治体施策実現策の一つとして、本実証成果を核に各自治体の実情やニーズを鑑みてスモールスタートで社会実装を進める。

### 次年度以降の取組方針



## 5. 今後の展望

本実証で得た仕組みを強化し、  
デジタルに不慣れな層への情報発信に課題を抱える自治体の課題解決に貢献していく

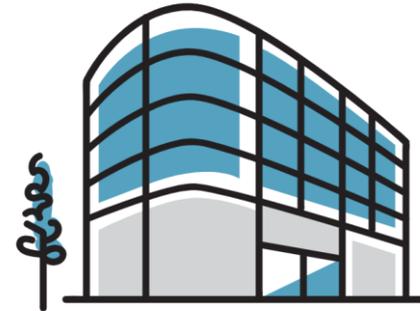
### 依頼事項

#### 自治体



- ✓ 住民サービスとして、フェーズフリーの情報配信に関心のある自治体
- ✓ CATVやサイネージを用いた情報配信に関心のある自治体
- ✓ SNSを元にした発災情報や、テレビメタデータに関心のある自治体
- ✓ その他  
市民への情報配信に課題を感じている自治体

#### 企業



- ✓ フェーズフリーの視点で住民に役立つデータをお持ちの企業
- ✓ 本成果を活用して自治体の課題解決で連携を希望される企業

# 災害廃棄物から都市機能を守る 産官学連携プロジェクト

国立大学法人電気通信大学

国際社会実装センター センター長 特任教授

石垣 陽 氏

# 令和7年度 東京データプラットフォームケーススタディ事業 第五回TDPFコミュニティイベント発表資料

## 災害廃棄物から都市機能を守る 産官学連携プロジェクト

国立大学法人 電気通信大学  
調布市、ボルゾイAI(株)、  
国立大学法人 東京外国語大学



# アジェンダ

1. プロジェクト概要

---

2. 今年度目指す成果

---

3. 今年度の取組

---

4. 今年度の成果

---

5. 今後の展望

---

# 1. プロジェクト概要

## 1. プロジェクト概要

# AIとデータが実現する、“わかりやすく出せる・集められる”災害廃棄物マネジメントの実証

## プロジェクトの背景・課題

- R1東日本台風では、路上に混合ごみが山積みになる。
- 災害時に「どこに・何を・いつ出せばよいか」がわからない
- 電話が集中→行政の混乱→誤排出の連鎖を断ち切りたい！

しかし現状は、、、

- 仮置場・臨時集積所は**平時非公開、紙管理**。
- そのため発災時は排出案内の混乱が見込まれる。



り災ごみの例  
(R1東日本台風直後、調布市内)

# 1.プロジェクト概要

## 平常時データと災害教訓を活用し、誰も取り残さない災害廃棄物マネジメントを実現する

### 取り組む課題の全体像



### 過去の災害から 得た教訓

R1東日本台風直後の調布市内



- 災害ごみの出し方がわからないと、、、
- 路上に混合ごみが排出（汚物含む）
- 衛生3大リスクの顕在化（感染症・悪臭・害虫）
- 歩道寸断・救護活動の妨げ・渋滞の発生



### 平時からの データ収集

- 日常からアプリ利用を拡大
- 「誤排出が多発する品目」などの事前集計
- 平時ごみ収集のGISベース化



### AI ごみナビ



### AI 収集ナビ



### 新しい「災害 モード」の開発



#### 災害モード

- 利用者全員への**瞬時アナウンス**
- 位置情報に基づくごみ排出案内（13か国語による）
- いつ・どこに・何を出すかをAIが回答

#### 災害モード

- 災害時仮置場の収集ナビ
- オープンデータ、GIS連携
- モデル化、排出量予測

# 1.プロジェクト概要

## 災害時のごみ情報を、データ連携で見える化

### データの掛け合わせ

### 政府・自治体オープンデータから発災時のごみ排出量を予測

1. 調布市浸水風害箇所一覧（浸水履歴）  
<https://www.city.chofu.lg.jp/020090/p013006.html>
2. 国土交通省 国土数値情報：位置参照情報  
<https://nlftp.mlit.go.jp/isj/>
3. 総務省統計局 統計地理情報システム e-Stat  
<https://www.e-stat.go.jp/gis/>
4. 調布市 洪水・内水ハザードマップ  
<https://www.city.chofu.lg.jp/020090/p013021.html>
5. 調布市電子地図サービス：調布まっぷ  
<https://www2.wagmap.jp/chofu/Portal>

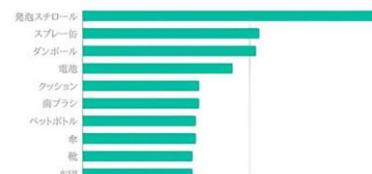
### AIごみナビの検索履歴から災害ごみをわかりやすく再分類

#### 日ごとの問い合わせ数

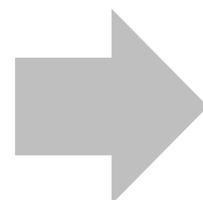
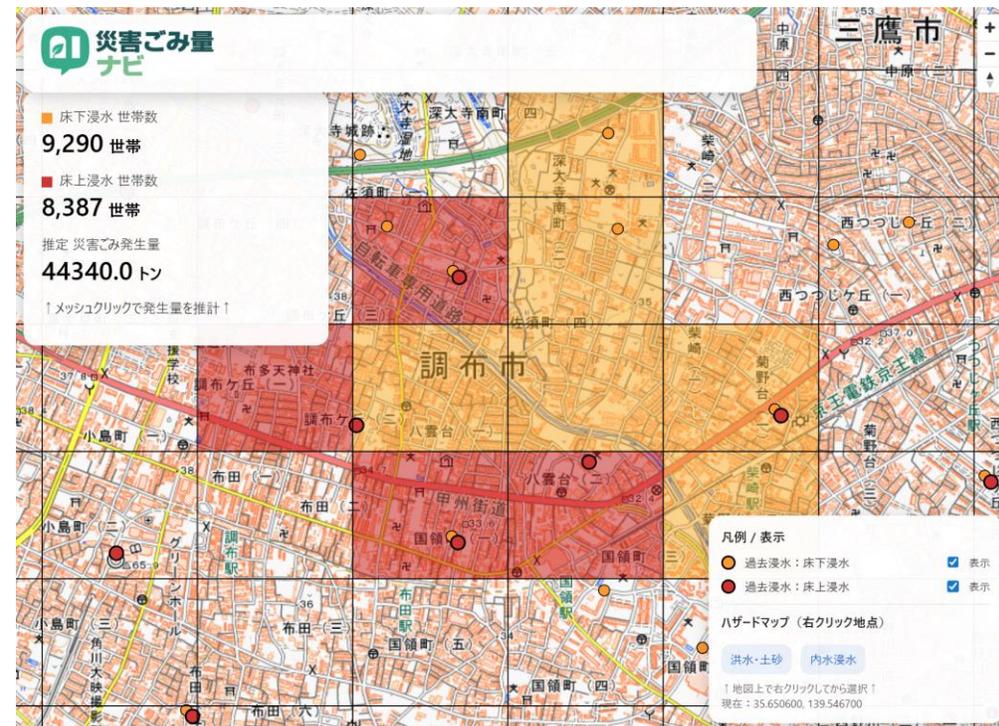
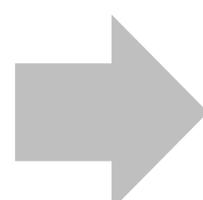
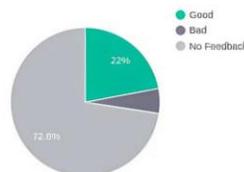


#### 問い合わせキーワードランキング

利用者が最も多く検索されたキーワードのランキングを示しています



#### 全体評価



被災により発生したもの（被災ごみ）	被災とは関係なく発生したもの（生活ごみ）	携帯トイレ・簡易トイレ
品目ごとに分別し（指定収集袋は不要）、市が設置する「集積所」へ排出する。 ※車で運搬できる方は「仮置き場」へ持ち込む。	平常時と同様の排出場所に出す。 ※「燃やせるごみ」及び「燃やせないごみ」は指定収集袋を使用	燃やせるごみ（透明又は半透明の袋）として、 ①平常時と同様の場所に排出 ②市が設置する場所に排出 ☑ <b>ほかのごみとは混ぜない！</b> ☑ <b>排出時は袋の中の空気を抜いて口を縛る。</b>

# 1.プロジェクト概要

## AIと災害行動モデルを大学知で設計し、自治体データで現場に接続する。

### 実施体制

#### 電気通信大学

- AI・災害行動モデルの全体設計
- オープンデータや自治体データのGIS統合
- 実験計画・倫理審査・効果検証・データ分析

#### 調布市 資源循環推進課・総合防災安全課

- 仮置場情報・災害計画及び実証フィールドの提供
- UIや仕様に対する行政レビュー
- 市民向け広報・訓練時の対応

#### ボルゾイAI(株)

- AIごみナビ・AI収集ナビの「災害モード」開発
- 実証ログの分析と機能改善
- 他自治体向け展開支援

#### 東京外国語大学

- 市内2.5%の外国人に向けた「やさしい日本語」対応
- 多文化共生ワークショップの実施（留学生×行政×デザイナー）
- デザイン成果のAIごみナビへの実装とオープンデータ(CC)化



## 2. 今年度目指す成果

## 2.今年度目指す成果

災害時のごみ排出から収集完了までを、迷いなく迅速に循環させる。

### 今年度目指す成果

#### 市民



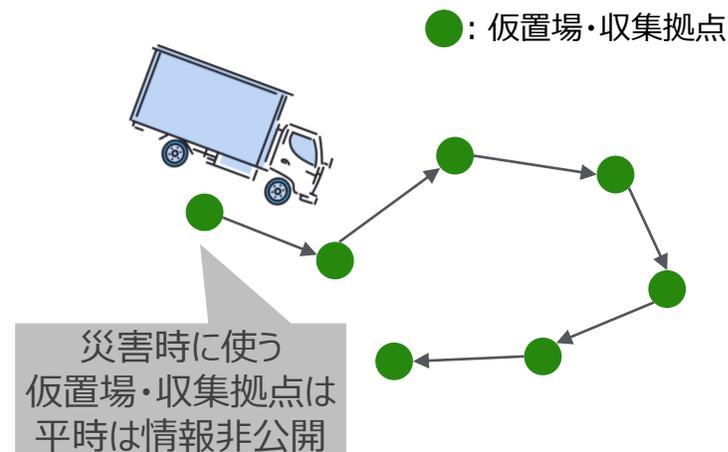
災害時、  
**迷わず、正しく**  
災害ごみを排出できる

#### 自治体



災害時、限られた職員で  
**効率的に情報収集・**  
**意思決定**ができる

#### 収集事業者



災害時でも  
**迅速にごみ収集を**  
**完了**できる

### **3. 今年度の取組**

### 3.今年度の取組

目指す成果に向け、AIごみナビ・AI収集ナビにおける災害モードの実装、および多文化共生ワークショップを今年度は実施した

### 今年度の取組と実証観点

#### 目指す成果

##### 対市民

災害時、  
**迷わず、正しく**  
災害ごみを排出できる

##### 対自治体

災害時、限られた職員で  
**効率的に情報収集**  
・意思決定ができる

##### 対収集事業者

災害時でも  
**迅速にごみ収集を**  
完了できる

#### 取組1

**AIごみナビ**  
災害モードの実装

#### 取組



#### 取組2

**AI収集ナビ**  
災害モードの実装



#### 取組3

**多文化共生**  
ワークショップの実施



## **3-1. ごみナビ災害モードに実装した機能と実証内容**

### 3.今年度の取組

目指す成果達成に向け、AIごみナビ災害モードには①災害時のごみ廃棄ルールに基づく、AIによる分別案内機能と②利用者の現在地情報に基づく、近辺の仮置場・集積所案内機能を実装した

## AIごみナビ 災害モードの実装 | 実装した機能

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

### 目指す成果

対市民

災害時、  
**迷わず、正しく**  
災害ごみを排出できる

対自治体

災害時、限られた職員で  
効率的に情報収集  
・意思決定ができる

対収集事業者

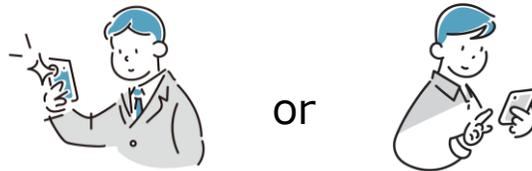
災害時でも  
迅速にごみ収集を  
完了できる

### AIごみナビ災害モードに実装した機能

機能1

災害時のごみ廃棄ルールに基づき、AIが分別案内

市民が分別に悩む廃棄物を  
撮影またはチャットで相談



画像やチャット内容を基に  
ごみナビが分別方法を案内



機能2

位置情報に基づき、近辺の仮置場や集積所を案内

市民が現在地情報を送信



近辺の仮置場または集積所を案内



### 3.今年度の取組

AIごみナビ災害モードの実証では、従来の案内と比べ、罹災ごみ排出方法に関する市民の「理解度がどの程度向上するか」、「案内への満足度がどの程度向上するか」を検証した

## AIごみナビ 災害モードの実装 | 実証内容

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

### 目指す成果

対市民

災害時、  
**迷わず、正しく**  
災害ごみを排出できる

対自治体

災害時、限られた職員で  
**効率的に情報収集**  
・意思決定ができる

対収集事業者

災害時でも  
**迅速にごみ収集を**  
完了できる

### AIごみナビ災害モードにおける実証

「従来のパンフレット利用グループ」と「AIごみナビ災害モード利用グループ」に分け、災害時のごみ分別テストを実施し、平均点・満足度を比較する



VS

AIごみナビ



### 実証観点

- ✓ 市民の罹災ごみ排出方法の理解度は、従来パンフレットと比べ、AIごみナビ災害モードを利用することで、どれだけ向上するか
- ✓ 市民の罹災ごみ排出方法案内への満足度は、従来パンフレットと比べ、AIごみナビ災害モードを利用することで、どれだけ向上するか

## **3-2. 収集ナビ災害モードに実装した機能と実証内容**

### 3.今年度の取組

目指す成果達成に向け、AI収集ナビ災害モードの自治体向け機能として、①災害ごみ排出量の予測機能、②収集車の位置情報の一元管理機能、③市民や収集事業者による通報内容の一元管理機能を実装した

AI収集ナビ 災害モードの実装 | 実装した機能（自治体向け）

目指す成果

対市民

災害時、  
迷わず、正しく  
災害ごみを排出できる

対自治体

災害時、限られた職員で  
効率的に管理・収集  
・意思決定ができる

対収集事業者

災害時でも  
迅速に巡回・収集を  
完了できる

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

#### AI収集ナビ災害モードに実装した機能（自治体向け）

機能1

自治体データ・オープンデータを基にした災害ごみ排出量の予測



機能2

収集車の位置情報管理・各収集車にAIによる配車支援



機能3

通報内容の一元管理

市民や収集事業者が画像とテキストにより  
臨時集積所等の現状や不法投棄、その他  
災害に係る事案を位置情報と共に通報



通報内容が管理者画面にて一元管理



### 3.今年度の取組

目指す成果達成に向け、AI収集ナビ災害モードの収集事業者向け機能として①仮置場・集積所へのルート、提示機能、②被災情報の通報機能、③チャット機能を実装した

AI収集ナビ 災害モードの実装 |

実装した機能（収集事業者向け）

目指す成果

対市民

災害時、  
迷わず、正しく  
災害ごみを排出できる

対自治体

災害時、限られた職員で  
効率的に管理・情報  
収集ができる

対収集事業者

災害時でも  
迅速に巡回・収集を  
完了できる

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

AI収集ナビ災害モードに実装した機能（収集事業者向け）

機能1

仮置場・集積所へのルート提示

自治体から向かう仮置場・  
集積所がアプリ上で指定される



自治体職員



収集事業者

指定された仮置場・集積所への  
ルートをアプリ上で選択



機能2

被災情報の通報機能

(例) 被災している箇所を発見した場合、  
アプリ上でレポートを記載し、送信



データ  
連携

被災情報が自治体・  
他収集事業者へ即時共有

AIごみナビ

AI収集ナビ

自治体管理画面と  
収集事業者の操作  
画面へ通報内容を反映

機能3

自治体職員や収集事業者同士の相互チャット機能

災害時の通行止め情報などの共有や緊急駆けつけの要請等を可能にする



〇〇エリアに一台きてほしいです！

了解！今向かいます！



### 3.今年度の取組

AI収集ナビ災害モードの実証では、「自治体職員が収集事業者との連絡に要する時間」と「収集事業者が仮置場・集積所の巡回業務を終えるまでの時間」がどれだけ短縮できるかを検証した

## AI収集ナビ 災害モードの実装 | 実証内容

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

### 目指す成果

対市民

災害時、  
迷わず、正しく  
災害ごみを排出できる

対自治体

災害時、限られた職員で  
効率的に管理・情報  
収集ができる

対収集事業者

災害時でも  
迅速に巡回・収集を  
完了できる

### AI収集ナビ災害モードにおける実証

対自治体

紙・電話を利用した場合とAI収集ナビ災害モードを利用した場合の  
収集事業者による巡回業務を管理するのに要する自治体職員の総対応時間を比較する



VS

AI 収集ナビ

実証観点

✓ 自治体職員による収集事業者への巡回指示・仮置場・集積所の状況確認に  
要する時間は、AI収集ナビ災害モードを利用することで、どれだけ短縮できるか

対収集事業者

自治体からの口頭・紙で案内された仮置場・集積所を巡回する  
場合と、AI収集ナビ災害モードを利用した場合の収集業務の時間を比較する



VS

AI 収集ナビ

実証観点

✓ 収集事業者の仮置場・集積所の巡回と罹災ごみの状況確認時間は、  
AI収集ナビ災害モードを利用することで、どれだけ短縮できるか

### **3-3. 多文化共生ワークショップの実証内容**

### 3.今年度の取組

# 調布市発行の「災害時のごみの出し方ガイドブック」を多文化共生やユニバーサルデザインの観点から“リ・デザイン”するワークショップを実施し、災害ごみの排出方法を直観的に伝えられるデザインを作成

## 多文化共生ワークショップ | 実証内容

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

### 目指す成果

対市民

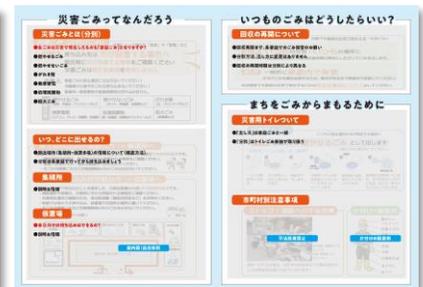
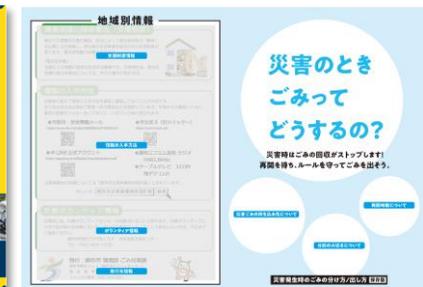
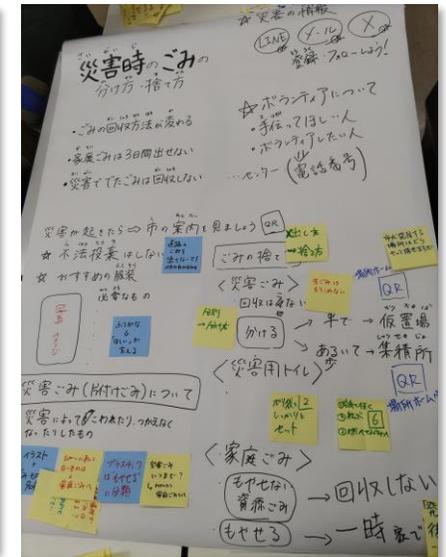
災害時、  
**迷わず、正しく**  
災害ごみを排出できる

対自治体

災害時、限られた職員で  
**効率的に情報収集**  
・意思決定ができる

収集事業者

災害時でも  
**迅速にごみ収集を**  
完了できる



### 実証観点

✓ 留学生・行政・デザイナー・研究者による多文化共生視点でのリ・デザイン

## 4. 今年度の成果

## 4.今年度の成果

### 市民の災害ごみ排出方法の理解度向上効果

市民への実証結果 | パンフレット案内vsごみナビ災害モード

実証観点

市民の罹災ごみ排出方法案内への「理解度」をどれだけ向上させられるか

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

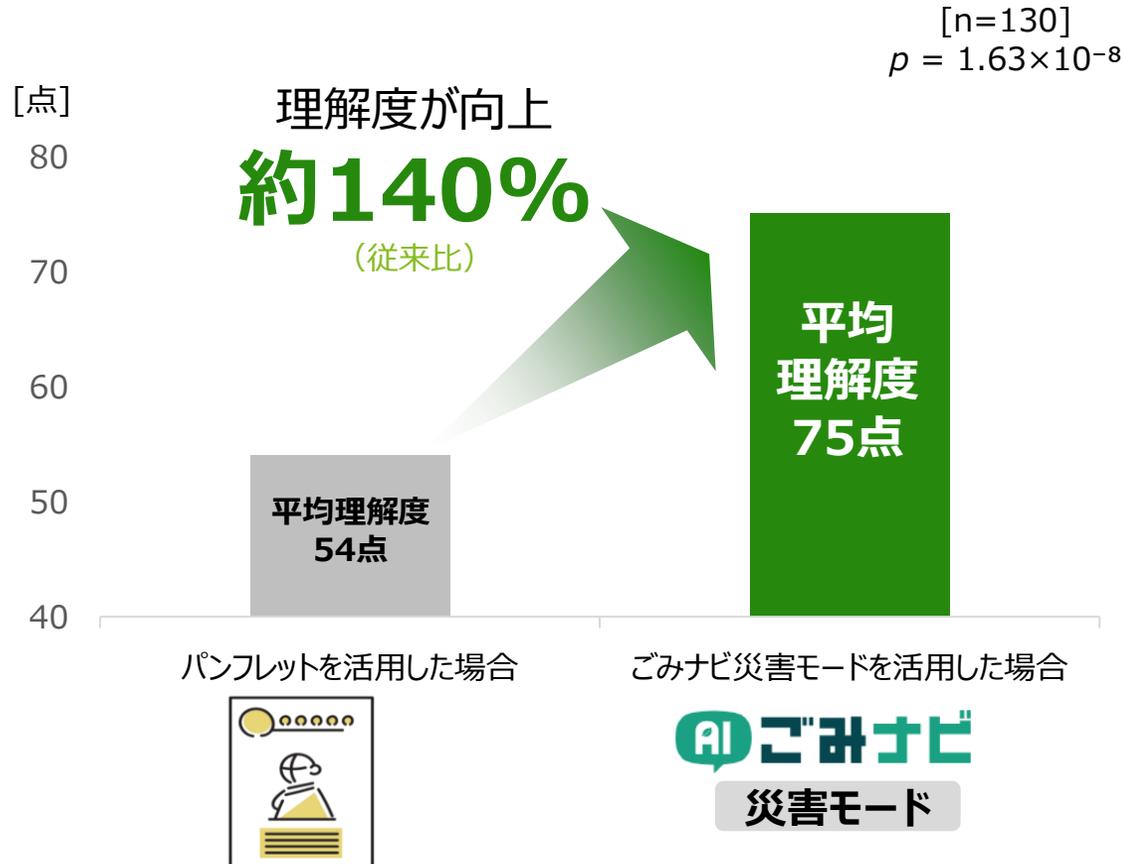
取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

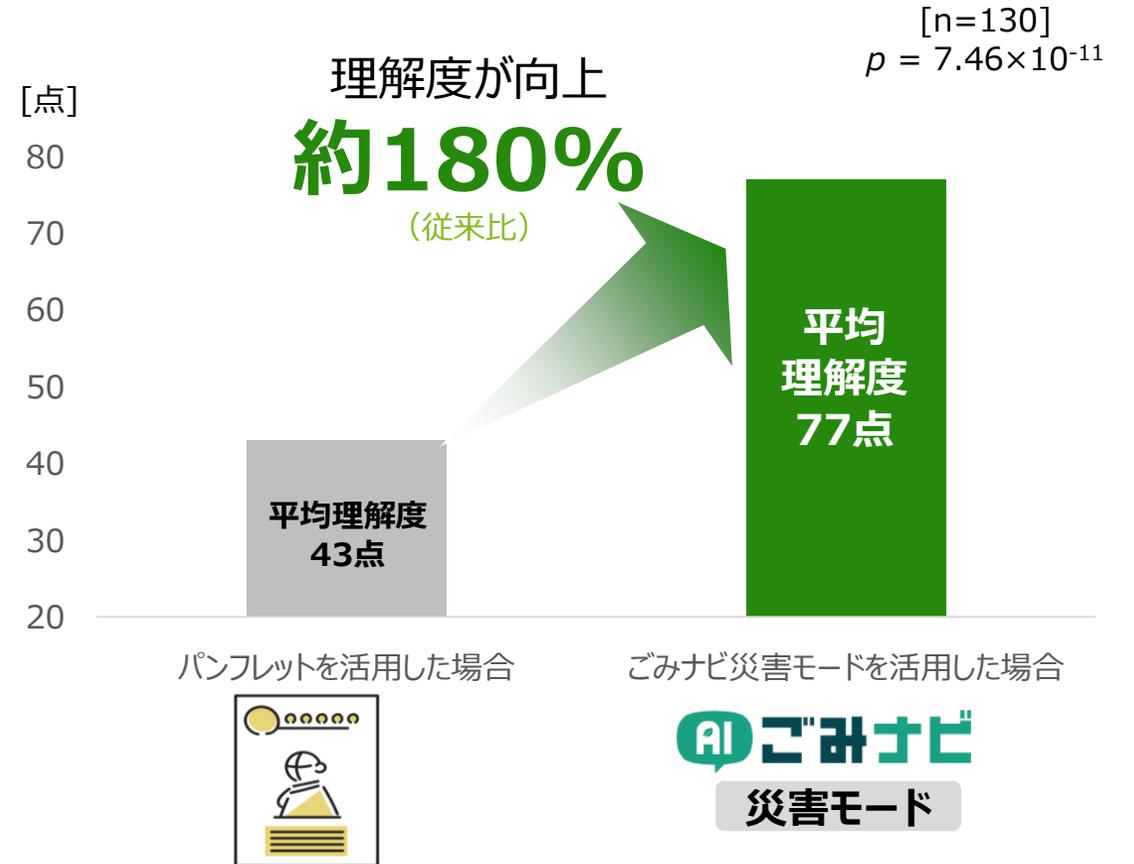
取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

「分別方法」に関する理解度の比較



「排出先」に関する理解度の比較



## 4.今年度の成果

### 市民の災害ごみ排出方法の満足度向上効果

市民への実証結果 | パンフレット案内vsごみナビ災害モード

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

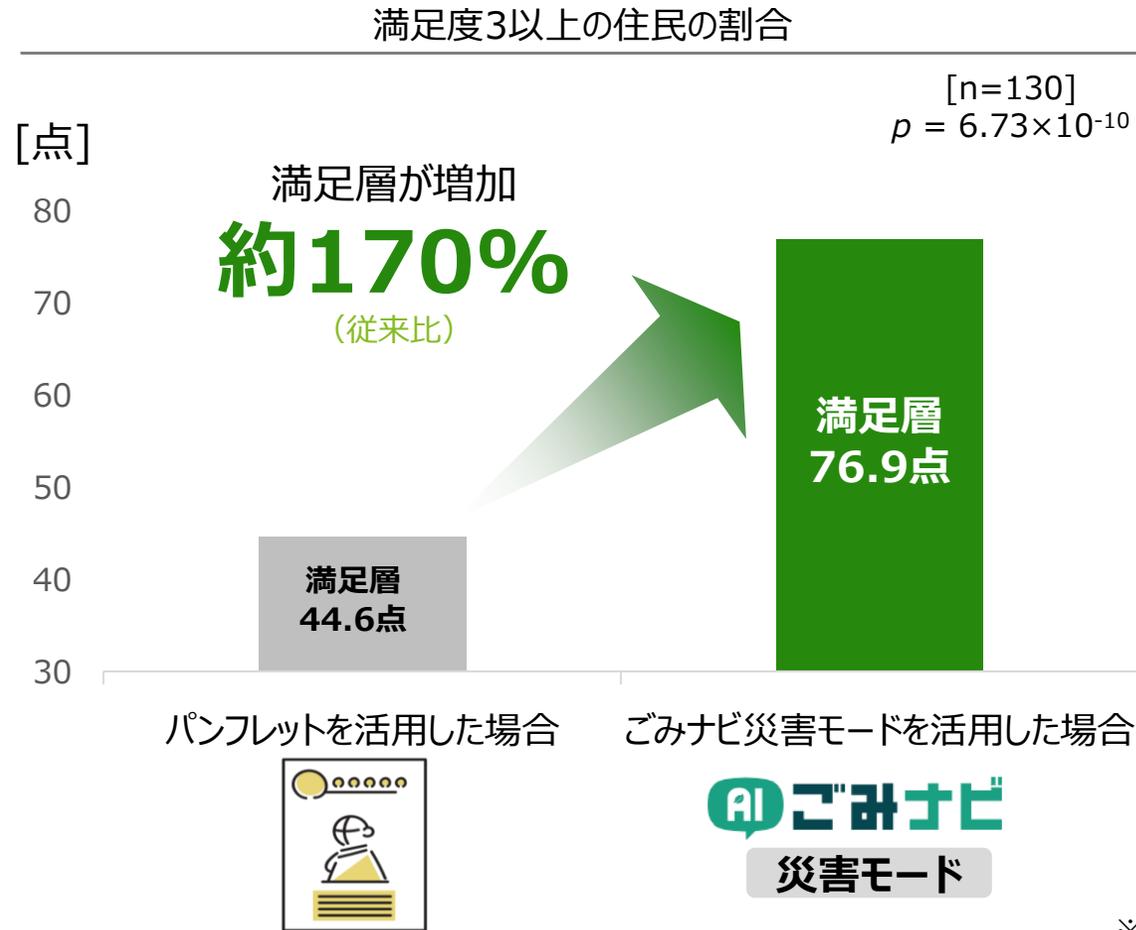
AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

実証観点

市民の罹災ごみ排出案内における「満足度」をどれだけ向上させられるか



※満足度4以上の住民の割合では3.35倍に増加

## 4.今年度の成果

### 防災ボランティア経験者からの意見集約

#### 市民への実証結果 | ユーザーヒアリング

Q ごみナビ災害モードを使うことによって、今までと比べ、どのように行動できそうか？



ごみナビの世帯普及率からして、2割の人がLINEで自己解決できるだけで、**自治体への電話が減り、本当に困っている人に行政が対応**できる。

**「検索できるだけでも安心感はある」**  
品目検索・地図連携は骨格として成立しており、**“ゼロから電話”という状態はほとんど回避できる**（能登の事例）。



災害直後は情報がなく思考停止状態。**アプリが「今やるべきこと」を提示してくれるので、心理的停滞から具体的行動へ移行**できる。

取組1 AIごみナビ 災害モードの実装  
取組2 AI収集ナビ 災害モードの実装  
取組3 多文化共生 ワークショップの実施

Q 今後追加して欲しい機能は何か



**「〇〇地区、本日から回収開始」「トイレごみは可燃へ」など、生活再建タイミングに連動した通知**があると強い。

**開設状況、受付時間、取扱品目、混雑度を表示。**  
可能であればIoTカメラによる**ライブ映像確認機能**を追加し、無駄足・長時間待機を回避。



**「撮影して、ここに持って行ってくださいまで確定してくれたら便利」**  
**画像認識＋受入条件連携まで実装**できれば、電話確認20分待ちという非効率を削減できる（能登の事例）。

災害ごみ対応は「検索機能」だけではなく、「行動を確定させる仕組み」の作りこみが鍵である。



## 4.今年度の成果

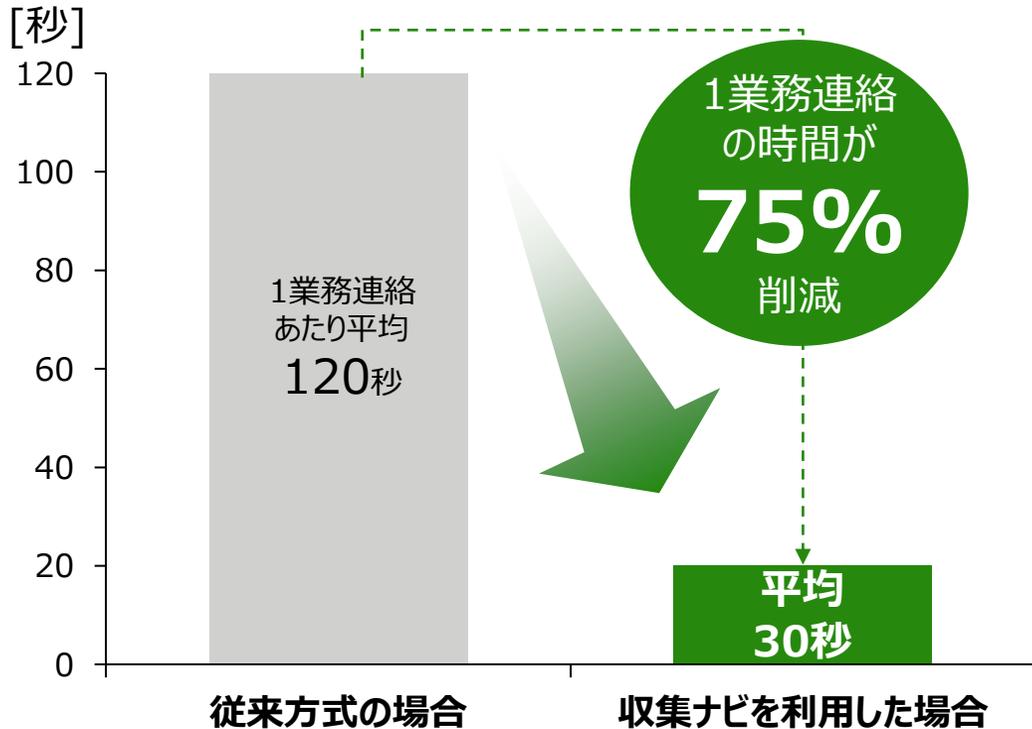
### 自治体・収集事業者への実証結果

#### 自治体の業務連絡時間・収集事業者の巡回時間の比較

実証観点

自治体職員の  
業務連絡時間は、どれだけ短縮できるか

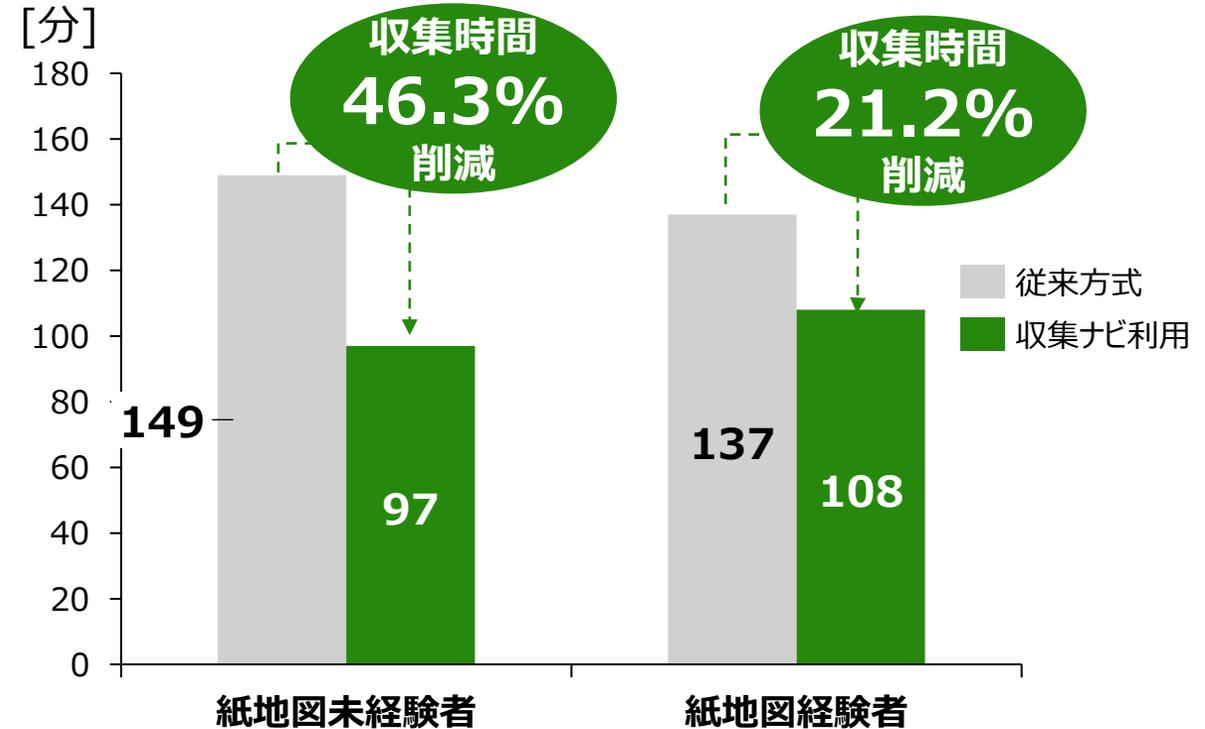
自治体の連絡業務に係る平均時間の比較



実証観点

収集事業者の集積所巡回に  
要する時間は、どれだけ短縮できるか

収集事業者が全収集箇所を回る時間の比較



取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

## 4.今年度の成果

# 災害ごみ情報の多文化共生ワークショップによる再構築

## 多文化共生ワークショップの結果概要

取組1

AIごみナビ  
災害モードの実装

取組2

AI収集ナビ  
災害モードの実装

取組3

多文化共生  
ワークショップの実施

### 発見された課題

#### 情報構造

制度・注意・行動が混在  
優先順位が不明瞭

#### 言語障壁

専門語・抽象語が多く  
やさしい日本語でも不十分

#### 認知負荷

条件分岐・例外が多く  
ストレス下で判断困難

#### やさしい日本語の構造的示唆

短くするだけでは不十分  
→ 主語省略・否定文過多が混乱を招く  
概念自体が未経験なら伝わらない  
→ 「仮置場」「指定収集袋」等は説明が必要  
行動単位への分解が重要  
→ いつ・どこに・何を・どうするを明示

### 共創プロセス



#### 課題可視化

多文化混成チームで  
理解障害点を特定



#### やさしい日本語

書き換えを通じた  
情報の再構造化



#### リ・デザイン

行動フロー中心の  
視覚優位型モデル提案

#### 共創プロセスの発見

留学生の視点が構造的欠陥を可視化  
→ 「何をすべきか」が読み取れない  
やさしい日本語は翻訳ではなく構造改革  
→ 情報の再編成そのものが成果  
デザイナー×行政×当事者の共創が鍵  
→ 単独では到達できない解を導出

### テーマとしての成果

- ✓ インクルーシブデザイン手法の実証
- ✓ 「やさしい日本語＝簡略化」ではないことの確認
- ✓ ごみナビ災害モードへの実装可能性の提示
- ✓ 他自治体展開モデルの基礎構築

#### 核心的示唆

災害情報は「行政文書としての完成度」ではなく  
「市民目線の行動変容」を基準に設計すべき

本ワークショップで作成されたやさしい日本語を活用した「災害時のごみ出しガイドブック」のデータや  
そこでできたデザイン等はTDPFへ還元いたしますので、是非ご確認ください

## 4.今年度の成果

### 実証自治体からの声をご紹介します

#### 実証自治体からの声



調布市  
資源循環推進課  
雨宮氏

- 「災害廃棄物から都市機能を守る産官学連携プロジェクト」の実証においては、災害時に市民が「素早く、迷わず、正しく」災害廃棄物を含む災害時のごみ出しができるよう、令和7年度に導入したごみ分別支援AI「調布ごみナビ」を応用し、災害時に特有の分別ルールや仮置き場（臨時集積所）等の自治体ごとの固有情報を一元的に提供する仕組みについて、**有用な知見**が得られました。
  - 市民側としては、発災後に混乱している状況下において、**日常使いしているごみナビアカウントから配信されるごみ出しに関する情報を基に、災害モードを併用することで適切に災害時のごみ出しが可能**となります。
  - 自治体においては、**発災時に問い合わせが集中しやすい状況において、必要な情報を市民に迅速かつ直感的に届けられる**ことは、発災時の混乱抑制、災害廃棄物の適正処理、現場の安心感等につながります。また、**仮置場情報をGIS構造化データとして共有することで、紙や口頭での伝達削減や準備作業・確認作業の効率化、職員の負担軽減**を見込んでいます。
- 次年度以降も、疑似災害訓練等を通じて意思決定の迅速化や業務負荷の軽減につながる運用検証を継続するとともに、当該機能は全国のどの自治体においても利活用しやすいものであることから、**調布市発の機能として、横展開に向け情報発信**に努めて参ります。

## 4. 今年度の成果

本実証結果を元に、AIごみナビ・AI収集ナビ導入自治体へ災害モードの提案を行なっています。

### 他自治体での広がり



#### 都内自治体

✓調布市、福生市、羽村市、江東区、三鷹市、東大和市  
(収集ナビ単体での実証：調布市、荒尾市、墨田区)

#### 都外自治体

✓能代市、加賀市、苫小牧市、東根市、鎌ヶ谷市、焼津市

現在14自治体→ R8年度中に32自治体へ拡大見込み

本実証結果を元に、  
複数の自治体で災害モードの  
トライアル導入を検討頂いております。

## 5. 今後の展望

## 5. 今後の展望

### 市民・行政・収集の三者で災害対応効率を高める仕組みを実装

#### 今年度の総括：市民・行政・収集の三者における定量的改善効果を確認

今年度の  
目標

対市民

災害時、  
**迷わず、正しく**  
災害ごみを排出できる

今年度の  
成果

- 従来の方法と比べ、ごみナビ災害モードを使うことで災害ごみの**分別方法への理解度は「140%」、排出先への理解度は「180%」**向上した
- 従来の方法と比べ、ごみナビ災害モードのごみ分別方法の案内による**満足度は「170%」**向上した

今後  
期待される  
効果

災害時の誤排出量を数十%規模で抑制できることが期待。自治体への問い合わせ件数も30~40%削減できる可能性あり。

対自治体

災害時、限られた職員で  
**効率的に情報収集・  
意思決定**ができる

- 自治体職員の状況確認に要する時間は75%削減でき、余力を意思決定や住民対応へ再配分できる時間を捻出できうる事が確認できた
- 収集事業者の巡回時間は最大46%削減でき、収集事業者の習熟度等に左右されずに迅速な収集業務を可能にすることが確認できた

対収集事業者

災害時でも  
**迅速に収集を完了**できる

これまで自治体職員が多くの時間を割いていた仮置場情報の整理・伝達を1/4に削減し、市内の総巡回時間を数時間単位で短縮することにより、災害時の業務負荷を構造的に軽減する。

## 5. 今後の展望

### 調布モデルの常設運用から都内広域展開への普及ロードマップ

#### 次年度以降の取組方針

#### R8年度「常設運用フェーズ」

- 調布市内での恒常運用体制への移行
- 排出予測モデルと収集ルートナビの精度検証・機能改善
- 自治体職員が更新可能な運用モデルの確立

#### R9年度「広域展開・制度化フェーズ」

- 多摩地域・特別区を含む都内自治体への横展開支援
- 自治体差異を吸収する共通基盤としての標準化
- 東京都災害廃棄物処理計画と整合した都市横断モデル形成



## 5. 今後の展望

# データ還元を含めた災害廃棄物対応の共通基盤化

## TDPFへの還元内容

### ① データ還元（非個人情報中心）

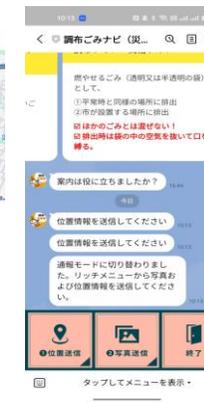
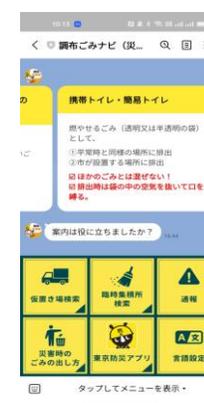
- 災害ごみ排出量予測モデル、GISデータフォーマット
- 収集ナビ（災害モード）の実証稼働ログ

### ② 成果物の技術標準化・再現性確保

- 集積所・仮置場リストGIS構造化テンプレート
- 災害モード／収集ナビ画面仕様

### ③ 多文化共生対応に向けたデザイン

- やさしい日本語化の経過（before/after等）
- 多文化共生ワークショップのレポート
- 各種CCライセンス化済の災害ごみ排出コンテンツ



## 5.今後の展望

以下のような自治体・企業様と後ほどの交流会で、是非お話をさせていただけたらと思います

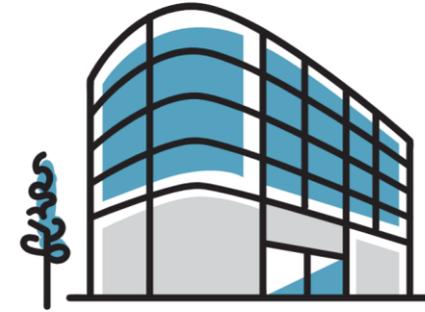
### 依頼事項

#### 自治体



- ✓災害廃棄物の大量発生が予測される自治体
- ✓少人数で迅速な意思決定が求められる自治体
- ✓仮置場・集積所情報をGISで整備したい自治体
- ✓受援・広域連携に向け情報標準化を進めたい自治体
- ✓外国人住民を含む多様な市民と共生したい自治体

#### 企業



- ✓収集運搬事業者として災害時収集を担う企業
- ✓受入調整に関与する企業
- ✓仮置場の設営・運営を担う企業
- ✓防災DX技術をソリューション提供できる企業
- ✓住民向け配信・多言語対応を実装できるIT企業

# AI×データが創る 道路マネジメントモデル構築プロジェクト

東京海上スマートモビリティ株式会社

モビリティ事業部 部長

児島 慎也 氏

令和7年度

東京データプラットフォームケーススタディ事業  
第五回TDPFコミュニティイベント発表資料

AI×データが創る

道路マネジメントモデル構築プロジェクト

東京海上スマートモビリティ株式会社  
2026年3月6日

# アジェンダ

1. プロジェクト概要

---

2. 今年度目指す成果

---

3. 今年度の取組

---

4. 今年度の成果

---

5. 今後の展望

---

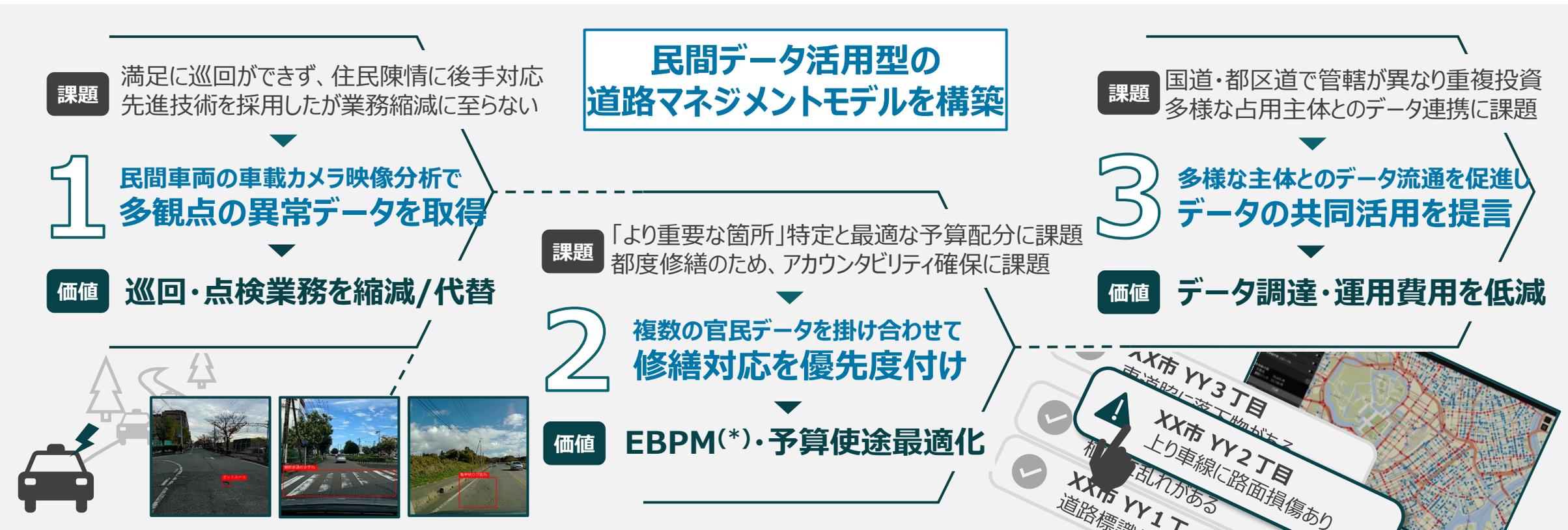
# 1. プロジェクト概要

# 1. プロジェクト概要

日本全国で急速に進む道路インフラ老朽化と人手不足という社会課題を解決するために、民間データとAIを活用した、人手の巡回に依存しない持続可能な新しい道路マネジメントモデルを、東京から構築・発信します。

## プロジェクトの背景・目的、取り組む課題

- 背景：「道路維持管理DX」は専用設備・機器が必要、適用範囲が限定的などの理由から、実用化や普及に課題がある。
- 目的：財源の限られる自治体でも実装可能な、民間データ活用型の、維持管理高度化を実現するモデルを構築・発信する。



\*)EBPM: Evidence Based Policy Making. 証拠に基づく政策立案

## 1. プロジェクト概要

基礎自治体における道路維持管理の課題は、老朽化進行と人手・財源不足を背景として「定期巡回点検が維持できないこと」「損傷箇所が増え、修繕や改修の優先度付けが難しいこと」と特定しました。

### 取り組む課題の全体像

#### 都内自治体



巡回では見落としがあるうえ、生活道は満足に巡回しきれていない。住民陳情で初めてわかる道路異常も多い。(東京都A区、B区、C区)

#### 都内自治体



スマホ映像での路面損傷検知を採用したが、路面以外にも見るべき点は多くあり、巡回業務自体はお金をかけて委託中。(東京都D区)

#### 地方自治体



管轄が広いため、人手の問題で全ての道の巡回と道路管理を網羅的に実施することはそもそもできない。(滋賀県E市、山梨県F市、G県)

#### 都内自治体



損傷や異常は発見・報告ごとに都度修繕。声の大きい人の要望が優先され客観性がない。数値で道路を管理したい(東京都H市、I県)

#### 地方自治体



「より傷んでいて、より重要な箇所」から対応したいが、「より重要な」を判断するためのデータ収集に多くの費用と労力が必要。(広島県J市)

#### 地方自治体



損傷数が多く、優先度付けできていない。経過観察中も100件以上。これ以上は予算的に補修が困難。(愛知県K市、L市、M市)

巡回・点検業務の縮減/代替

客観的な優先度付け・予算使途最適化

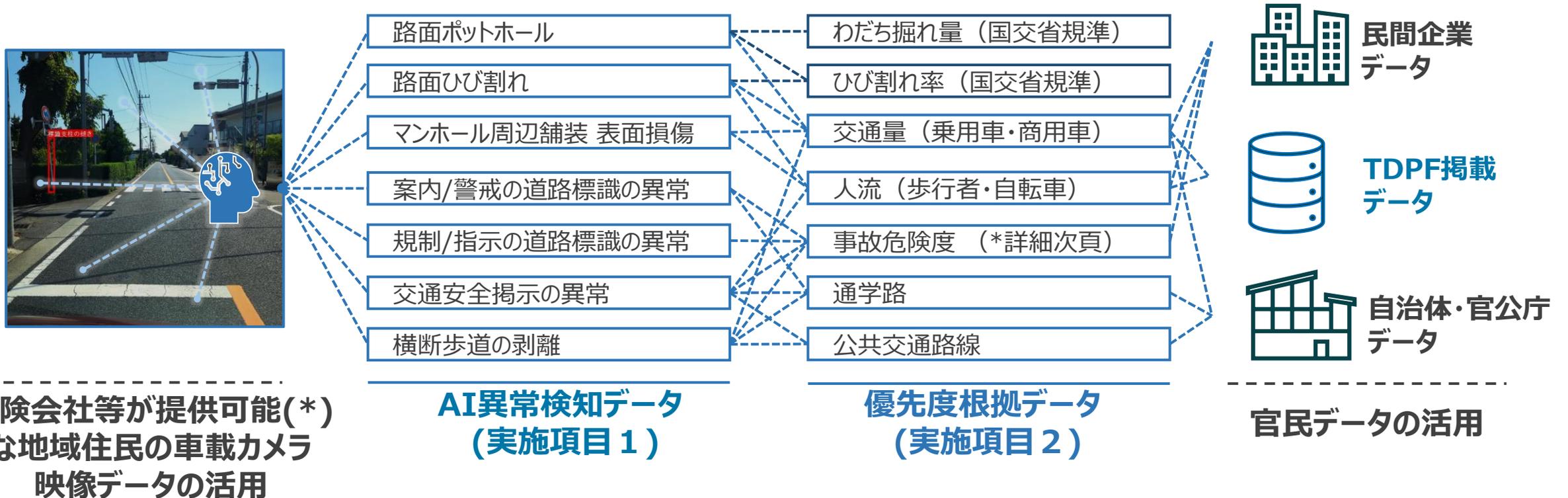
# 1. プロジェクト概要

「地域住民等の走行映像」を多観点でAI分析し、民間プローブデータや自治体保有データとの新たな掛け合わせにより道路維持管理を高度化するモデルの創出は、TDPFならではのアプローチです。

## データの掛け合わせ

**独自性** 一つの映像を多観点で統合的にAI検知して巡回業務代替の点から実用化検討を行う

**新規性** 官民データの「新たな掛け合わせ」により複数要素に基づく対応優先度を評価する



(\*) 本実証はモデル検証を目的としたため、品川区巡回車両にて映像を取得。実運用時には利用同意取得を前提とします。

## 1. プロジェクト概要

車載カメラデータ取扱・道路維持管理実務・画像分析の各分野で実績豊富な企業で体制を構築しました。

### 実施体制

	代表企業 東京海上スマートモビリティ株式会社	日本工営株式会社	株式会社アーバンエクス テクノロジーズ	株式会社ナイトレイ
概要	車載カメラデータ、交通関連データの取扱実績が豊富な東京海上ホールディングス株式会社100%子会社	日本国内外におけるインフラに関する調査、設計、マネジメント等の豊富な経験を有し、『維持管理システム』を自治体に提供する建設コンサルタント	自治体向け技術・サービス提供の実績が豊富な、インフラDX分野の東大発画像分析スタートアップ企業	人流・交通量などロケーションデータの取扱い実績が豊富なスタートアップ企業
役割	<ul style="list-style-type: none"><li>・プロジェクト全体の取りまとめ</li><li>・車載カメラ映像データ収集 (項目 1)</li><li>・" AI交通事故発生リスク分析データ"の整備 (項目 2)</li><li>・他SHとの協議推進 (項目 3)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・異常検知結果データの評価 (項目 1)</li><li>・優先度付け方案企画・評価 (項目 2)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・車載カメラ映像データの分析 (項目 1)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・人流・交通流データの整備 (項目 2)</li></ul>

## 2. 今年度目指す成果

## 2. 今年度目指す成果

モデルの横展開を念頭に、各自治体で検討に活用できる「導入効果の定量化」を成果目標に設定しました。データ共同活用や次年度以降の横展開の具体化・蓋然性確認を、実施項目3の定性目標に掲げました。

### 今年度目指す成果

	実施項目 1	実施項目 2	実施項目 3
ゴール状態	「地域住民の車載カメラ映像のAI分析を、日常維持管理に活用する」新しいモデルの有効性が検証された状態	「官民データを活用することで、修繕・改修の優先度付けを行う新しいモデル」の有効性が検証された状態	データの共同活用や、モデルの横展開に目途が立っている状態
今年度目指す成果の定義	各自治体でも検討に活用できる一般的な形式で モデルの導入効果が定量化されている状態		他事業者とのデータ共同活用の仮説や次年度以降の横展開について 具体化・蓋然性確認ができている状態
		<u>As Is</u>	<u>To Be</u>
	 巡回点検の頻度	月●●回	▶ 月○○回に <b>増加</b>
	 巡回点検の網羅度	▲▲%	▶ △△%に <b>増加</b>
	 損傷発見の平均日数	◆◆日	▶ ◇◇日に <b>短縮</b>
	 優先順位付された道路	■■%	▶ □□%に <b>増加</b>
			 <p>データの活用意思あり</p> <p>モデルの導入意向あり</p>

### **3. 今年度の取組**

### 3. 今年度の取組

車載カメラ映像分析による多観点の異常データの有用性を評価するとともに、観点別点検データ集約によるモデル拡張性検討、巡回業務実態と住民データの網羅度比較等を行いました。

#### 今年度目指す成果に向けた取組内容（実施項目1）

#### 映像による多観点異常検知の有用性評価

##### 映像データ取得



品川区を巡回する協力事業者の車両に車載カメラを設置

##### 映像を多観点でAI分析し異常検知データを作成



マンホール周辺



道路標識傾き



ポットホール



横断歩道かすれ

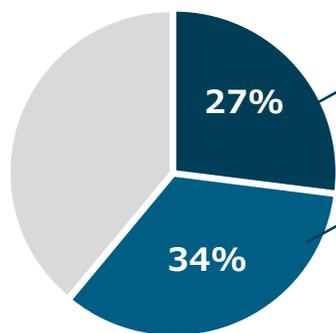


路面ひび割れ

##### 職員チェック等で有用性評価

#	異常の観点	精度
1	路面ポットホール	84%
2	路面亀甲状ひび割れ	87%
3	マンホール周辺のひび割れ	90%
4	標識の傾き	80%
5	横断歩道のかすれ	83%

#### 観点別点検データ集約によるモデルの拡張性



今回の分析対象物

将来的に画像分析で検出する

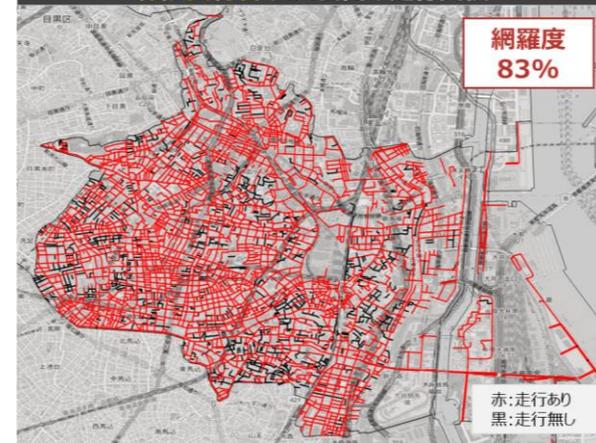
本モデルにより、将来的には

点検全体の60%程度をカバーする

品川区の点検データベースを集計

#### 住民の走行が自治体巡回車両よりも高頻度・網羅的

保険契約者の14日間の走行実績



### 3. 今年度の取組

建設コンサルタントの知見に基づき、車道・歩道・安全交通の観点から優先度付けの考え方を整理  
各データを調達し、実際に品川区の道路に適用して優先度評価を実施しました。

#### 今年度目指す成果に向けた取組内容（実施項目2）

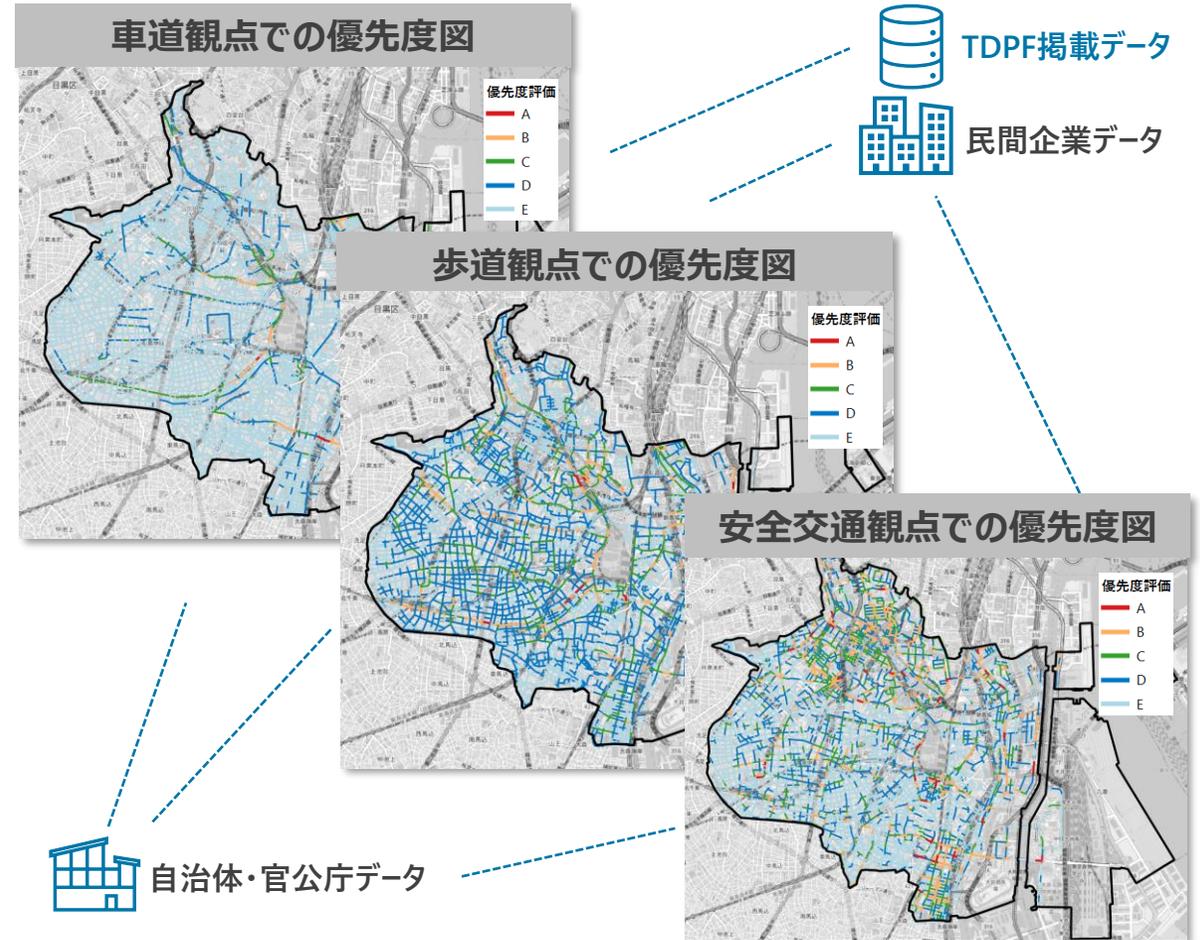
#### 建設コンサルタントの知見に基づき優先度付け方案の策定

No	項目	←優先度・危険度→					備考
		1	2	3	4	5	
車道 維持 管理	路面性状調査結果	MCI5以上、算出不可	-	3以上5未満	-	3未満	未計測区間も評価は1点
	緊急輸送道路	-	非該当	-	-	該当	
	都市計画道路	-	非該当	-	該当	-	
	バス路線	-	非該当	-	該当	-	
	コミュニティバス路線	-	非該当	-	該当	-	
	車両通行量	0-500、算出不可	500-1000	1000-2000	2000-5000	5000以上	台/日、未計測区間も評価は1点
	大型車両通行量	0-10、算出不可	10-20	20-50	50-100	100以上	台/日、未計測区間も評価は1点
	Manesus路面異状	0件	-	1-4件	-	5件以上	ポットホール、ひび割れ、陥没を抽出

No	項目	←優先度・危険度→					備考
		1	2	3	4	5	
歩道	通学路	-	非該当	-	該当	-	
	歩行者通行量	0-500、算出不可	500-1000	1000-2000	2000-5000	5000以上	人/日、未計測区間も評価は1点
	Manesus歩道関連	0件	-	1-4件	-	5件以上	相談に歩道が含まれる項目

No	項目	←優先度・危険度→					備考
		1	2	3	4	5	
安全 交通・ 事故	AI事故リスク（路線）	0-20、算出不可	20-40	40-60	60-80	80-100	未計測区間も評価は1点
	AI事故リスク（交差点）	0-20、算出不可	20-40	40-60	60-80	80-100	未計測区間も評価は1点
	Manesus事故リスク関連	0件	-	1-4件	-	5件以上	カーブミラー、ガードパイプ、ポストコーンを抽出 事故による損傷報告が多い施設

#### 「事故リスク」「交通量」「歩行者数」等のデータを適用



### 3. 今年度の取組

#### 今年度目指す成果に向けた取組内容（実施項目3）

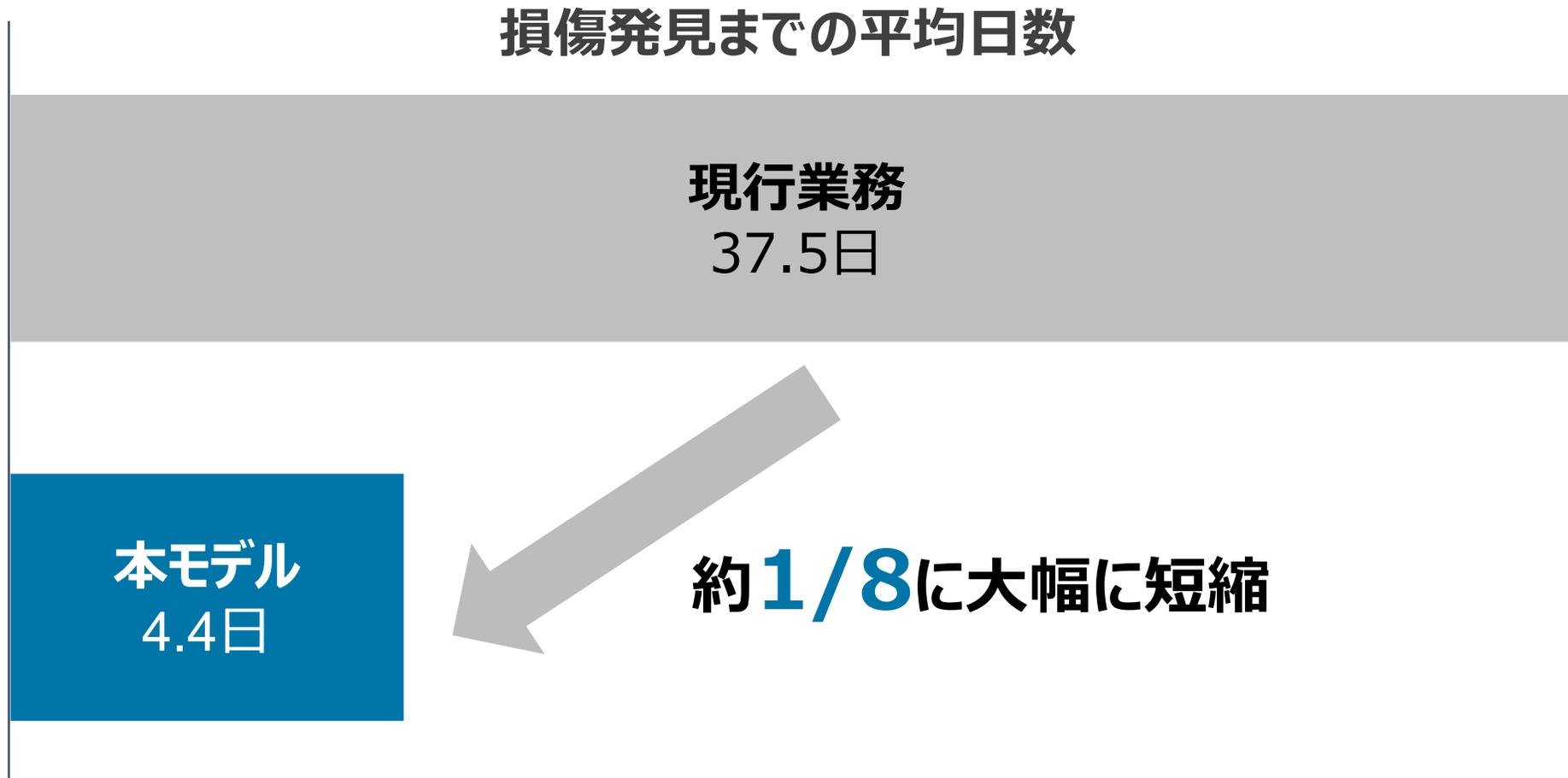
ニーズや課題・本提案モデルの汎用性を確認するため、30以上の道路管理者へのモデル紹介・ヒアリング・導入提案を実施しました。映像データ共同活用先として、下水道や電柱管理等の観点で協議を行いました。

## 4. 今年度の成果

#### 4. 今年度の成果

実施項目 1 で検証した「住民の走行映像データを活用した維持管理モデル」は、現行業務と比べて、頻度・網羅度高く点検できるため、損傷発見までの平均期間を約1/8程度に短縮できることを確認しました。

#### 実施項目 1 検証結果



※週 1 回民間データを活用する形に移行し、人手巡回を半分の頻度に縮減し「データで確認が漏れている箇所」を中心に走行する業務とした場合の統計的試算

#### 4. 今年度の成果

実施項目2で策定した「官民データを活用した優先度付けモデル」は、現行のデータ(路面性状調査等)のみで優先度付けを行う場合と比べて、優先度判断が可能な路線が拡大することが確認できました。

#### 実施項目2 検証結果



72.8%

A	0.80 km ( 1.28%)
B	7.65 km (12.30%)
C	13.42 km (21.57%)
D	23.43 km (37.66%)
E	16.91 km (27.19%)
合計	62.21 km

#### 4. 今年度の成果

実施項目3においては、30以上の道路管理者へのヒアリングにより課題・解決策の蓋然性を確認しました。下水道管理者と、映像データの下水道設備管理への活用に向け検討を着手しました。

#### 実施項目3 検証結果

- 
- 1 多観点での異常検知ニーズが、すべての道路管理者に共通して存在
  - 2 管轄が広く苦情対応に追われている自治体ほど、「映像そのもの」に価値を感じている
  - 3 AI検知を必須としない「映像活用」ユースケースの広がり
  - 4 下水道分野とのデータ共同活用による相乗効果の可能性
-

## 5. 今後の展望

## 5. 今後の展望

今年度は、AI x データが創る道路マネジメントモデルの「導入効果の定量化」を達成することができました。  
下水道管理者とのデータ共同活用に向けた検討に着手したことが大きな定性評価と考えています。

### 今年度の総括

#### 実施項目 1

人手が限定的なため、点検可能な範囲・リアルタイムな状況把握・異常発見の精度に限界が生じている

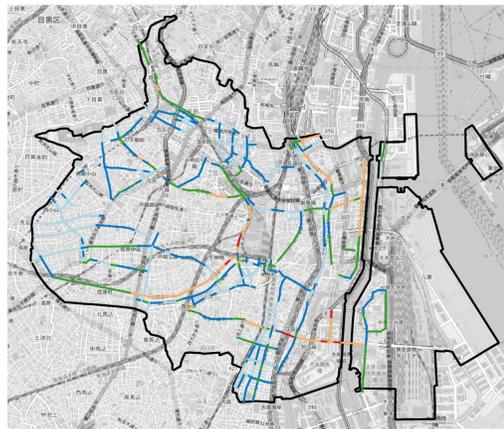


#	異常の観点	精度
1	路面ポットホール	84%
2	路面亀甲状ひび割れ	87%
3	マンホール周辺のひび割れ	90%
4	標識の傾き	80%
5	横断歩道のかすれ	83%



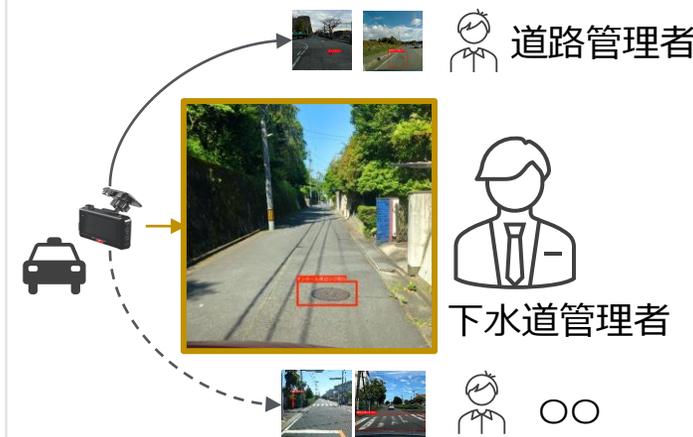
#### 実施項目 2

客観的なデータに基づいた修繕箇所の優先順位付ができておらず、予算を有効活用できていない



#### 実施項目 3

道路管理者、マンホール等の設備管理者がそれぞれ道路を巡回し、インフラ維持管理にかかる社会的な非効率がある



### 自治体・社会課題

### 課題に対する 実証取組 結果

### 成果／今後 に期待 される効果

点検範囲の拡大、職員の巡回点検の負担を低減、早期危険箇所発見が可能となる

根拠に基づいて限られた予算を有効活用した道路修繕や改修が可能になる

共通の映像データを活用して点検・維持管理を行うことで、両者の巡回回数を減らし、映像取得コストも抑えられる

## 5. 今後の展望

令和8年度の実装化事業の展開としては、本事業のトライアルを含む実用化支援事業の実施が2件決まっております。  
令和9年度の実装に向けた予算取りについて、4市以上で協議を進めております。

### 次年度以降の取組方針



#### 都内自治体

✓A市（令和9年度以降の実装に向け協議中）

#### 都外自治体

✓B県（令和8年度の実装化事業に採択）

✓宮城県C市（令和8年度の実装化事業に内定）

✓岐阜県D市（令和9年度の実装に向け協議中）

✓岐阜県E市（令和9年度の実装に向け協議中）

## 5. 今後の展望

### 直近3か年の計画

**今年度の実証成果を踏まえて、参画事業者において本道路マネジメントモデルを実現する仕組みの開発・構築を推進し、令和8年度中のトライアル運用開始、令和9年度の本格運用開始を実現してまいります。**

## 5. 今後の展望

本実証で利用・新規取得/生成した以下のデータをTDPFへ還元いたします。

### TDPFへの還元データ

#	還元データ名	データ概要	データ提供元
1	車載カメラ映像データ	車載カメラの映像データ	東京海上スマートモビリティ
2	車載カメラ運動挙動データ	車両の位置情報等データ	東京海上スマートモビリティ
3	異常検知結果データ	映像分析による異常検知結果データ	アーバンエックス テクノロジーズ
4	交通量データ	商用車プロープデータ	ナイトレイ
5	AIリスクデータ	損害保険会社の保有データに基づく品川区の 潜在事故危険度データ	東京海上スマートモビリティ

## 5. 今後の展望

本プロジェクトで提案した道路マネジメントモデルの実装に向けた検討にご興味をお持ちの自治体様、「道路走行映像データ」等の他分野活用にご興味をお持ちの企業様は、ぜひご意見交換をさせていただきます。

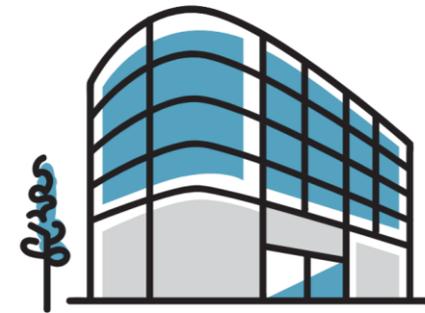
### 依頼事項

#### 自治体



✓道路維持管理にかかる日常点検に、人手や実施範囲などの面で課題を抱えている自治体様と交流させていただきたいです

#### 企業



✓防災や交通などの分野において、道路映像データの業務活用の可能性がある企業様とご意見交換をさせていただきたいです

# データが支える「ゼロ次予防」に基づく 健康促進プロジェクト

日本電気株式会社

スマートシティ統括部 シニアプロフェッショナル

高地 成彦 氏

# 令和7年度 東京データプラットフォーム ケーススタディ事業 第五回コミュニティイベント発表資料

## データが支える「ゼロ次予防」に基づく健康促進 プロジェクト

2026年3月6日  
日本電気株式会社

# アジェンダ

1. プロジェクト概要

---

2. 今年度目指す成果

---

3. 今年度の取組

---

4. 今年度の成果

---

5. 今後の展望

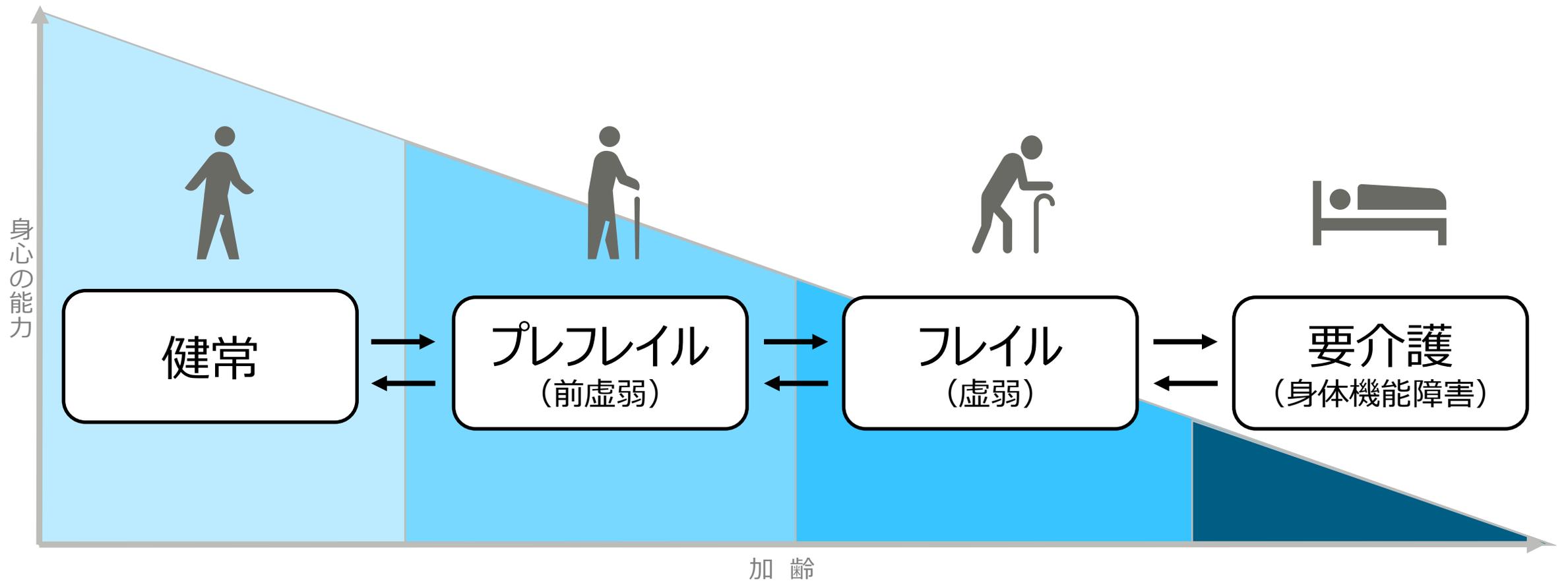
---

# 1. プロジェクト概要

## 1. プロジェクト概要

加齢に伴い心身の活力（予備能力）が低下し、要介護状態に陥るリスクが高くなった状態のこと。  
健康と要介護の中間段階に位置し、適切な介入で改善（可逆性）できる点が大きな特徴。

### フレイルとは



## 1. プロジェクト概要

高齢者の健康寿命を延ばし、財政を健全化し、地域の支え合いを強化するために、データに基づく施策改善と地域資源の最大活用に取り組む（ゼロ次予防）

### プロジェクトの背景・目的、取り組む課題

#### 現状



高齢者：フレイル割合増  
財政：財政状況厳しい  
地域：つながり希薄

#### 目指す姿



高齢者：元気  
財政：健全化  
地域：支えあい

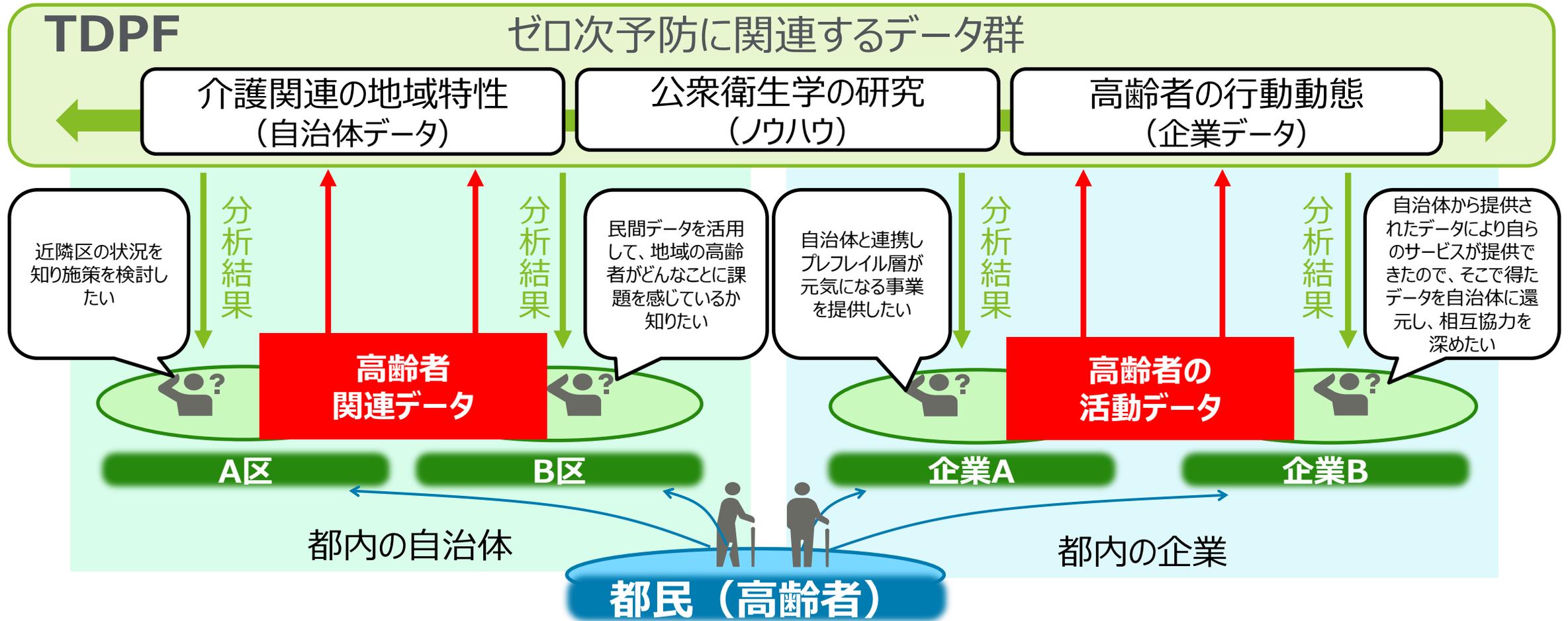
ゼロ次予防

背景	健康寿命延伸に向け、高齢者の行動・地域特性を踏まえた施策改善が必要となってきた
目的	官民データと地域資源を生かし、高齢者が元気に暮らせる環境を整え、財政の健全化と地域の支え合い体制の強化につなげる
取り組む課題	自治体の取組を進化させるため、高齢者データ・地域差の分析を充実させ、民間・地域の参画を促して地域資源を最大活用する体制づくりが必要

# 1. プロジェクト概要

介護保険費用の削減は容易ではなく、中長期的な視点で継続的に取り組むことで初めて成果が現れる課題。自治体だけでは解決できない領域であり、民間との協働を可能にしたTDPFの存在によってこそ実現する

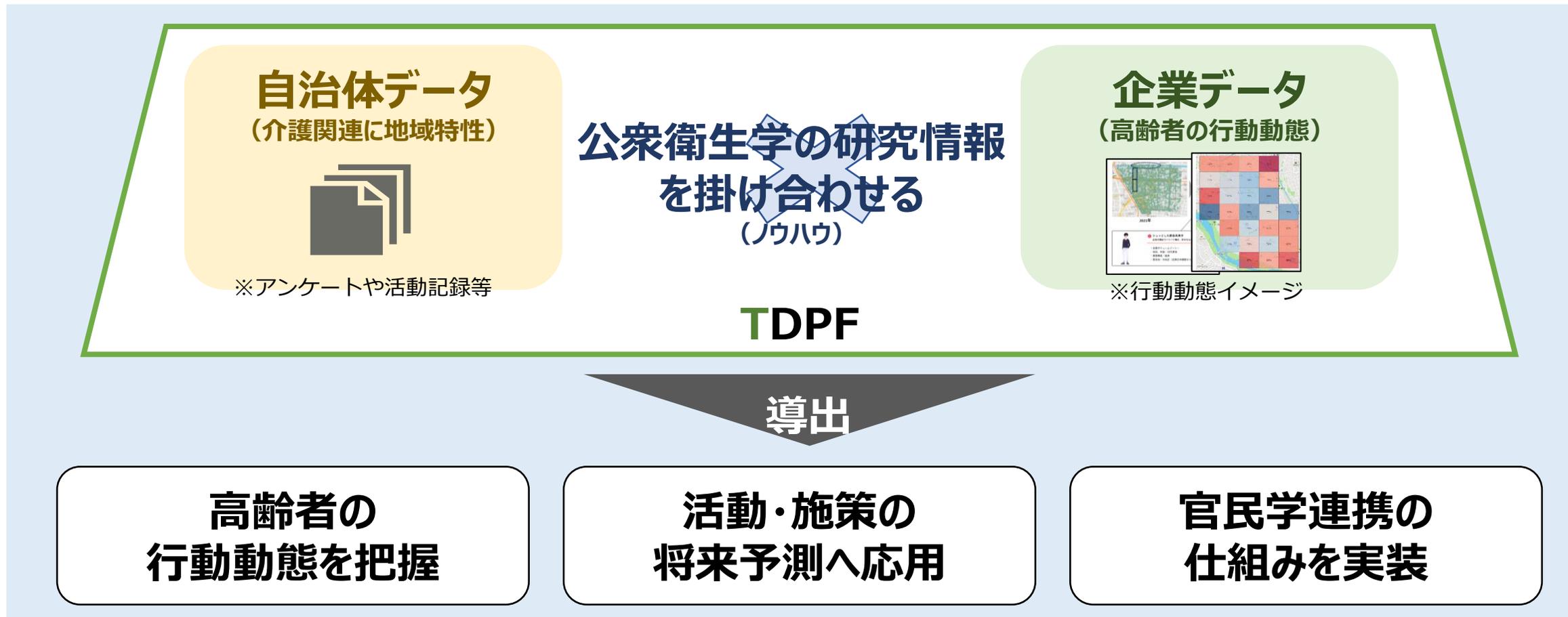
## 取り組む課題の全体像



## 1. プロジェクト概要

これまで業務負荷や人材不足で進みにくかった分析を、公衆衛生学と企業データを活用して、地域状況を可視化し、施策判断に活かす分析データを導出する

### データの掛け合わせ



## 1. プロジェクト概要

板橋区の協力のもと、千葉大学のゼロ次予防ノウハウ、unerryの人流データで自治体の庁内データと民間データから価値を導出

### 実施体制

#### プロジェクト実施体制

プロジェクト実施者（代表企業）

**日本電気株式会社**

連携

実証フィールド

**板橋区**

事業活用/民間インタビュー先想定

**23区、介護関連事業者等**

学術知見・ロジックモデル活用

**国立大学法人 千葉大学**

人流データ提供・分析支援

**株式会社unerry**

調査支援

**メルセネール株式会社**

民間サービス実証

**MONET Technologies株式会社**

## 2. 今年度目指す成果

## 2. 今年度目指す成果

介護予防を効果的に進めるために、高齢者の実態・事業効果・地域資源の価値をデータで把握できる状態をつくる（令和7年度は仮説検証）

### 今年度目指す成果



今年度目指す成果		内容
目標①	高齢者の現状を把握する	エリアごとの高齢者の状態・行動・分布をデータで捉え、ゼロ次予防のターゲットを明確にする
目標②	介護保険事業への効果を可視化する	社会保障費の抑制額（推計）などを整理し、介護保険事業の効果が定量的に説明できる状態にする
目標③	地域資源の有効性を見つける	外出促進や健康維持に効果が高い民間サービスの有用性を検証する

### **3. 今年度の取組**

### 3.今年度の取組

## エビデンスに基づく施策づくりを支えるための分析と検証に取り組む

### 今年度目指す成果に向けた取組内容

令和7年度の成果		取組み	想定する提供価値
目標①	高齢者の現状を把握する	高齢者の外出率/ヒートマップや行動特徴でエリアを分析	実態に合った施策を打つ土台づくり
目標②	介護保険事業への効果を可視化する	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を公衆衛生の知見で分析し費用を試算	事業判断が可能なエビデンス
目標③	地域資源の有効性を見つける	イベント実施で資源の効果を検証	高齢者の社会参加機会の選択肢拡大

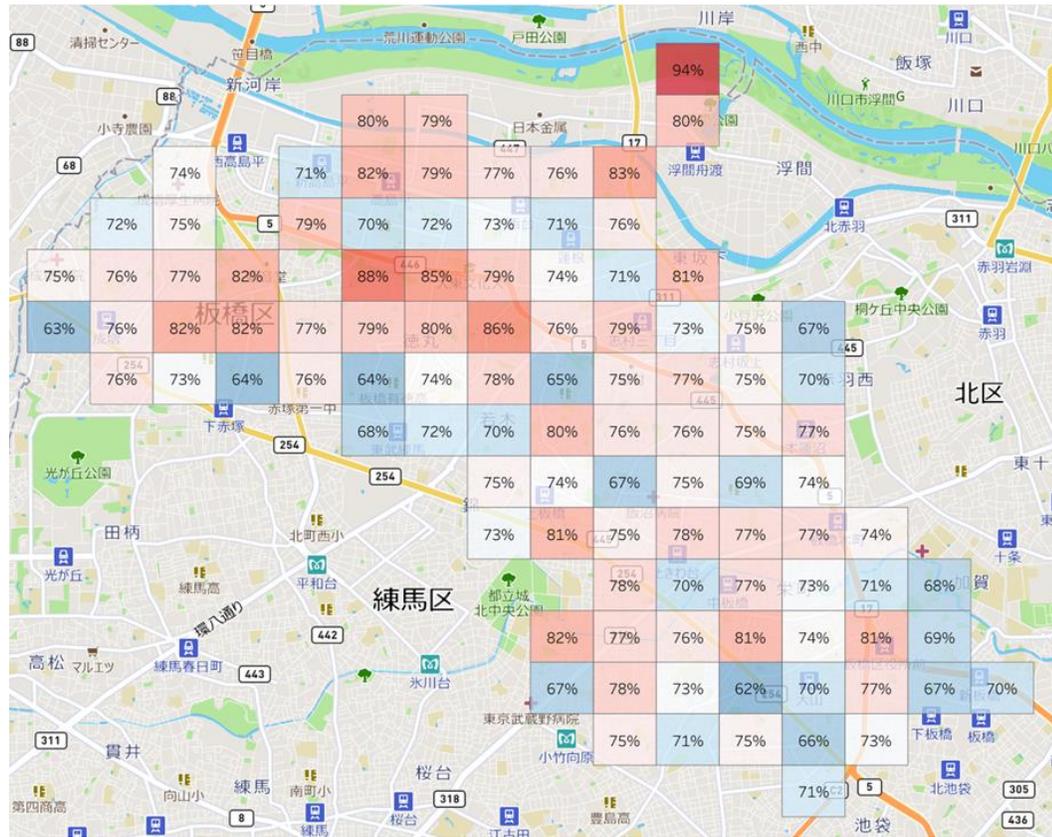
## 4. 今年度の成果

## 4.今年度の成果

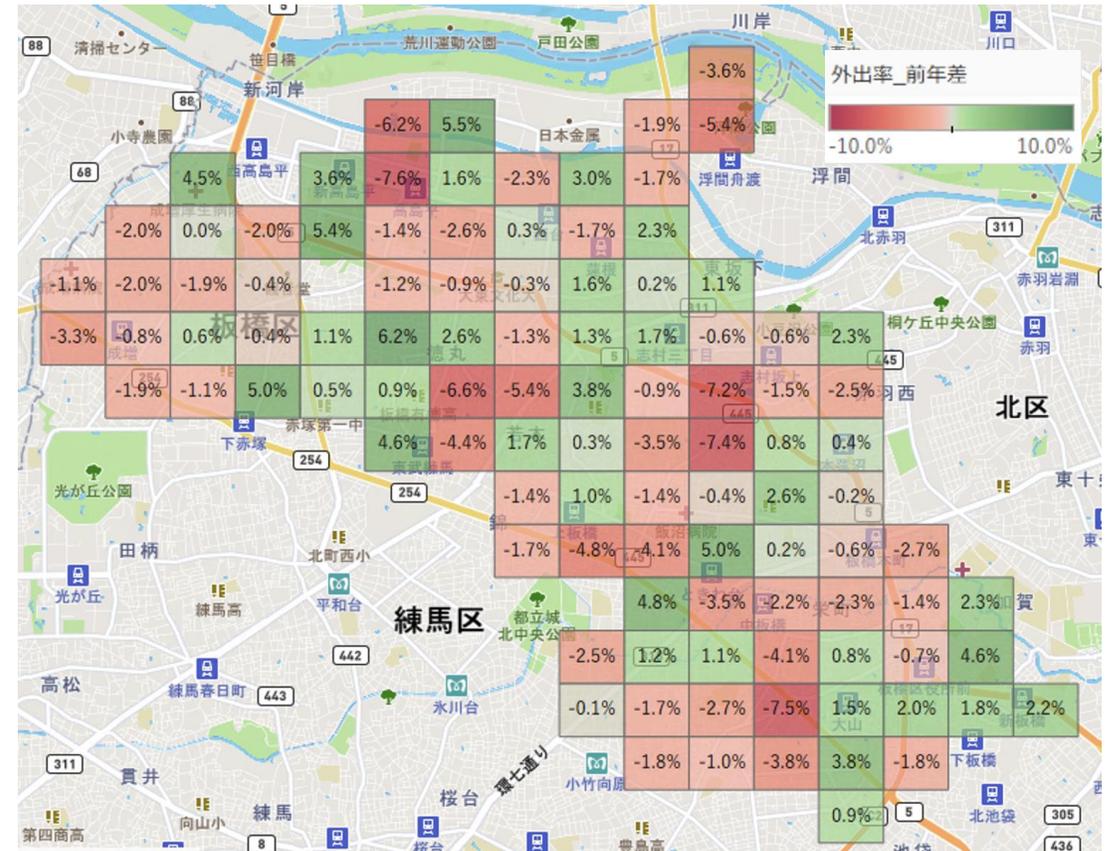
高齢化の進行に合わせて地域の外出行動の変化を丁寧に捉え、地域の多様な主体と協働して必要な支援を整えることがこれからの高齢者施策においてますます重要になっている

成果の詳細（目標①高齢者の現状を把握する）

### 区全域の外出率



### 区全域の外出率(経年変化)

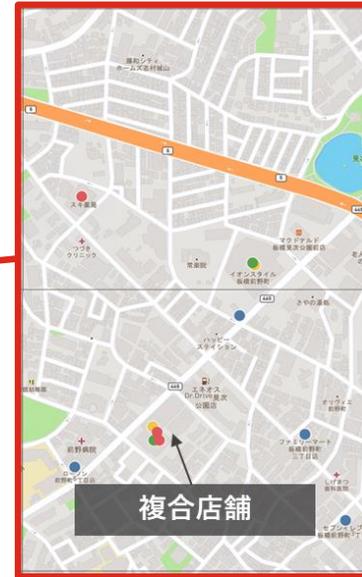
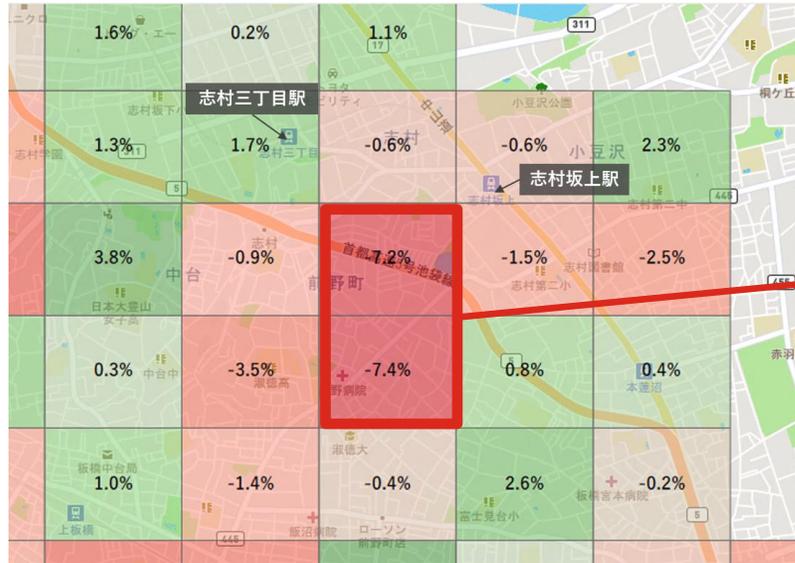


※人流分析の条件：年齢：60代以上、全数13,685ID(外出率分析対象 7,539ID 外出率の適切な評価のため ログ取得が「200日以上」「日平均12回以上」を対象)  
 データ期間：2023年10月～2025年9月 経年変化：前期2023年10月～2024年9月 後期：2024年10月～2025年9月 unerry社提供

#### 4.今年度の成果

生活が近場で完結する環境と、高齢化による移動負担の増大が同時に進んだ結果、該当エリアでは外出率が構造的に低下している可能性がある（弊社想定）

#### 成果の詳細（目標①高齢者の現状を把握する）



- コンビニ
- ディスカウントストア
- ドラッグストア
- ミニスーパー
- 食品スーパー
- 百円均一ショップ

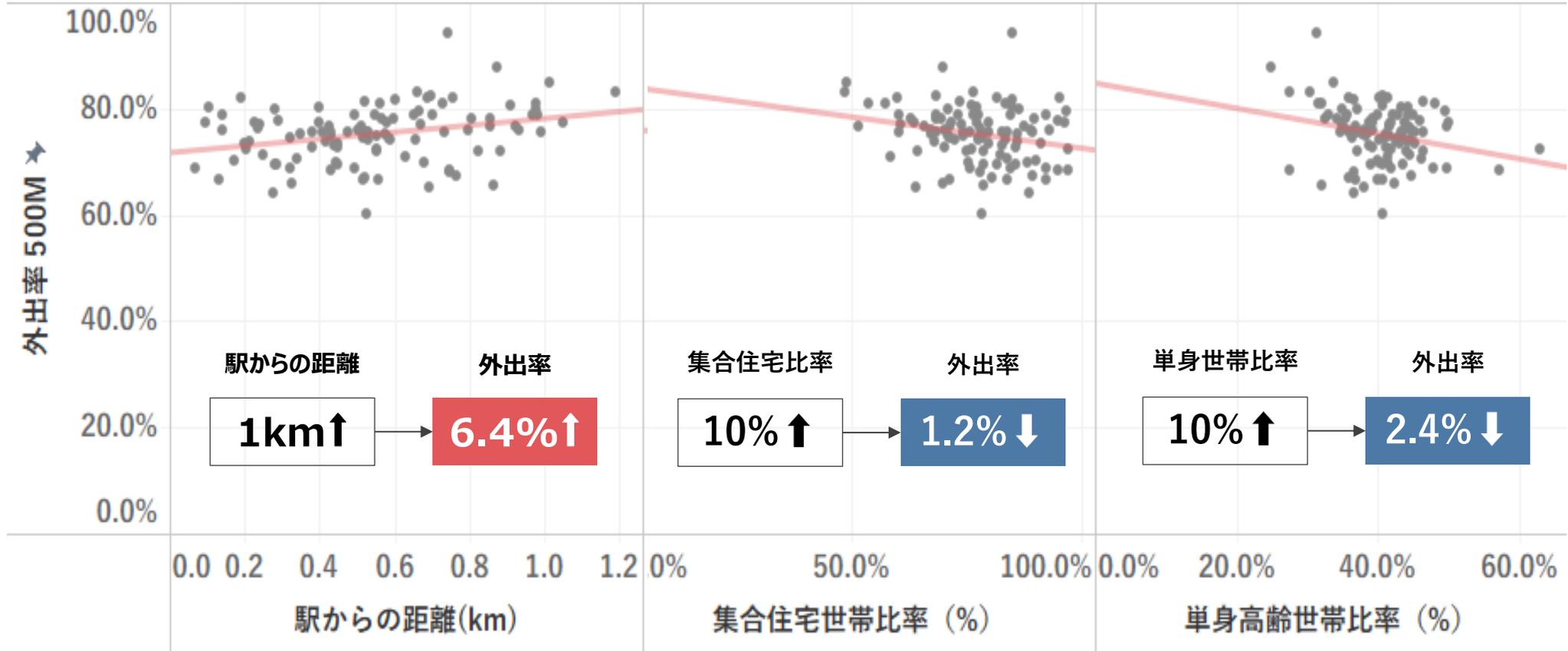
要因（想定）	内容（ポイント）
近場完結の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内に複合店舗、食品スーパー等が集積し、500m圏内で生活が完結</li> <li>・日常の用足しが近場で済むため、駅周辺への移動需要が減少</li> </ul>
高齢化 × 移動負担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・75歳以上の増加により、外出の距離・頻度が縮小しやすい</li> <li>・閉じこもり・独居等の増加により、500m圏内滞在が中心化</li> </ul>
駅方面の外出率低下	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記2つの要因が同時に進行し、駅方面への外出率が構造的に低下（弊社想定）</li> </ul>

※人流分析の条件：年齢：60代以上、全数13,685ID(外出率分析対象 7,539ID 外出率の適切な評価のため ログ取得が「200日以上」「日平均12回以上」を対象)  
 データ期間：2023年10月～2025年9月 経年変化：前期2023年10月～2024年9月 後期：2024年10月～2025年9月 unerry社提供

#### 4.今年度の成果

### 地域特性により、500mを超える“目的外出”の発生しやすさが異なる可能性がある

#### 成果の詳細（目標①高齢者の現状を把握する）



※人流分析の条件：年齢：60代以上、全数13,685ID(外出率分析対象 7,539ID) データ期間：2023年10月～2025年9月  
外出率の適切な評価のため、継続的なログ取得できている人に限定（ログ取得が「200日以上」「日平均12回以上」を対象を限定）

## 4.今年度の成果

ヒートマップと地区別の行動特徴から、環境が高齢者の外出行動に影響する“環境依存性”が確認された。そのため、地域特性に応じたゼロ次予防や行動支援策を整備し、効果的な健康増進につなげることが重要

成果の詳細（目標①高齢者の現状を把握する）

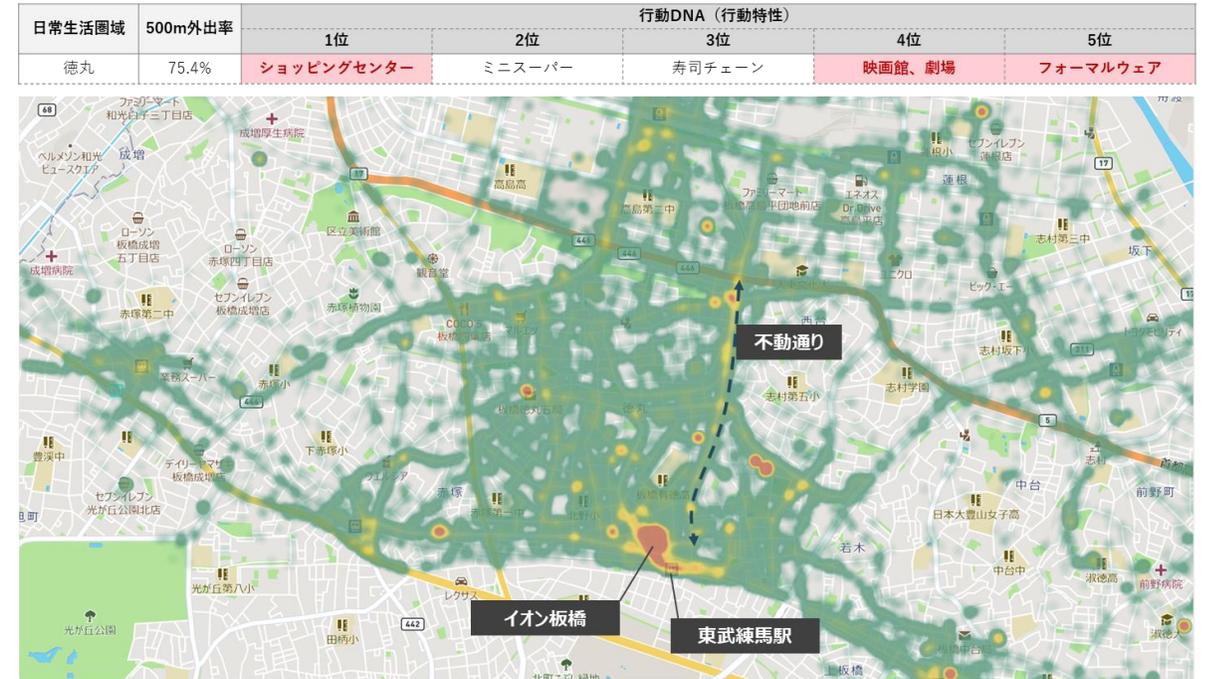
### 高島平周辺エリア

鉄道駅周辺、商業施設、健康福祉センター、図書館への来訪が多い。赤塚公園（野球場併設）内の往来もある



### 徳丸周辺エリア

東武練馬駅前のイオン板橋（映画館併設）への来訪が多い。駅遠エリアからの外出を促すドライバーとなっている可能性がある



※行動特徴は、unerry社が独自に日常の施設・スポット訪問傾向を数値化し、ユーザー毎に付与したもののデータ本取組みでは、地域の高齢者はこういった施設への来訪特性が高いかの傾向把握に活用 unerry社提供

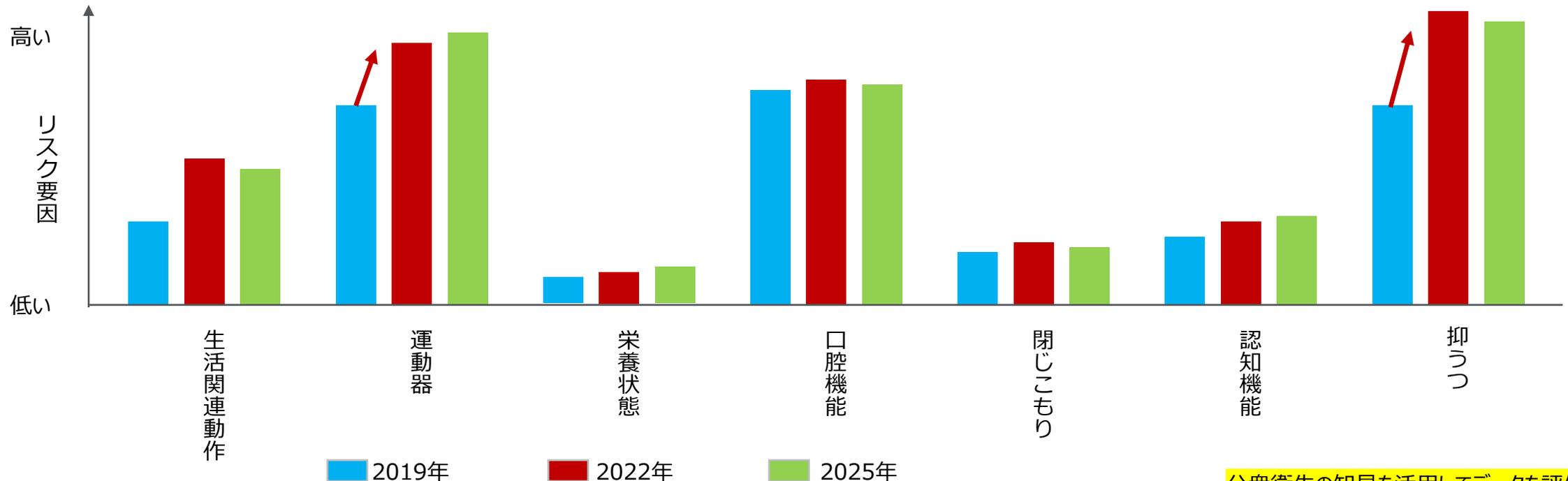
#### 4.今年度の成果

環境が行動を左右する「環境依存性」を踏まえると、コロナ禍で高まった心身リスクの回復には、行動を促す環境整備が必要となる可能性がある

#### 成果の詳細（目標②介護保険事業の効果を可視化する）

##### 区の介護リスク要因

介護予防ニーズ調査（8期・9期・10期）の分析結果で、コロナ禍の9期以降、プレフレイル・フレイル層が増加していることを確認した。アンケート結果をもとに分析可能な7つのリスク要因を評価したところ、運動器や抑うつは回復が進みやすく、フレイル改善に向けた取組を強化する必要性が高まっている可能性が示された。



公衆衛生の知見を活用してデータを評価

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査データの8期（2019年）、9期（2022年）、10期（2025年）のアンケートデータから公衆衛生のノウハウで基準を設計して分析

#### 4.今年度の成果

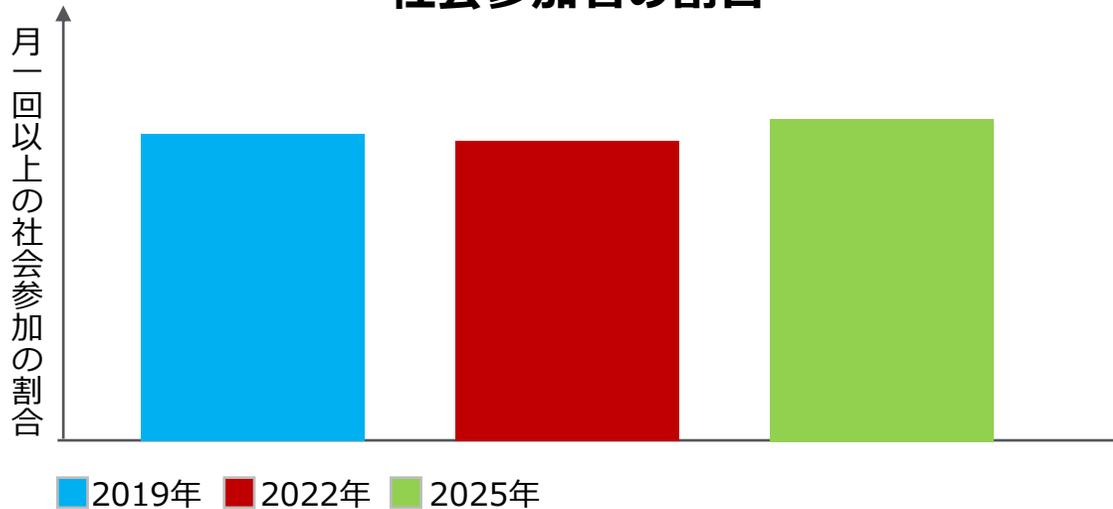
社会参加はコロナ後も安定しており、参加者は非参加者に比べてフレイルが少ない。  
2022年以降はその差がさらに拡大しており、社会参加の重要性が一層高まっている

#### 成果の詳細（目標②介護保険事業の効果を可視化する）

##### 高齢者の社会参加割合

コロナ禍による社会環境の変化はあったものの、  
高齢者の社会参加割合は概ね横ばいで推移

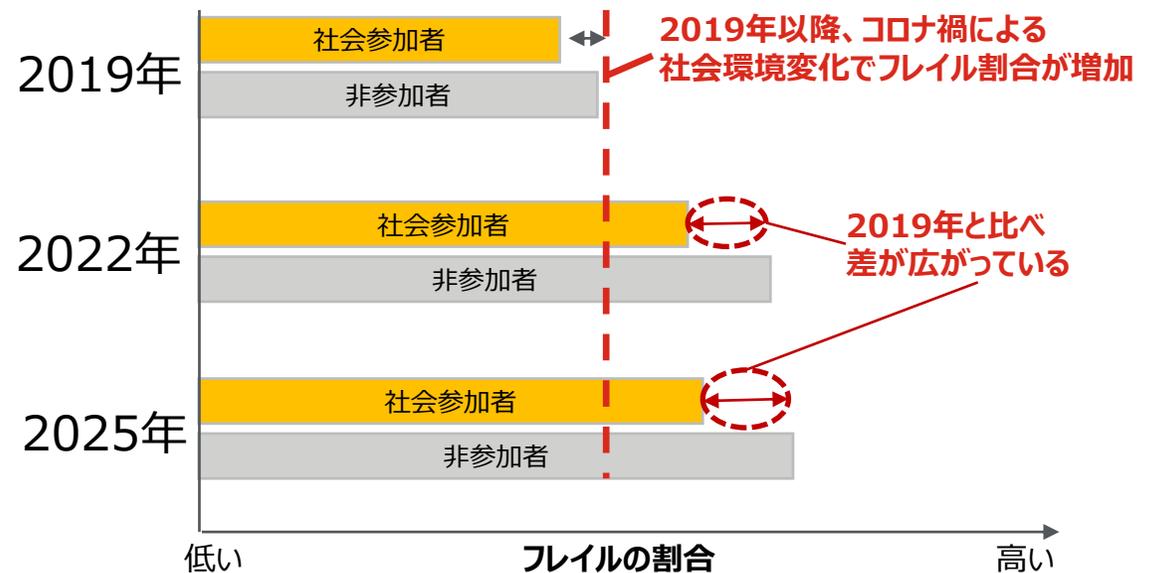
##### 社会参加者の割合



社会参加：通いの場、ボランティア、スポーツの会、趣味の会、学習・教養サークル、  
老人クラブ、町内会、収入のある仕事

##### フレイル割合×社会参加者/非参加者の相関

どの年も社会参加者のほうがフレイル割合は低く、  
2022年以降はその差がさらに拡大している。



公衆衛生の知見を活用してデータを評価

※介護予防・日常生活圏域ニーズ調査データの8期（2019年）、9期（2022年）、10期（2025年）のアンケートデータから公衆衛生のノウハウで基準を設計して分析

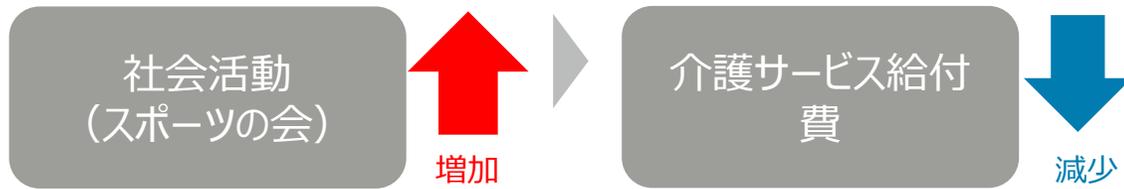
#### 4.今年度の成果

介護給付費シミュレーションの結果、板橋区でスポーツの会の参加人数割合が1%増加した場合、最大36億円(6年累積)となり区の一般財源は最大4.5億円(6年累積)の節約見込み(要継続議論)

成果の詳細(目標②介護保険事業の効果を可視化する)

#### 社会参加率×介護サービス給付費※の統計分析

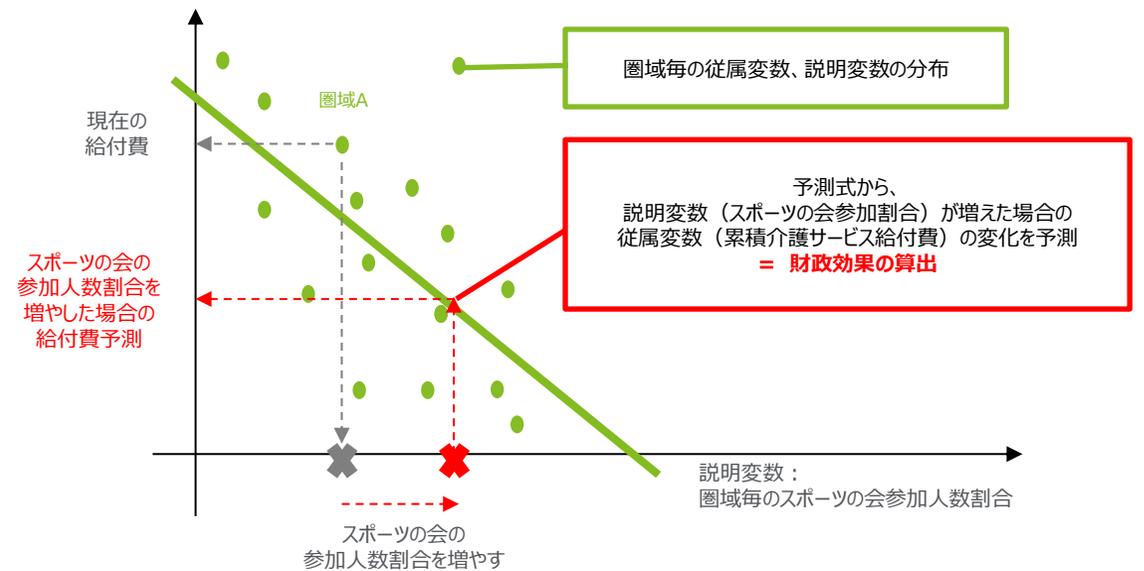
年齢考慮した縦断分析の結果、「スポーツの会」が最も介護サービス給付費への効果あり



**6年間の累積介護サービス給付費は  
約8,000円/人改善**

「スポーツの会」への参加人数割合が1%増加した場合の効果

#### イメージ図



公衆衛生の知見を活用してデータを評価

※参考文献: 要支援・要介護リスク評価尺度点数別の累積介護サービス給付費: 介護保険給付実績の6年間の追跡調査より  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/jph/68/11/68\\_21-056/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jph/68/11/68_21-056/_pdf/-char/ja)

## 4.今年度の成果

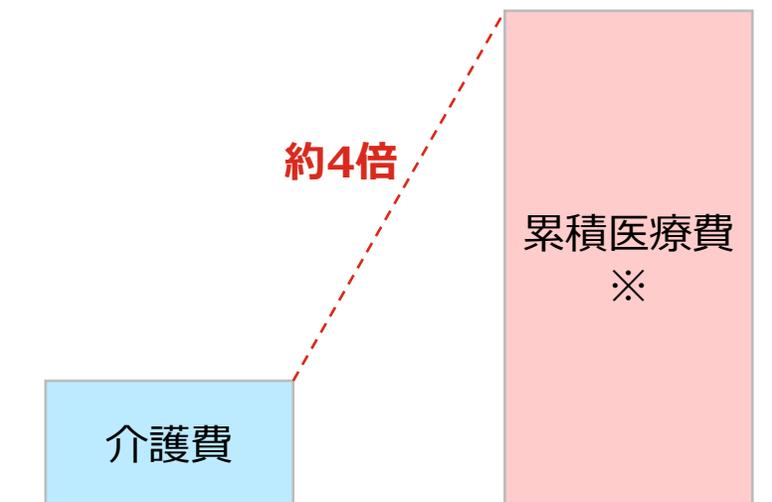
スポーツの会への参加が1%増えるだけで、論文からの実績を元に換算すると累積医療費は約144億円減少し、介護予防の取組が医療費抑制に大きく寄与する可能性が示された。次年度以降も引き続き検証

### 成果の詳細（目標②介護保険事業の効果を可視化する）

#### 最新の論文ベースで累積医療費の効果をシミュレーション

JAGESより今年度発表した論文によると介護予防に関わる取組が、累積医療費抑制効果があることを確認

#### 介護費と累積医療費の比較



板橋区で実施するスポーツの会を1%増加すると

**医療費への効果：約144億円（論文参考）**

（6年累積介護サービス給付費に4倍した数値。次年度以降、検証が必要）



要支援・要介護リスク評価尺度の点数が1点高いとその後3年間の累積医療費と介護費の合計額が約5.7万円高い。

高齢者の要介護認定発生を予測可能な要支援・要介護リスク評価尺度(リスク評価尺度)が開発され、ソーシャルインパクト・ボンド(SIB)<sup>1)</sup>の成果としての介護費削減額の試算に用いられています。今回、我々は愛知県武豊町在住 65 歳以上の高齢者約 5,200 人を対象にリスク評価尺度の点数(リスク点数)とその後3年間の累積医療・介護費の関連を解析しました。その結果、リスク点数が1点高いほど1人あたりの3年間の累積医療・介護費は約5.7万円(医療費は4.73万円、介護費0.96万円)高いことが明らかとなりました。今後、リスク評価尺度は、SIB 事業等における介護費削減額の試算に加え、医療・介護費削減額の試算にも用いられることが期待されます。

お問合せ先:名古屋大学大学院経済学研究科 研究員 小牧靖典 [y7komaki@gmail.com](mailto:y7komaki@gmail.com)

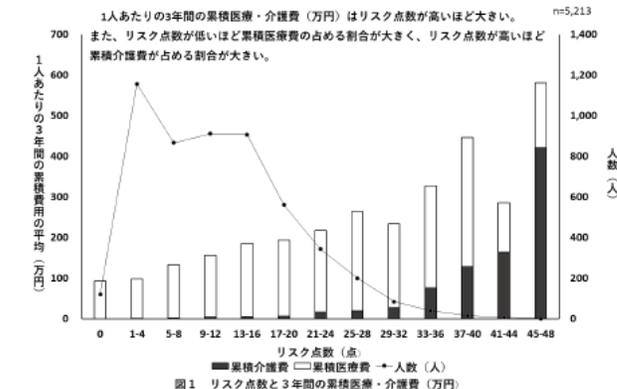


図1は横軸にリスク点数区間を示している。棒グラフは1人あたりの3年間の累積医療費平均と累積介護費平均を積み上げた金額を示している(左目盛)。折れ線グラフは人数を示している(右目盛)。

早期公開

出展：JAGESの発表論文 2025年6月

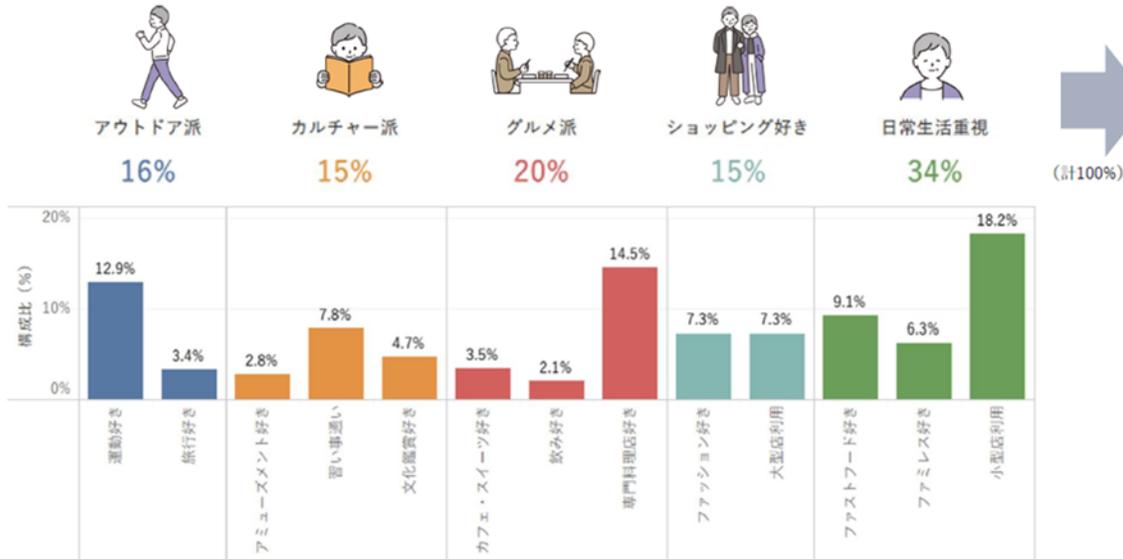
※累積医療費とは：特定の期間（本研究では3年間）に、対象者が医療サービスを利用して支払われた医療費をすべて合計したもの。診療・入院・薬剤など、医療保険で給付される費用の総額

## 4.今年度の成果

高齢者の行動タイプを踏まえてスポーツの会を企画することで、参加率を高めつつ、環境に応じた社会参加の促進が期待できる。

### 成果の詳細（目標②介護保険事業の効果を可視化する）

#### 板橋区全域の行動タイプ



タイプ	割合	参加のしやすさ	継続性	有望度
日常生活重視	34%	◎	◎	★★★★★★
グルメ	20%	◎	○	★★★★★☆
アウトドア	16%	○	○	★★★★★☆
ショッピング	15%	○	△	★★★★☆☆
カルチャー	15%	△	○	★★★★☆☆

一例

主 / 副タイプ	施策例（タイトル例）	主なインセンティブ
主：日常生活重視 副：アウトドア	「団地内ポケット体操（10分巡回）＋季節ウォーク」	3カ所参加で“エリアバッジ”／友人同伴で倍
主：日常生活重視 副：グルメ	「10分だけ！椅子ストレッチ＆血圧チェック」	3回参加で粗品（入浴剤等）／5回で招待

※行動タイプは、取組み①の行動特徴（行動DNA）をもとに、5つのグループ / 13のサブグループに分類したもの unerry社提供

#### 4.今年度の成果

住民のコミュニティ形成を目的としたミストサウナ体験会を開催。2025年12月6日～10日の5日間で24名が参加し、団地内の安心できる環境で“温熱体験×交流”の機会を提供した。

#### 成果の詳細（目標③地域資源の有効性を見つける）

	内容
目的	団地の特性を活かした、安心コミュニティで、潜在ニーズを把握し施策検討につなげる
企画体制	板橋区 まちづくり推進室、UR、MONET Technologies、NEC
企画の特徴	イベント的運営形態を採用し、モビリティ活用による地域のにぎわいを創出
データ活用	実施後のアンケートにより地域住民の率直な声を把握し、今後の地域づくり・団地運営・施策検討に活用

運行実績
サービス内容 : ミストサウナの体験
運行場所 : 板橋区高島平 (UR高島平団地内の特定場所)
運行時期 : 2025年12月6日～10日
営業時間 : 10:00～15:00
所要時間 : 約40分/人
利用上限数 : 8人/日
料金 : 無料



体験を通じてリラックスや健康への気づきに加え、自然な会話が生まれ、“体験起点のコミュニティ”の可能性を確認。UR団地内の空間資源を活かした、小規模で実施しやすい新たなコミュニティ形成手法として有効性を示せた。

#### 4.今年度の成果

コミュニティ形成のニーズは多様で変化し続けるため、民間主体を巻き込んだ多チャンネル化と、生活圏単位での最適なプログラム配置により、地域の需要と供給を柔軟に調整できる仕組みが有効

成果の詳細（目標③地域資源の有効性を見つける）

#### ミストサウナ体験会 参加者からの声（一部抜粋）

15分間なのに、**満足感はずごい。**

**1人でゆっくり利用できてよかった**

**また入りたい。**



**このような機会が色々な方に届くと、人生に彩りが増える**と思う。

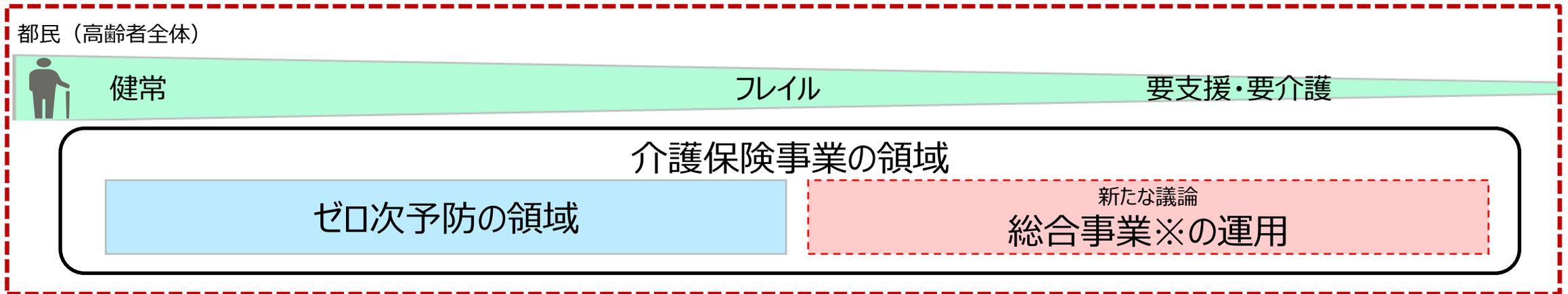
2人で入ったが、**心が明るくなった。**

#### 4.今年度の成果

区との議論を通じて、介護事業所の人材逼迫と給付費増大が介護保険事業全体の課題として明確となり、運用を含む構造改革が必要との方向性のもと、今後も事業化に向けた議論を進めていく

成果の詳細（目標①②③を踏まえた区との事業化の方向性）

#### 事業全体の視点



新たな議論として、総合事業の運用について介護認定を受ける前に、  
元気改善するプログラム導入で認定率の抑制を実現した実績を議論（**ゼロ次予防と両軸**）

※総合事業とは、区市町村が行う介護予防と生活支援のための事業。要支援者・事業対象者に対し、地域の多様な主体が提供する柔軟なサービスを含む。

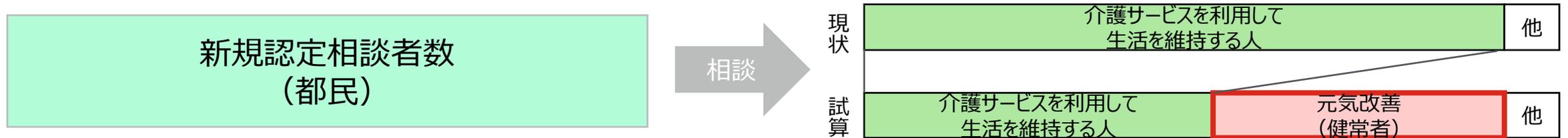
#### 4.今年度の成果

ゼロ次予防と総合事業の運用で、高齢者の暮らしを豊かにし、介護保険事業を人材・財源の両面で持続可能にする。

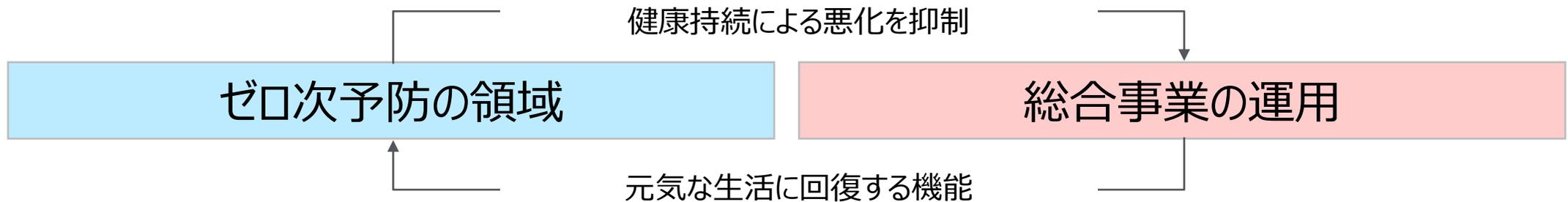
成果の詳細（目標①②③を踏まえた区との事業化の方向性）

#### 介護保険事業の運用見直し効果の算出

新規認定相談者数/年、認定者数/年、1年後の悪化率等のデータを元に、他自治体実績から効果を試算



**1年間の介護給付費抑制効果1~2億円の節約（人材リソースも軽減）**



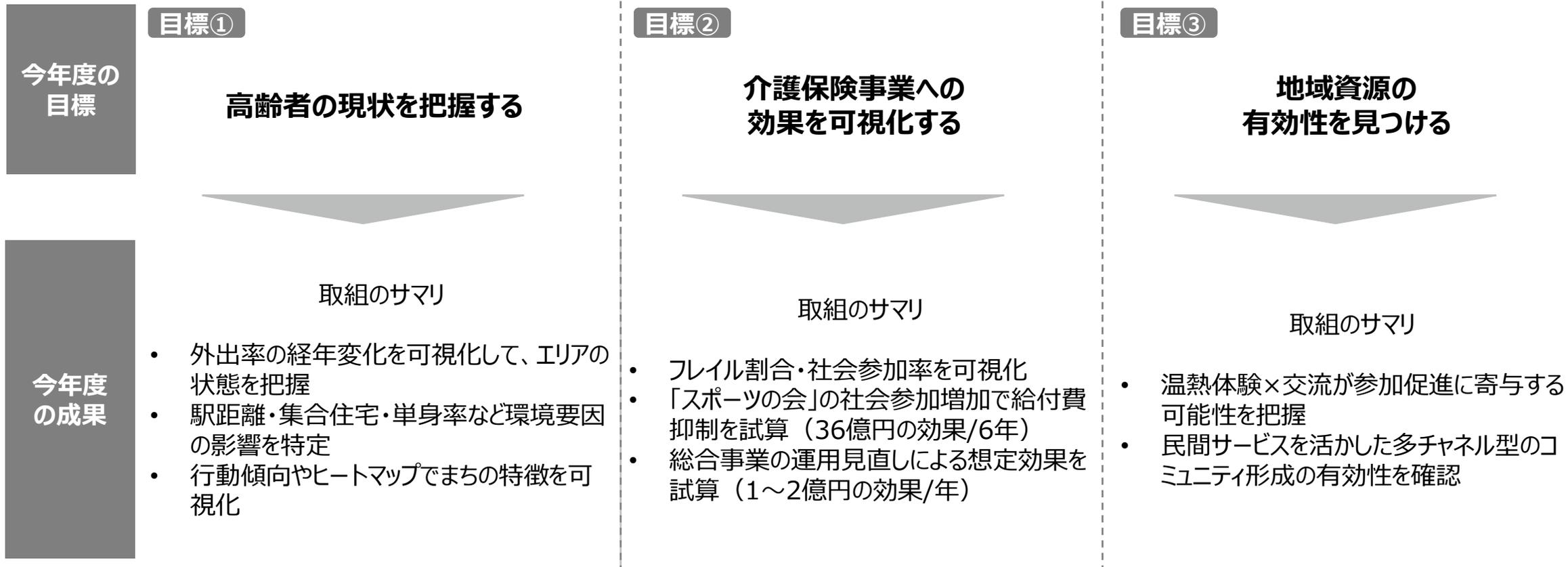
**高齢者の暮らしを豊かにし、介護保険事業を人材・財源の両面で最適化する未来を実現していく**

## 5. 今後の展望

## 5. 今後の展望

高齢者の実態把握、介護予防の効果検証、地域資源の活用を通じてエビデンスに基づく介護保険事業の状況を示すためのデータが整い（継続分析）、本格事業化に向けて引き続き議論を進めていく

### 今年度の総括



### 実証成果

生活圏域別の高齢者の行動実態や介護リスクの分析結果を基に健康増進施策や中長期計画を見直すことで、学術的には6年間の累積介護サービス給付費を最大36億円等の抑制に繋がることを把握できた

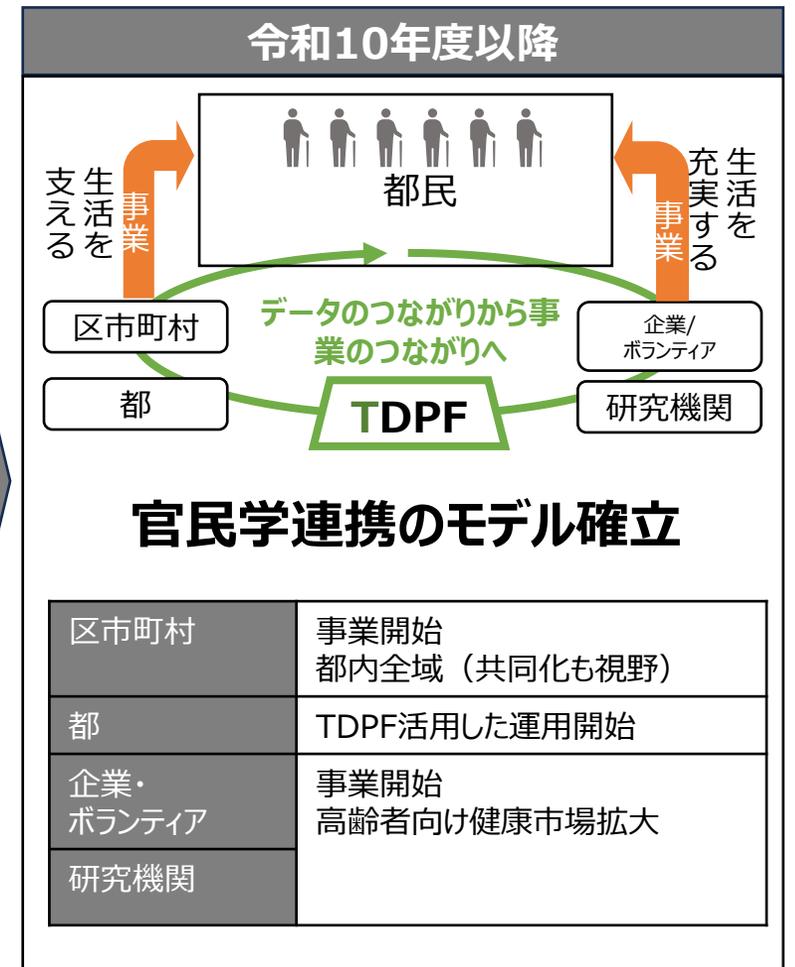
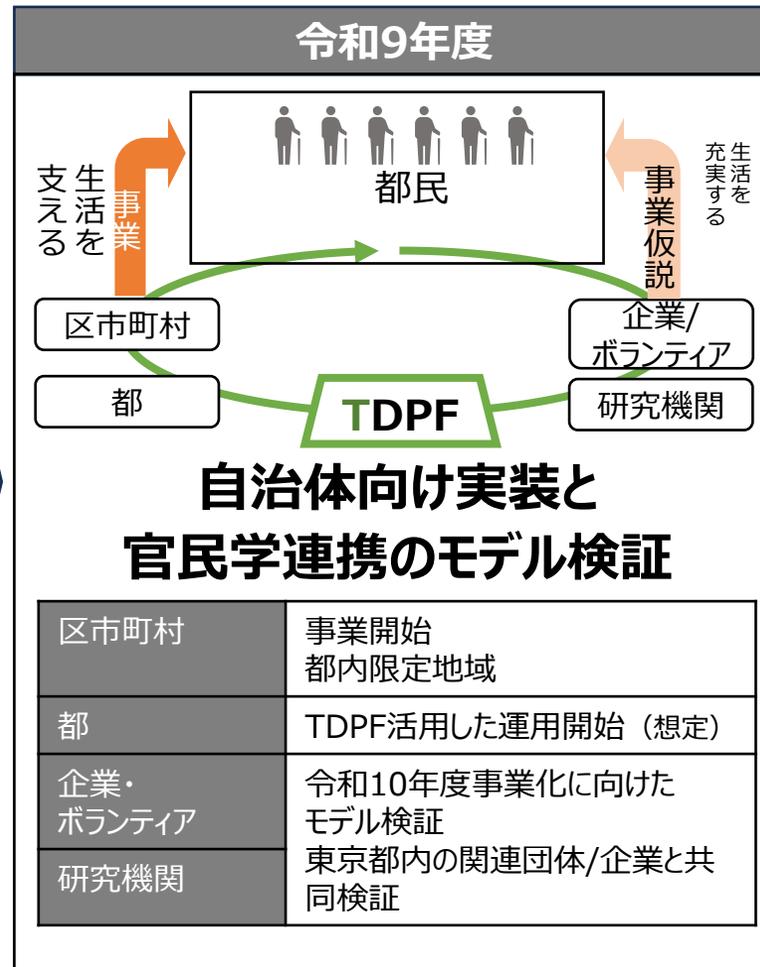
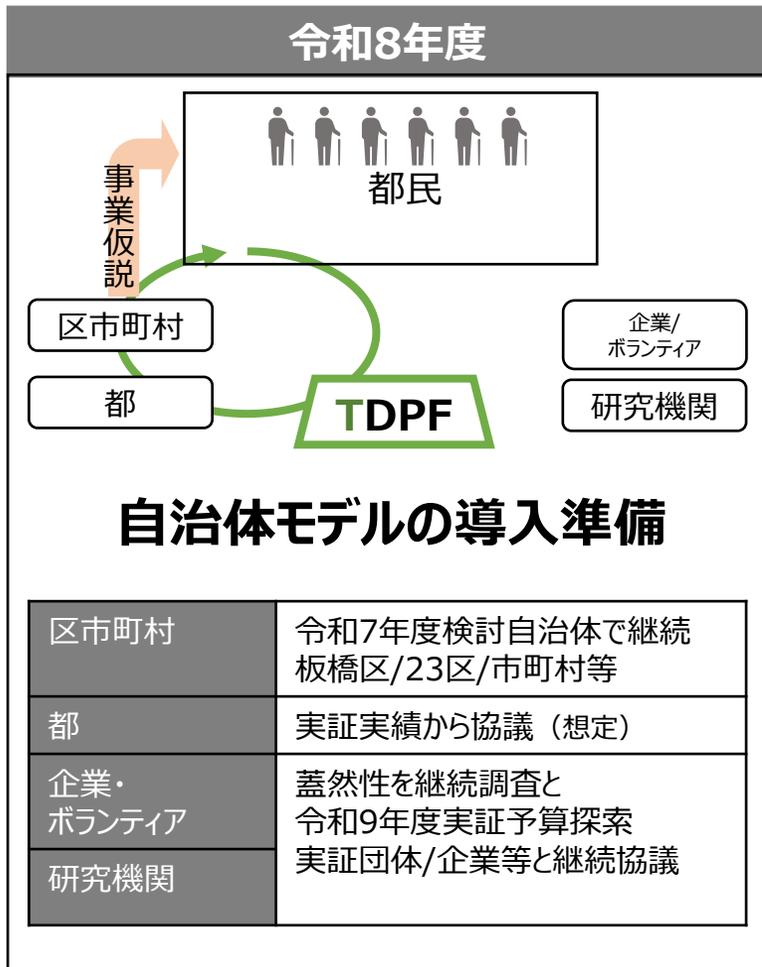
## 5. 今後の展望

令和8～9年度に、自治体モデルの導入準備から実装・検証までを推進

令和10年度以降、官民学連携による高齢者向け健康事業モデルを確立し広域へ展開する計画を進める

データの流れ →

事業の流れ →



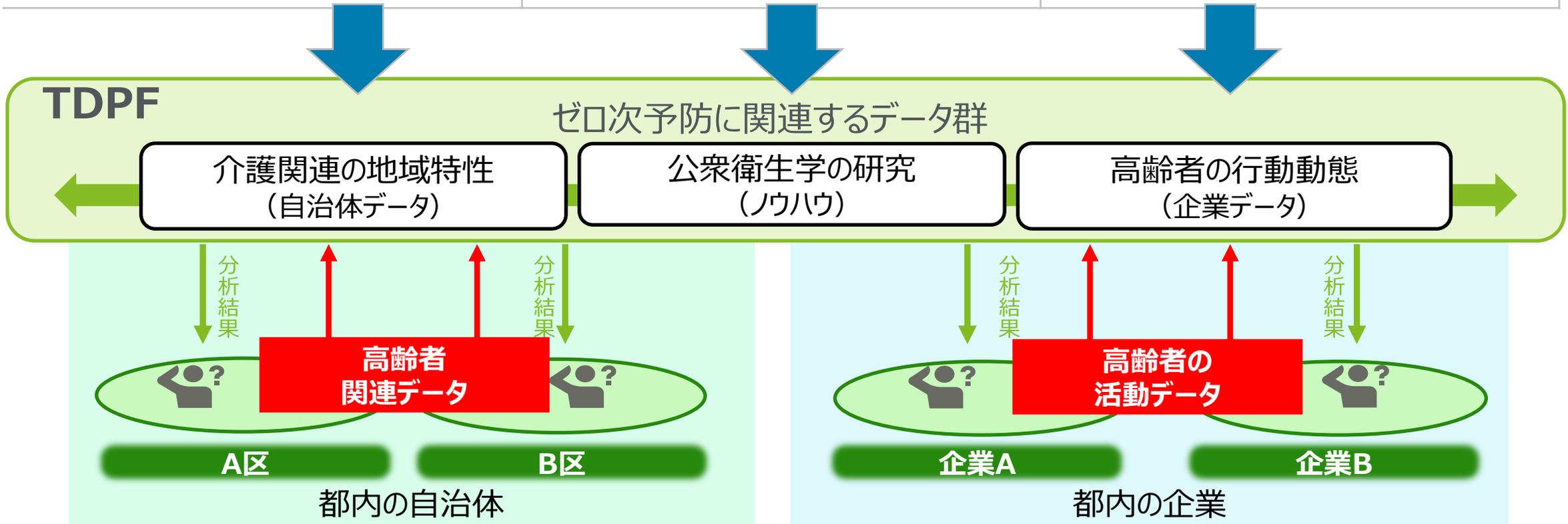
## 5. 今後の展望

本プロジェクトの成果をTDPFへ還元データとして共有。

他の自治体や民間企業などが同様の課題解決に取り組む際に参照例としてご活用いただきたい。

### TDPFへの還元データ

自治体データ（板橋区）	ノウハウ	企業データ
<ul style="list-style-type: none"><li>高齢者人口</li><li>要介護認定率</li><li>介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>地域介護リスクデータ</li><li>社会保障費推計データ</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>高齢者の外出率</li><li>高齢者の行動特徴</li><li>高齢者の移動量</li></ul>



## 5. 今後の展望

高齢者の豊かな暮らしを実現するため、自治体と企業が力を合わせて新たな介護保険事業の構造を共創し、官民学で未来の地域づくりを推進します。

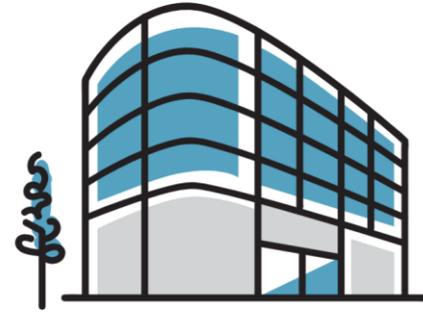
### 依頼事項

#### 自治体



- ✓ 行動データと介護リスクを施策づくりに活かしたい自治体
- ✓ ゼロ次予防を強化し、社会参加促進策を検討したい自治体
- ✓ 自治体官民学連携モデルの導入・拡大に関心のある自治体

#### 企業



- ✓ 行動データを活かし地域向けサービスを共創したい企業
- ✓ 健康増進・社会参加促進のプログラムを提供したい企業
- ✓ TDPFと連携し、ゼロ次予防領域で実証・展開したい企業

An elderly couple is jogging on a wooden boardwalk. The man is on the left, wearing a bright blue jacket and grey pants, with a white beard and hair. The woman is on the right, wearing a grey and red jacket and black leggings with a blue stripe. Both are wearing white earbuds and smiling at each other. The background shows a body of water and a clear sky.

**「ゼロ次予防」でまちを変える、未来をつくる  
～高齢者の健康促進で健康で健やかな社会を目指す～**

# データ活用で引き出す、 地域の経済活性化&共生推進プロジェクト

一般社団法人港区観光協会

事務局長

茂木 春良 氏

# 令和7年度 東京データプラットフォームケーススタディ事業 第五回TDPFコミュニティイベント発表資料

## データ活用で引き出す、地域の経済活性化&共生推進プロジェクト

### 【実施主体一覧】

- 一般社団法人港区観光協会
- 港区
- 日鉄興和不動産株式会社
- 品川プリンスホテル
- マクセル アクアパーク品川
- 株式会社ジール
- 東日本旅客鉄道株式会社
- 株式会社リクルート
- 株式会社ブログウォッチャー

順不同

# アジェンダ

1. プロジェクト概要

---

2. 今年度目指す成果

---

3. 今年度の取組

---

4. 今年度の成果

---

5. 今後の展望

---

# 1. プロジェクト概要

## 1. プロジェクト概要

データ活用で、品川駅周辺の消費機会と共生を両立する実証を開始しました

### プロジェクトの背景・目的

#### 目的

- ① 既存来訪者や住民の繁閑時間帯や人流可視化による消費機会の創出
- ② 駅や路線を越えた魅力の掘り起こしにより、地域に対する満足度や愛着心の向上
- ③ 都市型共存エリアにおける横展開可能なデータ活用モデルの創出

#### 背景

- ・ 在勤者や宿泊客など、来訪者を対象としたエリアを面で捉えたデータ活用や施策は実施されておらず、潜在的な消費力を活かしていない。
- ・ 駅・路線を境としたエリアの分断により、住民や事業者間の交流機会を妨げる事で、地域全体の活性化や経済発展の機会が損なわれている可能性がある。

# 1. プロジェクト概要

## GOALとSTEPの整理になります

### 取組の全体像

GOAL

既存来訪者と住民の潜在消費を拡大させる事で、  
経済活性化と共生促進を両立させるデータ活用モデルの構築

STEP 1

人流データ×駅利用者データ×周辺施設データなどのデータの掛け合わせにより在勤者・宿泊者・住民の現状を可視化

STEP 2

データ分析による課題設定と打ち手の検討、施策の実行

STEP 3

データに基づく施策の検証

STEP 4

都内類似エリアにおける横展開に向けたデータ活用手法の構築

# 1. プロジェクト概要

## 還元までのフローと還元ポイントの整理になります

### データの掛け合わせ

#### データ収集・分析\*

#### 施策検討

#### 施策実行

一般社団法人 港区観光協会	協会員(法人)・ 地域の観光関連データ
港区	地域・住民関連データ
日鉄興和不動産 株式会社	在勤者の属性・関連 データ
品川プリンスホテル	宿泊および施設 関連データ
マクセル アクアパーク品川	施設関連データ
東日本旅客鉄道 株式会社	改札通過者データ・沿 線関連データ
株式会社リクルート	観光関連（宿泊・遊 び体験）データ
株式会社 ブログウォッチャー	在勤者・宿泊者・住民 の人流データ

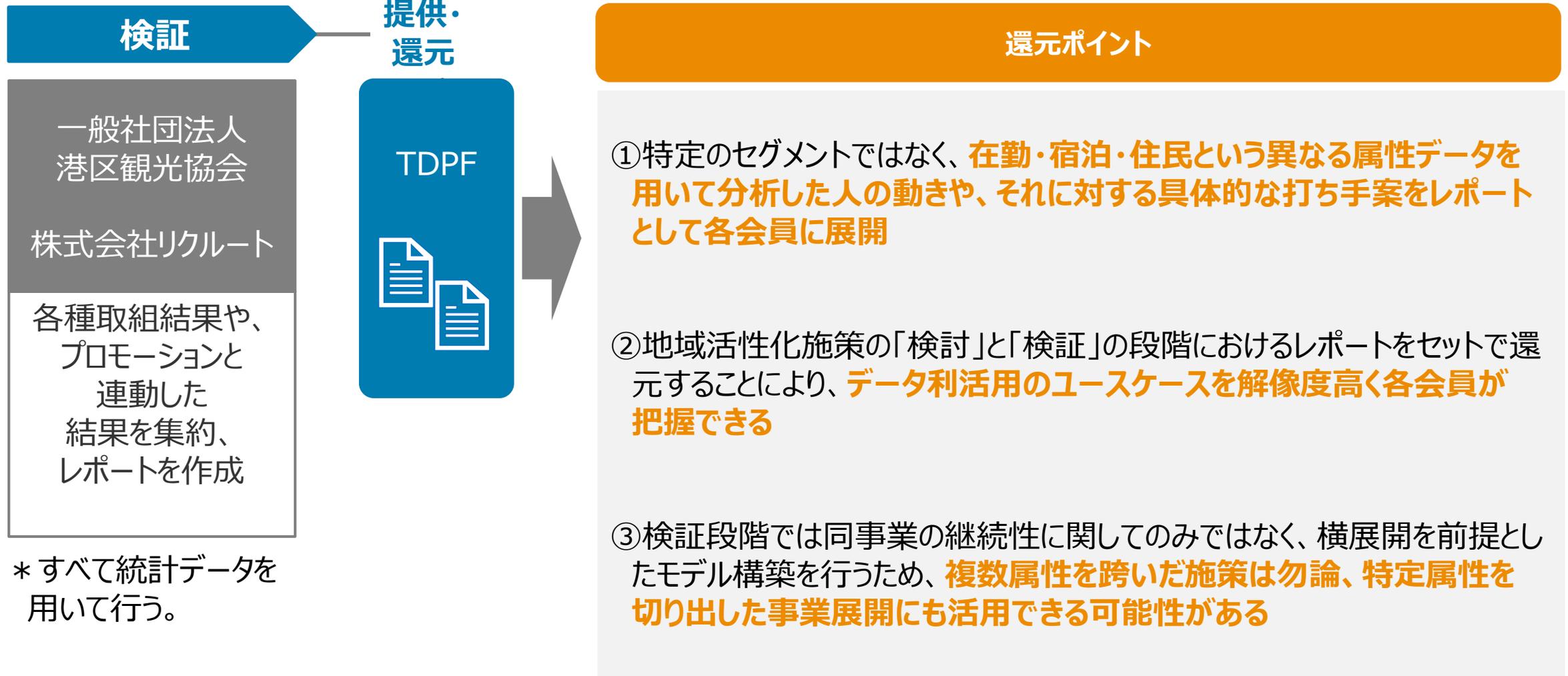
一般社団法人 港区観光協会
株式会社 リクルート
各種統計データをベー スにレポート を作成 ↓ レポートを軸に施策を 検討

港区	日鉄興和不動産 株式会社
住民向け情報発信	在勤者向け プロモーション推進
品川プリンスホテル	マクセル アクアパーク品川
コンテンツ開発 ・販売推進	コンテンツ開発 ・販売推進
株式会社ジール	株式会社リクルート
コンテンツ開発 ・販売推進	コンテンツ開発支援・ プロモーション推進

# 1. プロジェクト概要

## 還元までのフローと還元ポイントの整理になります

### データの掛け合わせ



## 2. 今年度目指す成果

## 2.今年度目指す成果

今年度は「可視化→企画→販売→検証」までを一気通貫で実行しました

### 今年度目指す成果

#### 目指す状態

- ①品川駅エリアにおける既存来訪者と住民の潜在消費の拡大、またはそのための示唆が得られている状態
- ②本事業の内容や実績を基に、品川駅エリア以外の港区内のエリアや、類似課題を抱えると考えられる港区以外の行政区やエリアに、具体的な提案活動ができており、それに基づく検討がされている状態

#### 具体的な成果物

- ①**在勤者・宿泊者・住民の人流の現状可視化・分析**
  - 各対象のエリア人流の現状を可視化する。
  - 各施設や駅利用データ等からターゲットの傾向を検討・分析する。
- ②**在勤者・宿泊者・住民の消費を活性化するコンテンツ造成**
  - ①のデータを参考に、潜在ニーズを捉えたコンテンツ・プランを企画立案・造成し、オンラインで販売する。
- ③**データ分析→コンテンツ・プラン造成、販売を行った結果の整理及び考察**
  - ①②の結果を利用実績やアンケートで振り返り検証する。
  - ③を基に同エリアでの次年度に向けた改善案を出し、具体的な実施内容について整理する。
  - ③を基に他エリアへの提案を進め、その中で有効な点・障壁になる点などを整理し、横展開の推進に役立てる。

### **3. 今年度の取組**

### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：

データ分析を基にした、現状把握、課題特定、ターゲット設定、打ち手案の企画・設計

実施したこと

品川駅周辺の在勤者・住民・宿泊者別に、「人流データ分析」「ターゲット分析」「ペルソナ設定」を実施  
人流データは、品川駅周辺を、細かなメッシュ、特定スポット、曜日・時間帯で分割して詳細を分析

#### 【一例】通勤者（品川インターシティ）の人流データから見た傾向

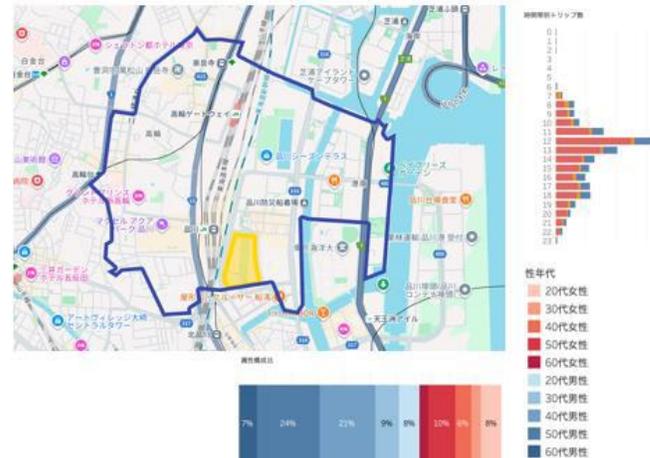
平日の出勤・ランチタイムは館内か周辺完結。  
17～19時に港南エリア（東側）の  
飲食店街へ流入が活発化し、  
一部は西側（プリンスホテル方面）への  
移動も見られる。

人流データ提供元：  
株式会社プログウォッチャー

#### 品川インターシティ在勤者の場合 時間帯別 移動傾向

2024年12月度における通勤者の時間帯別移動傾向を3時間ごとに分析。（品川インターシティを発地とした地域内の移動傾向）  
出勤時、ランチタイムはインターシティ内での人流が活発化。  
アフターファイブ(17時～19時)は品川駅および飲食店街への人流が多く見られる。

▼対象エリア



<考察>

インターシティ勤務者は西側エリア（品川プリンスホテル方面）への移動が見られるものの、ボリュームとしては限定的。インターシティ内、飲食店街への人の流れが大きい。  
特に、17時～19時台においては飲食店街への移動が活発であり、アフターファイブの飲み会需要などはこのエリアが吸収しているものと考えられる。

▼8時～10時



▼11時～13時



▼17時～19時



### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：

データ分析を基にした、現状把握、課題特定、ターゲット設定、打ち手案の企画・設計

実施したこと

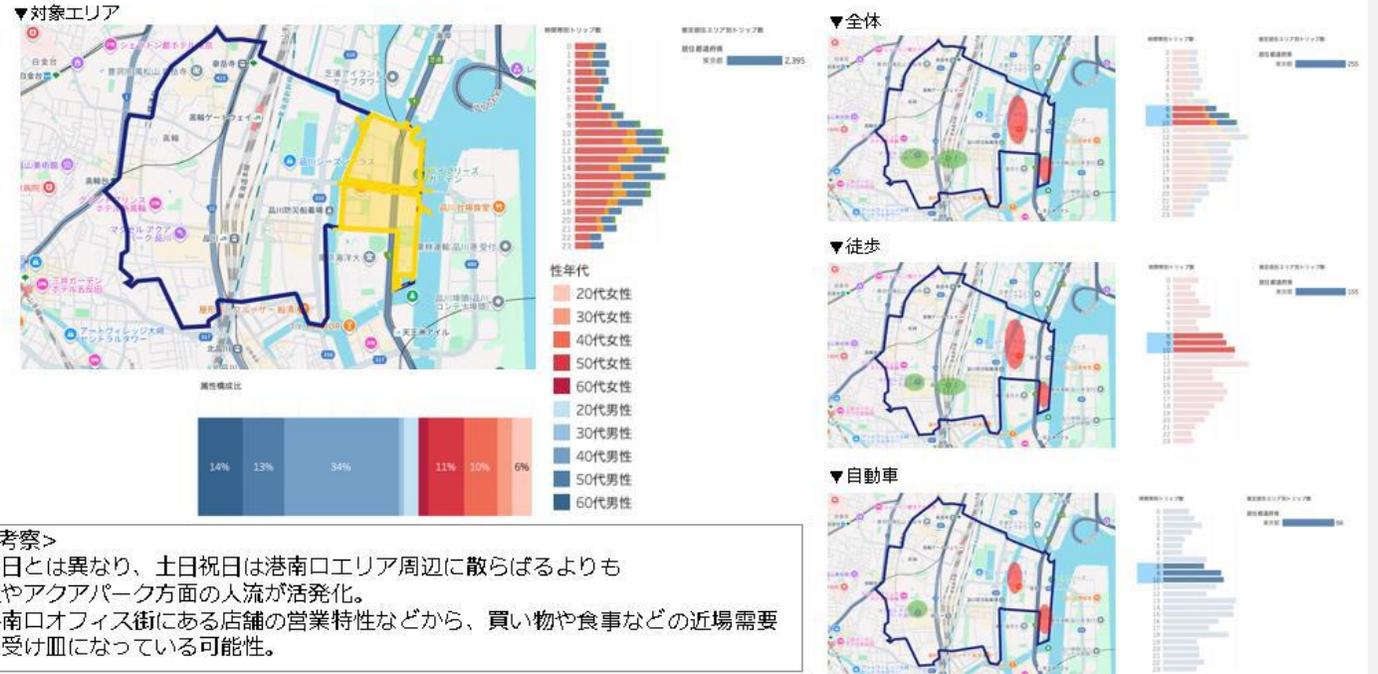
品川駅周辺の在勤者・住民・宿泊者別に、「人流データ分析」「ターゲット分析」「ペルソナ設定」を実施  
人流データは、品川駅周辺を、細かなメッシュ、特定スポット、曜日・時間帯で分割して詳細を分析

#### 【一例】住民（港南3・4丁目）の人流データから見た傾向

品川駅東側での移動が中心であるが、週末の午前時間帯に関しては西口への移動ボリュームが増加する。

港区 港南3丁目 港南4丁目住民の場合 移動傾向 8時~10時(土日祝) 12月30日-31日は年末年始休暇と扱う

2024年12月度における港南3丁目、港南4丁目(一部)住民の地域内移動傾向を分析。(対象住所を発地とした地域内移動傾向)  
土日祝日は高輪台駅方面への移動は観測できなかった。その代わりにアクアパーク方面の人流が活発化。



人流データ提供元：  
株式会社ブログウォッチャー

### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：

データ分析を基にした、現状把握、課題特定、ターゲット設定、打ち手案の企画・設計

#### ■分析結果

- 在勤者  
(品川インターシティ・  
周辺オフィス勤務者)



- ・出勤・ランチタイムは主に**インターシティ内**や**東側飲食店街**で完結
- ・**17～19時**に東側（港南口側）の飲食店街へ流入が活発
- ・西側（プリンスホテル方面）への移動は「限定的」
- ・西側の在勤者も17～19時以降、東側への流入が活発に
- >> **平日17時以降をメイン対象としたプランを開発**

- 宿泊者  
(品川プリンス  
ホテル利用者)



- ・午前～昼：ホテル内や品川駅で活動
- ・夜（17～19時）：**東側飲食街への食事・散策**が活発
- >> **17時以降の東側をメイン対象としたプランを開発**

- 住民  
(港南3・4丁目、  
高輪3・4丁目)



- ※港南側（東側）住民：
  - ・日中：**アクアパーク方面への移動活発**（特に土日）
  - ・夜：駅前・シティタワー周辺の買い物や食事中心
- ※高輪側（西側）住民：
  - ・時間帯や平日・土日祝に限らず**全体的に「西偏」**
  - >> **土日祝を中心に幅広い時間帯を対象としたプランを開発**

### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：

データ分析を基にした、現状把握、課題特定、ターゲット設定、打ち手案の企画・設計

#### ■ 造成プランの方向性

平日

時間帯	メインターゲット	具体施策例
8～10時	宿泊者・住民	—(例) アクアパーク朝割
11～13時	住民・在勤者	(例) 品プルレストラン ランチ割引
17～19時	在勤者・宿泊者	(例) お得で、嬉しい ナイトプラン

土日祝

時間帯	メインターゲット	具体施策例
8～10時	住民	(例) アクアパーク朝割
11～13時	住民	(例) 品プルレストラン ランチ割引
17～19時	宿泊者・住民	(例) お得で、嬉しい ナイトプラン

### 3.今年度の取組

## 在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

### 今年度目指す成果に向けた取組内容：コンテンツ・プラン造成

#### 実施したこと

地域事業者4社が、調査・分析結果を基に、新コンテンツ・プランを造成、販売

## 官民データを活用し、属性やエリアで細分化したペルソナを策定。「マーケットイン型」の企画・販売を実施

### 【ペルソナの一例】子供の成長と学びを重視する教育熱心な港南3丁目のタワマンファミリー

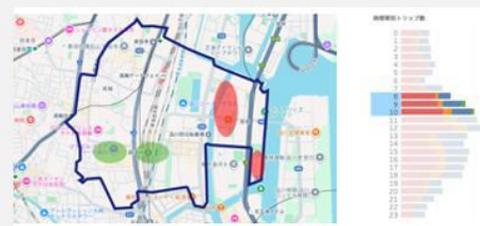


項目	詳細
ターゲット像	子供の成長と学びを重視する、教育熱心なタワマンファミリー
基本情報	氏名：品川 学(42) & 陽子(40)、長男 大輝(9) 夫婦、子供1人(小学3年生) 職業：夫(大手メーカー部長)、妻(パートタイム)、世帯年-収: 1,800万円
ライフスタイル	子供の習い事や中学受験が生活の中心。安全・安心を最優先し、週末は家族で過ごす。 子供の知的好奇心を刺激する体験に関心が高い。
品川駅周辺との関わり方	【週末】 家族での外食、アクアパーク品川、駅周辺のクリニック 【日常】 子供の塾の送迎ついでに、書店やカフェに立ち寄る。 【ハブ機能】 長期休暇の帰省時に新幹線を利用。
日常でのニーズ	子供が飽きずに、大人もくつろげる場所が欲しい。 学びの要素があるイベントや施設に関心がある。 天候に左右されずに過ごせる屋内施設は重宝する。 ママ友と気兼ねなくランチできる場所がもっと欲しい。
施設利用を促すフック	「親子で体験」「知的好奇心を刺激」「自由研究のヒントに」 「駅直結で雨でも安心」「お子様連れ歓迎」

### 【コンテンツ開発の一例】

## 週末&地元住民限定！開館前のアクアパークへ特別招待、親子で生きもの講座

港南住民：土日祝 8時～10時



#### 参考データ

港南3丁目、港南4丁目住民は、土日祝日の8時～10時は西側の特にアクアパーク方面の人流が一定発生している。また、港南住民のペルソナデータからも需要が期待できる

#### 造成ポイント

- ・動きが一定見込める時間帯の開館前の開催
- ・人数限定の特別イベントで誘客

施設名 アクアパーク

プラン名 【高輪・港南地区住民限定】親子で生きもの講座プラン

開催スケジュール 土日祝限定 8時30分～10時で開催

プラン概要  
開館前解説＋ワークシート＋イルカにタッチ  
・開館前のアクアパークへ人数限定で入場！  
・ワークシートを使って飼育スタッフの生きもの解説・イルカにタッチを体験いただけます。  
・海の世界で学習しながら、親子の特別な思い出作りをしてみませんか？



### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：コンテンツ・プラン造成

No	ジャンル	施設名	プラン名（予定）	メインターゲット		
				在勤者	宿泊者	住民
1	クルージング	ジール	コタツ船でいく目黒川イルミクルーズ	●	●	
2			アペリティーボクルーズ（サンセットナイトクルーズ）		●	●
3	水族館	アクアパーク	【スムチケ／ドルフィンパフォーマンスお座席確約】 ペアチケット			●
4			【高輪・港南地区住民限定】 親子で生きもの講座プラン			●
5			【スムチケ／平日18時以降限定】 ナイトアクアリウムプラン	●		●
6	シミュレーションゴルフ	SEIBU FAST SPORTS FIELD 品川ゴルフ	オートティーアップ	●		●
7			スイングプレート付きオートティーアップ	●		●
8	ボウリング	ボウリングセンター	After 8 ナイトボウリングプラン	●		
9			こたつでほっこり！ボウリング＆ボードゲームパック			●
10			はじめてのボウリング体験デビューセット			●

### 3.今年度の取組

## 在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

### 今年度目指す成果に向けた取組内容：コンテンツ・プラン造成

No	ジャンル	施設名	プラン名（予定）	メインターゲット		
				在勤者	宿泊者	住民
11	レストラン	味街道五十三次 寿司 日本橋	当レストランだからこそこの饗宴。寿司とステーキを一度に味わう贅沢プラン	●		
12			寿司とステーキを一度に味わう贅沢プラン + アクアパークパック	●		
13		味街道五十三次 和食 品川	家族でご褒美ごはん			●
14			アクアパーク品川の後、家族でご褒美ごはん			●
15		味街道五十三次 天婦羅 小田原	目の前で職人の調理する揚げたての天婦羅をご堪能いただける、個室貸し切りプラン	●		
16			個室貸し切りプラン+アクアパークパック	●		
17		味街道五十三次 しゃぶしゃぶ 藤川	家族みんなで楽しめるしゃぶしゃぶプラン			●
18			アクアパーク品川の後、家族みんなで楽しめるしゃぶしゃぶプラン			●

### 3.今年度の取組

## 在勤者・宿泊者・住民の行動データを基に、ターゲット別施策を設計しました

### 今年度目指す成果に向けた取組内容：コンテンツ・プラン造成

No	ジャンル	施設名	プラン名（予定）	メインターゲット		
				在勤者	宿泊者	住民
19	レストラン	味街道五十三次 鉄板焼 三条	職人技を間近で見られるカウンター席確約 & ステーキを堪能する特別コース	●		
20			ステーキを堪能する特別コース + アクアパークパック	●		
21		味街道五十三次 個室	華やかに年の瀬、新年を彩るフリーフロー付きのお得なご宴会プラン	●		
22			成人式、誕生日などご家族のお祝いにご利用いただける、お祝いショートケーキ付き			●
23		LUXE DINING HAPUNA	味わう、巡る、楽しむ。FUN!があふれる“品プリグルメ紀行”青森・函館の食の魅力を最大限に引き出したブッフェメニューをお好きなだけ。	●		●
24			アクアパーク品川の後には、味わう、巡る、楽しむ。FUN!があふれる“品プリグルメ紀行”	●		●

### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民別に、プロモーション施策を検討・実施しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：プロモーション施策の実施

現状データを分析して、最適なチャネルや手法での  
情報発信方法を、ターゲットごとに実施する。

- ・在勤者用アプリやオフィスビル各棟内での告知
- ・在勤者関連データを活用したオンラインプロモーション など



在勤者

- ・ホテルHPや館内案内、じゃらんnetを活用したプロモーション
- ・宿泊者関連データを活用したオンラインプロモーション など



宿泊者

- ・港区報など、住民と直接接点のある媒体を活用した告知
- ・住民関連データを活用したオンラインプロモーション など



住民

予約サイトで対象プランを  
予約→実際に体験する。



在勤者  
限定  
プラン掲載

宿泊者  
限定  
プラン掲載

住民  
限定  
プラン掲載

### 3.今年度の取組

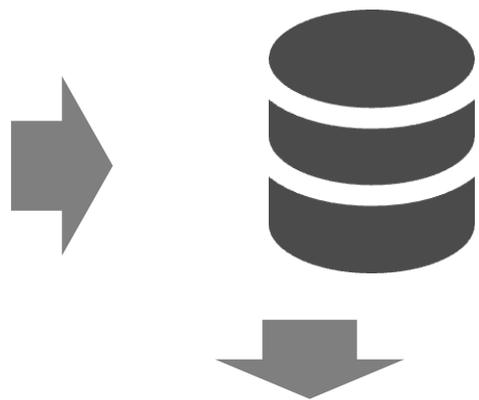
在勤者・宿泊者・住民別に、プロモーション施策を検討・実施しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：プロモーション施策の実施

予約サイトで対象プランを  
予約→実際に体験する。



利用実績に基づき各種データが蓄積される。



定量データのほか、  
利用者の満足度調査等の  
定性情報も別途取得

施策の検討段階と検証段階で複数データを掛け  
合わせて比較分析。



振り返り結果を基に、事業の継続や、  
都内の他エリアでの横展開に向けた、  
新たなモデルの確立に繋げる



### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民別に、プロモーション施策を検討・実施しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：プロモーション施策の実施

#### 【住民向け】

#### ポスティングチラシ

**高輪・港南地区にお住まいの方限定!!**

HELLO!

**ENJOY SHINAGAWA**

2025.12.1 (mon) - 2026.1.31 (sat)

品川界隈満喫して、始めます

期間限定!

詳細は、この中の【高輪・港南地区にお住まいの方限定プラン】をcheck!!

※ご利用時に限りおこなわれますので必ずお申し込みください

QRコード

**【高輪・港南地区にお住まいの方限定プラン】の内容を一部ご紹介**

**CRUISE**

**EAT**

**HEAL**

**GOLF**

他にも満喫プランが盛り沢山!

詳細は、この中の【高輪・港南地区にお住まいの方限定プラン】をcheck!!

※ご利用時に限りおこなわれますので必ずお申し込みください

QRコード

#### 学校配布チラシ

**高輪・港南地区にお住まいの方限定!**

(高輪地区の幼稚園・保育園・小学校・中学校にお子様がお住んでいるご家庭をのみ)

HELLO!

**ENJOY SHINAGAWA**

2025.12.1 (mon) - 2026.1.31 (sat)

品川界隈満喫して、始めます

期間限定!

詳細は、この中の【高輪・港南地区にお住まいの方限定プラン】をcheck!!

※ご利用時に限りおこなわれますので必ずお申し込みください

QRコード

**【高輪・港南地区にお住まいの方限定プラン】の内容を一部ご紹介**

**CRUISE**

**HEAL**

**EAT**

**BOWLING**

他にも満喫プランが盛り沢山!

詳細は、この中の【高輪・港南地区にお住まいの方限定プラン】をcheck!!

※ご利用時に限りおこなわれますので必ずお申し込みください

QRコード

### 3.今年度の取組

在勤者・宿泊者・住民別に、プロモーション施策を検討・実施しました

今年度目指す成果に向けた取組内容：プロモーション施策の実施

【宿泊者向けのじゃらんnetプロモーションLP画面】

**品川Stayを  
もっと特別な夜に**

# ナイトクルージング

— 品川近郊発着 —  
2ヶ月間限定 2025.12.1[月] — 2026.1.31[土]

※上記期間中の限られた日種で開催します。

ふるさとお得クーポンをGetすると、さらにお得!

品川駅周辺の遊に泊まった人限定。ナイトクルーズプランを楽しむ2つの特別プラン。年末年始を彩るひとときを、ぜひお楽しみください。

ナイトクルージングは  
電泊パッケージがございません。  
船泊は別途ご予約ください。

**おすすめホテルは  
ページ下へGo!**

**PLAN1** ~船上でおつまみとアルコールまたはソフトドリンク1杯付き~  
90%

## アペリティーボクルーズ (サンセットナイトクルーズ)

夕食前に食前酒と軽いおつまみを楽しむイタリアの習慣「アペリティーボ」をクルーズで体験。夕暮れから夜景へと変わるレインボーブリッジやお台場の幻想的な光景を眺めながら、生ハムなどのおつまみと、アルコールまたはソフトドリンク1杯付き。平日家のロマンチックな夜を楽しめます。

詳しいプラン内容&ご予約はこちら  
※宿泊は含まれませんので、別途宿泊のご予約をお願いいたします。

~船上で選べる温かいドリンク1杯付き~

**PLAN2** 90%

## こたつ船でいく 目黒川イルミクルーズ

品川防災船着場~目黒川五反田~  
品川防災船着場

こたつに入りながら、目黒川沿いにきらめくイルミネーションをゆったり調度できる冬限定のクルーズ。選べる温かいドリンク1杯付きで心も体もほかほかに、冬の夜にぴったりの癒しのひとときをお楽しみください。

詳しいプラン内容&ご予約はこちら  
※宿泊は含まれませんので、別途宿泊のご予約をお願いいたします。

## ナイトクルージング を楽しむ★おすすめホテル

品川駅高輪口を出て徒歩2分

**品川プリンスホテル**

新幹線・在来線・私鉄が集結する品川駅は、都内各方面への移動や観光の拠点に最適。羽田空港へも京急線で約15分。好アクセスで、新大塚・名古屋方面からの旅行にもスムーズです。

ホテルから直結!ナイトクルーズの船や翌日に、水泳館・映画館、ボウリングなど、天候に左右されず、エンターテインメント施設で遊べます。

多彩な演出でほくほくの魅力を伝え「TOKYO 最先端エンターテインメント」、デジタルテクノロジーを駆使した空間で夜の世界を主眼とします。

ボウリングセンター

7フロア、朝10時から夜12時まで営業。土日祝20時まで営業。運動不足解消にも◎

食事スポット 数ある食事スポットから一部店舗をご紹介!

高級なお酒 品川プリンスならではの特別酒!

予約 予約 予約

天婦羅 小田原

しゃぶしゃぶ 藤川

LUXE DINING HAPUNA

シェフやバイヤーが選り出すこだわりの料理と、音と光、映像による演出で、華やかな空間。

お部屋タイプ

メインタワーやアネックスタワーなどのタワーがあり、総部屋数約3,500室を誇るスケール。

【メインタワー】  
スイートルーム

【アネックスタワー】  
ミレニアムダブルルーム

## ナイトクルージング

の夜は、

ホテルの枠を超えた「エンターテインメントタウン」・品川プリンスホテルに泊まって、五感を刺激する「飲・食・遊」の非日常な時間を。

品川プリンスホテル 宿泊プラン一覧 >

もっとお得に予約! **COUPON GET!**

品川プリンスホテルの予約に使える  
ふるさとお得クーポン 取得はこちら >

※クーポンには利用条件があります。

品川駅近郊の宿一覧 >

※クーポン利用可能対象施設とは異なる場合があります。

さらに詳しい港区の情報はこちら

**VISIT MINATO CITY**  
OFFICIAL VISITOR GUIDE

### 3.今年度の取組

## 在勤者・宿泊者・住民別に、プロモーション施策を検討・実施しました

### 今年度目指す成果に向けた取組内容：プロモーション施策の実施

#### 【宿泊者向け】

#### チラシ

品川プリンスホテルのご宿泊者様にお贈りする

品川Stayをもっと特別な夜に... — 品川近郊発着 —

# ナイトクルージング

2ヶ月間限定 2025.12.1[月] — 2026.1.31[土]

※期間中、風れた日曜日の運行となります

品川エリアご宿泊者様限定のクルージングプランを特別にご用意しました。  
年末年始を彩るひとときを、ぜひお楽しみください。

PLAN1 アペリタティーボクルーズ (サンセットナイトクルーズ)

PLAN2 こたつ船でいく 目黒川イルミネーション

詳細・予約はこちらの二次元コードから  
リンク先の【高輪・港南地区ご宿泊者様限定プラン】をご覧ください

※座席有限や催行日に限りがございますのでお早めのご予約をおすすめいたします

品川エリアご宿泊者様限定 クルージングプラン例

PLAN1 アペリタティーボクルーズ (サンセットナイトクルーズ)

夕食前に食前酒と軽いつまみを楽しめ、品川エリアの景観「アペリタティーボクルーズ」を満喫。夕暮れから夜景へと変わるサンセットブリッジや品川港の景観を先着を兼ねながら、定員もどきのボート、アペリタティーボドリンクも豊富に、季節感のあるメニューをお楽しみください。

※運行日：料金は別添付資料、詳細は二次元的コードリンク先【高輪・港南地区ご宿泊者様限定プラン】をご覧ください

PLAN2 こたつ船でいく 目黒川イルミネーション

こたつに入りながら、目黒川沿いにイルミネーションをゆっくり観賞できる限定のクルーズ。アペリタティーボやホットワイン、ホットコーナーなど、暖かいドリンクも豊富に心もほぐれ、お楽しみください。

※運行日：料金は別添付資料、詳細は二次元的コードリンク先【高輪・港南地区ご宿泊者様限定プラン】をご覧ください

※座席はイメージです。プラン内容に変更の可能性があります

アペリタティーボクルーズ (サンセットナイトクルーズ)

こたつ船でいく 目黒川イルミネーション

詳細・予約はこちらの二次元コードから  
リンク先の【高輪・港南地区ご宿泊者様限定プラン】をご覧ください

※座席有限や催行日に限りがございますのでお早めのご予約をおすすめいたします

発行先：一般社団法人 品川観光協会

#### サイネージ

品川プリンスホテルのご宿泊者様にお贈りする

品川Stayをもっと特別な夜に... — 品川近郊発着 —

# ナイトクルージング

2ヶ月間限定 2025.12.1[月] — 2026.1.31[土]

※期間中、風れた日曜日の運行となります

品川エリアご宿泊者様限定のクルージングプランを特別にご用意しました。  
年末年始を彩るひとときを、ぜひお楽しみください。

詳細・予約はこちらの二次元コードから  
リンク先の【高輪・港南地区ご宿泊者様限定プラン】をご覧ください

※座席有限や催行日に限りがございますのでお早めのご予約をおすすめいたします

品川プリンスホテルのご宿泊者様にお贈りする

品川Stayをもっと特別な夜に... — 品川近郊発着 —

# ナイトクルージング

2ヶ月間限定 2025.12.1[月] — 2026.1.31[土]

※期間中、風れた日曜日の運行となります

品川エリアご宿泊者様限定のクルージングプランを特別にご用意しました。  
年末年始を彩るひとときを、ぜひお楽しみください。

詳細・予約はこちらの二次元コードから  
リンク先の【高輪・港南地区ご宿泊者様限定プラン】をご覧ください

※座席有限や催行日に限りがございますのでお早めのご予約をおすすめいたします

## 4. 今年度の成果

## 4.今年度の成果

### 目的を達成できる事業であることが検証されました

#### 目的に対する結果：エグゼクティブ・サマリー

##### 目的

既存来訪者や住民の  
繁閑時間帯や人流可視化による  
**消費機会の創出**



繁閑時間帯や人流の可視化データの分析結果を基に、  
対象施設で新プランを販売したところ、利用を促す強力な  
動機付けとなり、地域内での新たな消費機会の創出に繋がりました。

##### 結果

駅や路線を越えた魅力の  
掘り起こしにより、地域に対する  
**満足度や愛着心の向上**



在勤者・宿泊者・住民ともに、本事業のような取組が  
継続的に行われることで、品川駅周辺における満足度・愛着心向上に  
直結するという結果が出ました。

都市型共存エリアにおける  
横展開可能なデータ活用  
**モデルの創出**



消費機会の創出、エリア満足度の向上に繋がるという結果から  
横展開可能なデータ活用モデルであることが検証されました。

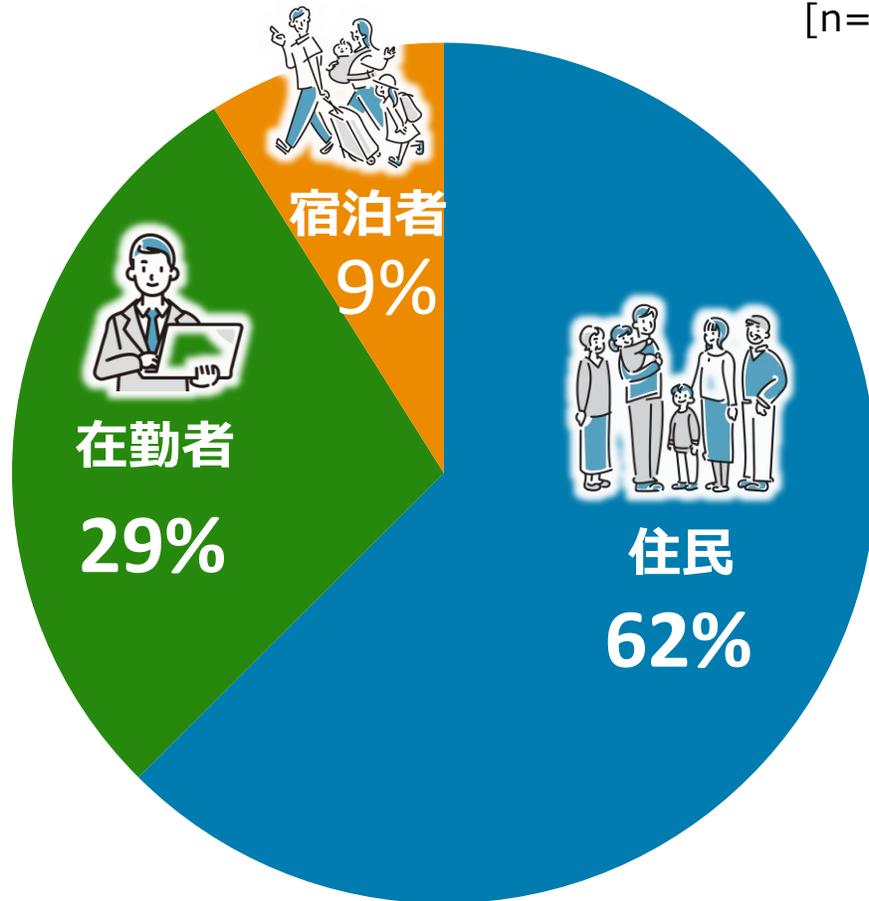
#### 4.今年度の成果

住民、在勤者、宿泊者の順に利用割合が高い結果となりました

実績報告：限定プランの利用内訳（予約件数:56件 利用人数:145人）

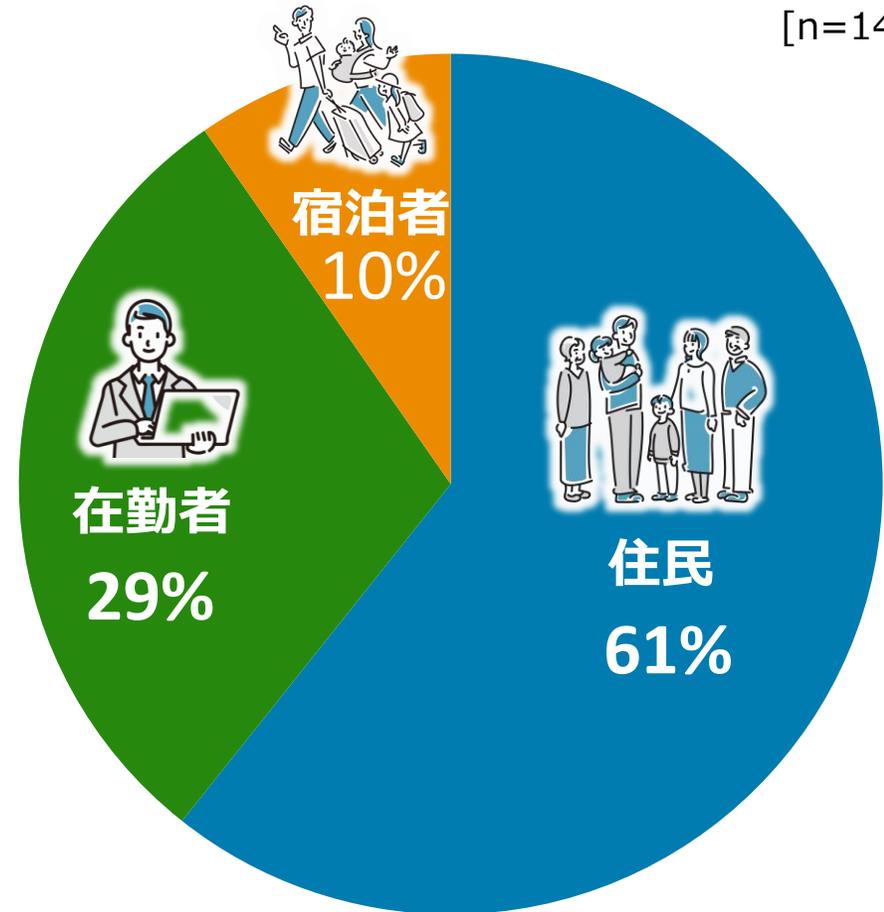
全施設合計 | 利用件数 プラン別割合（12月+1月）

[n=56(件)]



全施設合計 | 利用人数割合（12月+1月）

[n=145(人)]



#### 4.今年度の成果

「体験型（クルージング／ボーリング）」が利用を牽引、季節性&特別感のある企画が強い反応を獲得しました

#### 実績報告：限定プランの利用内訳



#### 在勤者

和食 品川 アクア付

鉄板焼 三条

ジール こたつイルミ

ボーリング アフター8



#### 宿泊者

ジール サンセット

ジール こたつイルミ



#### 住民

こたつボーリング、天婦羅小田原、ゴルフ

ハプナ アクア付

ジール こたつイルミ

ボーリング デビュー

アクアパーク親子で生きもの講座  
(1月特別日開催)

※宿泊者対象プランはジール提供のみ

#### 4.今年度の成果

ターゲット別に異なるプロモーションを行い、効果検証も実施した結果、本事業において有効であったプロモーション方法を特定することができました

実績報告：広告媒体別流入数（在勤者：約1,500流入 宿泊者：約120流入 住民：約1,100流入 ※UU）

#### 効果検証の観点

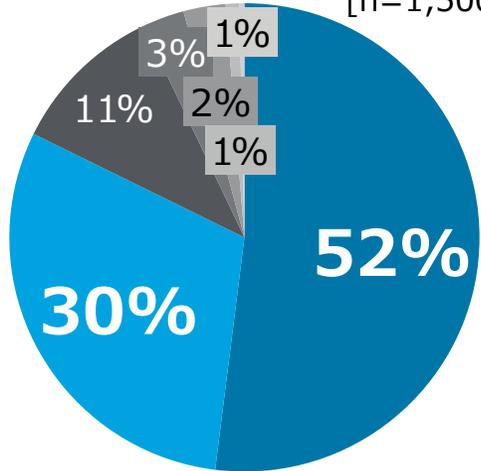
#### 各対象者において、有効なプロモーション方法は何か

※UU:期間内にウェブサイト、ページに訪問したユーザーの数



#### 在勤者

[n=1,500 (UU)]



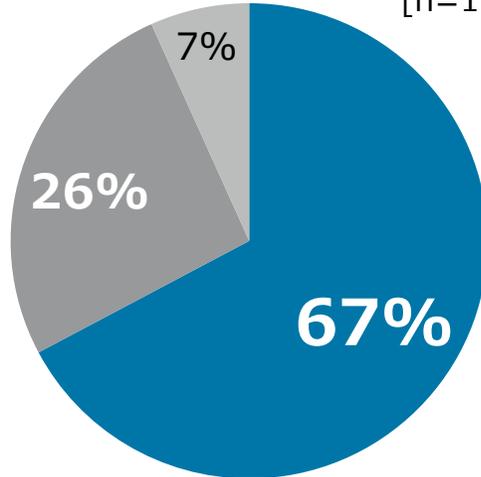
- エレベーターポスター
- 品川インターシティアプリ
- 在勤者チラシ
- 在勤者ポスティング
- 在勤者メール配信
- ロビーポスター
- 館内チラシ

品川インターシティエレベーターポスター・アプリでの複数回告知が効果的



#### 宿泊者

[n=120 (UU)]



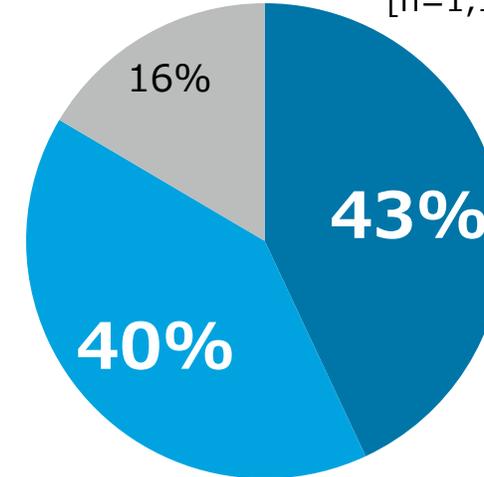
- 品川プリンスチラシ
- 品川プリンスサイネージ
- 宿泊者チラシ

品川プリンスホテル内でのチラシでの告知が効果的



#### 住民

[n=1,100 (UU)]



- 住民ポスティング1回目
- 学校チラシおよび自治会配布
- 住民ポスティング2回目

学校や自治会へのチラシ配布と、初回ポスティングが効果的



## 4.今年度の成果

一部常連顧客を除き、殆どの利用者に対して「限定プランによる利用機会の創出」に繋げることができています

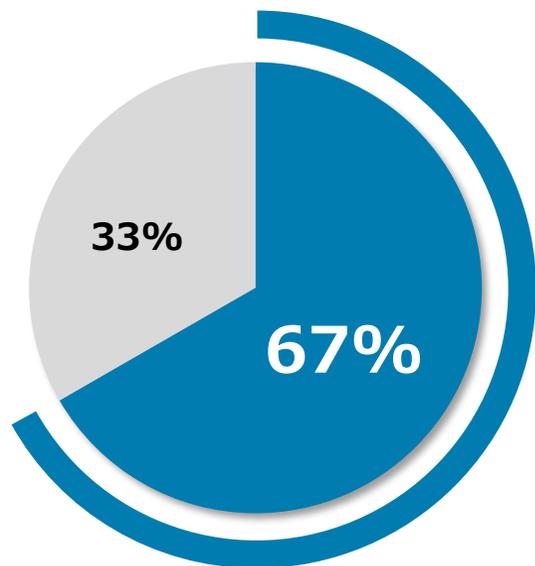
アンケート報告：回答者45人（在勤者:15名 宿泊者:4名 住民:26名）

### 効果検証の観点

### 限定プランが施設を利用する機会に繋がったか



在勤者



- 繋がった
- 元々利用する予定があった



宿泊者



- 繋がった



住民



- 繋がった

多くの回答者が、限定プランやその告知があったことで「利用する機会に繋がった」と回答。特にクルージングやホテル内レストランの初利用を促進しており、潜在顧客の掘り起こしに成功



## 4.今年度の成果

在勤者&住民の7割以上に対して、今回のプロジェクトによる施設の初回利用に繋げる事ができています

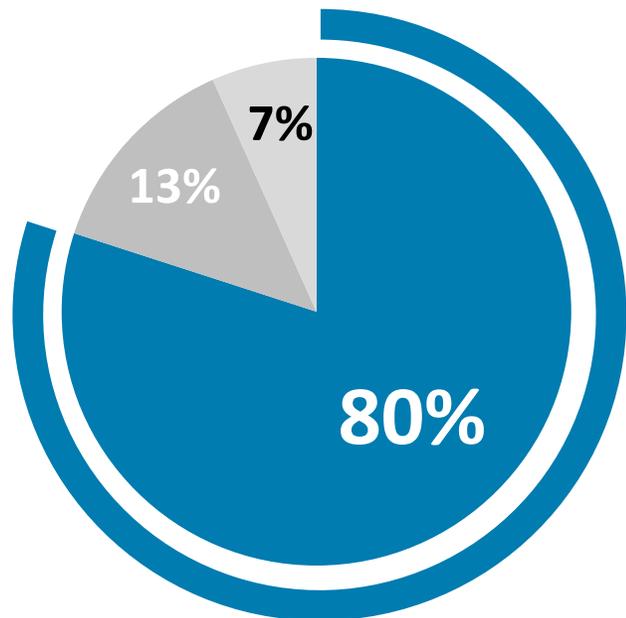
アンケート報告：回答者45人（在勤者:15名 宿泊者:4名 住民:26名）

効果検証の観点

限定プランが施設の初回利用に繋がったか※宿泊者はクルージング体験の経験有無



在勤者

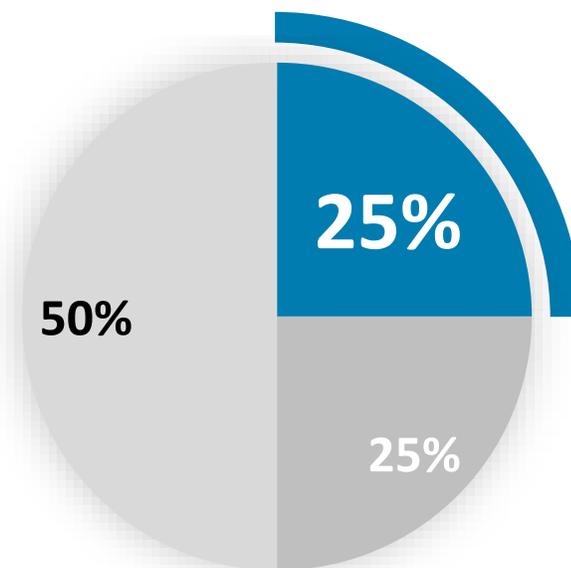


■ 初めて ■ 2回目 ■ 3回目以上

初回利用者が圧倒的に多く、  
新規利用者の獲得に寄与



宿泊者

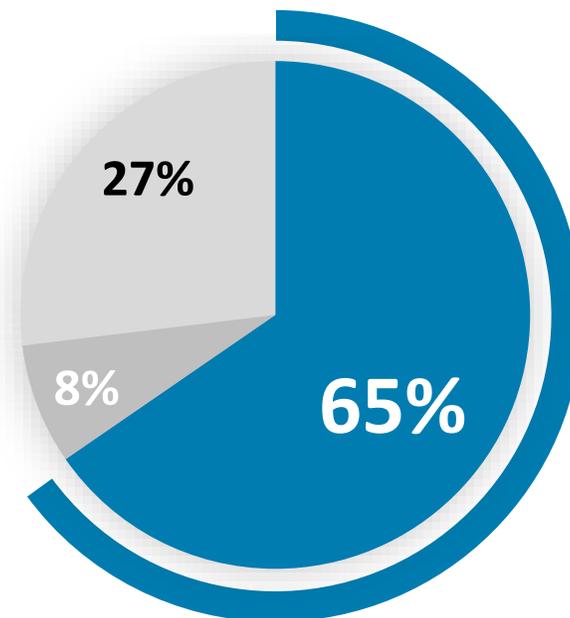


■ 初めて ■ 2回目 ■ 3回目以上

クルージング経験者の利用が多く、  
デビュープラン等の底上げの可能性



住民



■ 初めて ■ 2回目 ■ 3回目以上

初回利用者が多く、  
新規利用者の獲得に寄与



## 4.今年度の成果

「過去利用経験無し」または「数年～1年に1回利用」という利用者が80%以上を占めました

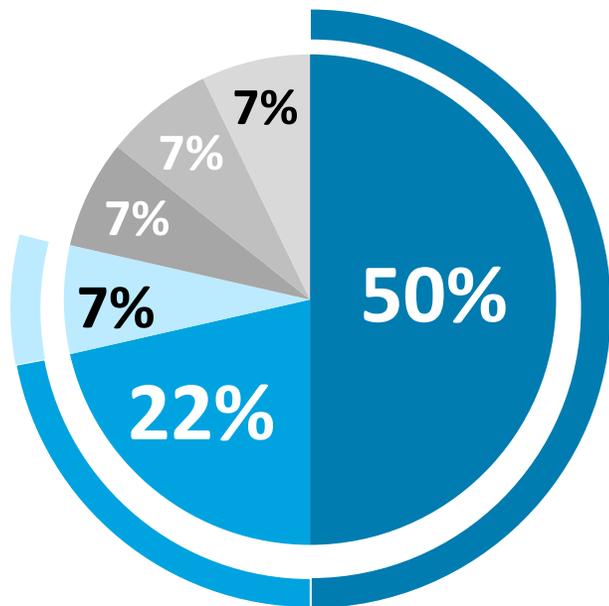
アンケート報告：回答者45人（在勤者:15名 宿泊者:4名 住民:26名）

効果検証の観点

今回利用した施設の過去利用頻度はどの程度か※宿泊者は回答対象外



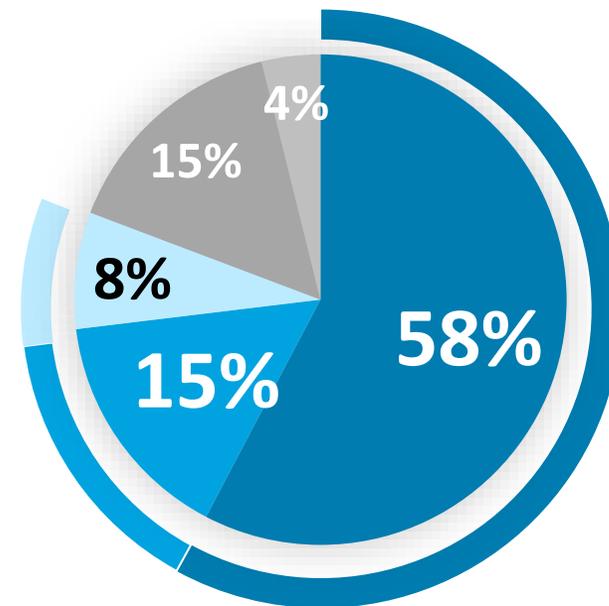
在勤者



- 利用経験はない
- 数年に1回程度
- 1年に1回程度
- 月に1回程度
- 1年に2～3回程度
- 月に2回以上



住民



- 利用経験はない
- 数年に1回程度
- 1年に1回程度
- 月に1回程度
- 1年に2～3回程度
- 3ヶ月に1～2回程度

各施設の新規顧客が過半数を占めて大きく貢献しており、  
数年～1年に1回利用の顧客の利用機会も全体の3割程度を占める



#### 4. 今年度の成果

在勤者・住民に対しては「提供内容」、宿泊者に対しては「日程・価格帯」がプラン造成のポイントに

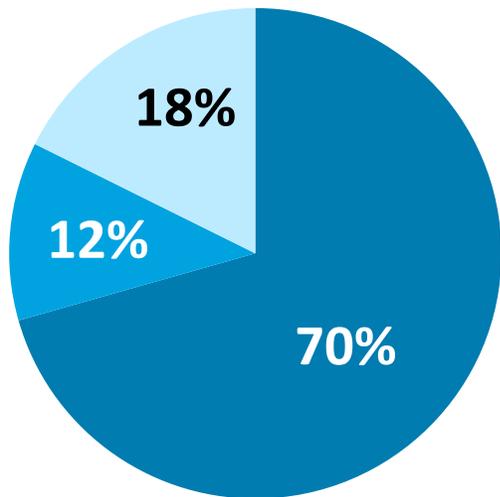
アンケート報告：回答者45人（在勤者:15名 宿泊者:4名 住民:26名）

##### 効果検証の観点

##### 限定プランの何が魅力的だったか



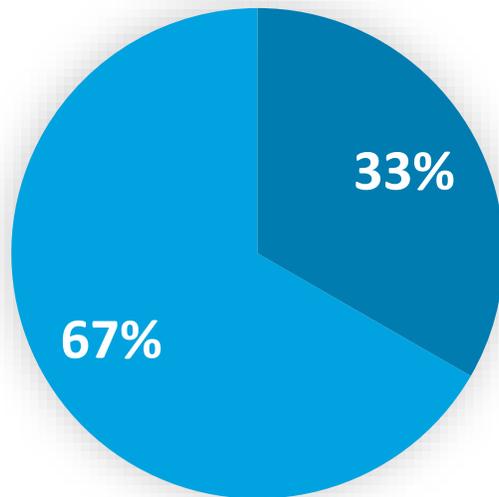
##### 在勤者



- プランで提供する内容
- プランの日程や時間帯
- プランの価格



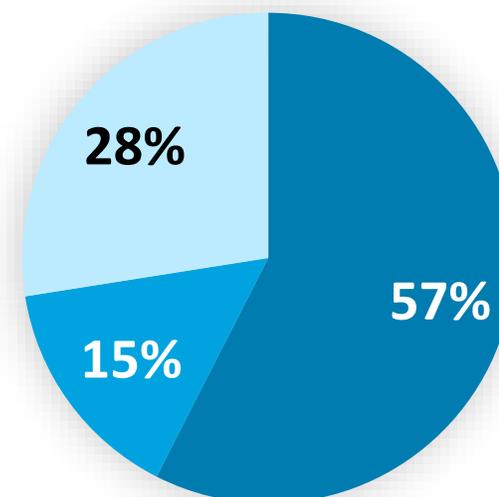
##### 宿泊者



- プランで提供する内容
- プランの日程や時間帯



##### 住民



- プランで提供する内容
- プランの日程や時間帯
- プランの価格

地域に親しみを持つ在勤者・住民は、独自性の高い体験が経験できるような「提供内容」、宿泊者は「お得感」・「利用しやすい時間設定や特別な時間枠」がプランに対して魅力を感じるポイント



## 4.今年度の成果

ほぼ全ての利用者から「満足」の回答を得られています

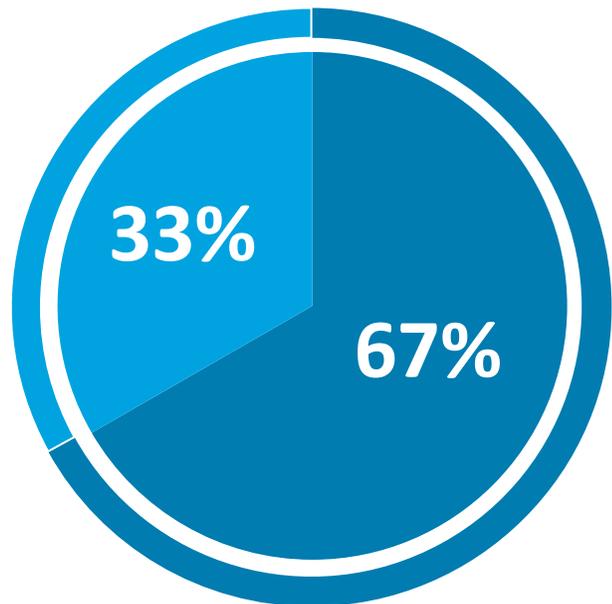
アンケート報告：回答者45人（在勤者:15名 宿泊者:4名 住民:26名）

効果検証の観点

限定プランに対する満足度はどの程度だったか



在勤者

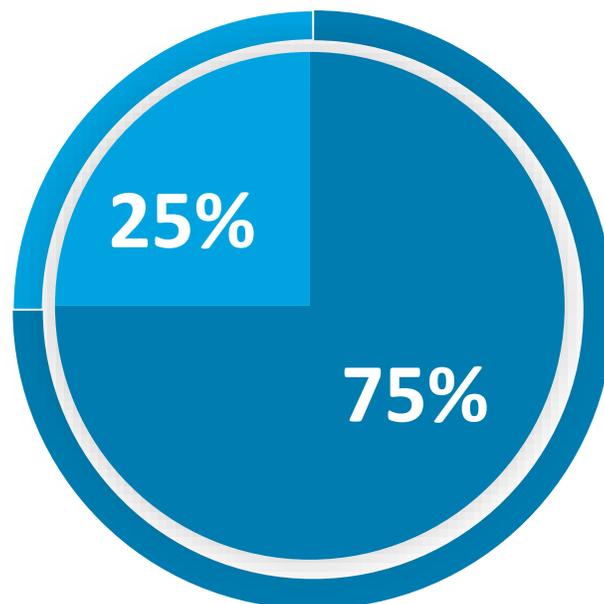


■ 大変満足

■ まあまあ満足



宿泊者

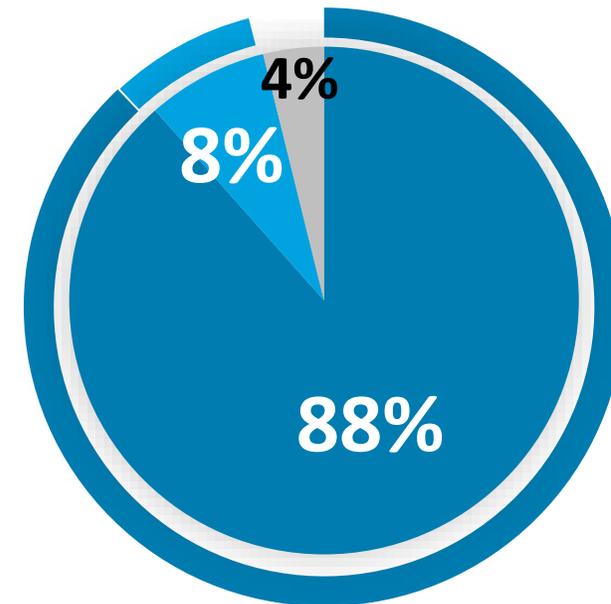


■ 大変満足

■ まあまあ満足



住民



■ 大変満足

■ まあまあ満足

■ 少し不満

おおむね全対象者から「大変満足」または「まあまあ満足」と回答いただいた。  
イルミネーションや冬のコタツなど、季節に合わせた企画や「品川ならではの」体験の評価が高かった。



## 4.今年度の成果

データ分析→限定プラン造成は、エリア満足度の向上に直結しそうです

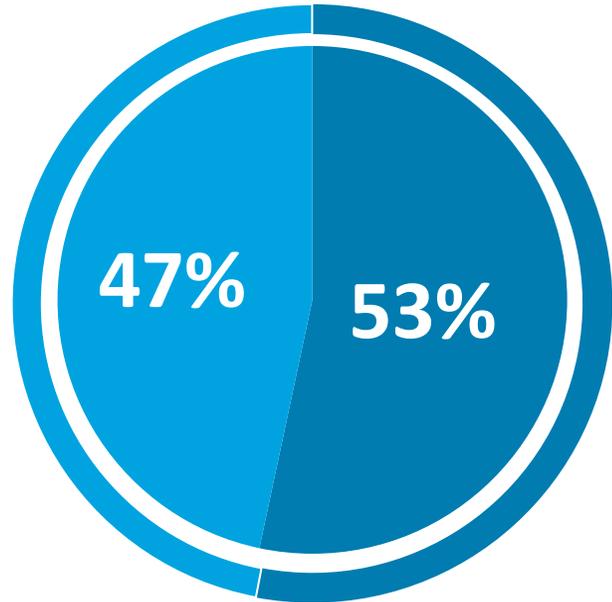
アンケート報告：回答者45人（在勤者:15名 宿泊者:4名 住民:26名）

### 効果検証の観点

今後も「限定プラン」があると、品川駅周辺エリアの満足度向上に繋がるか



#### 在勤者

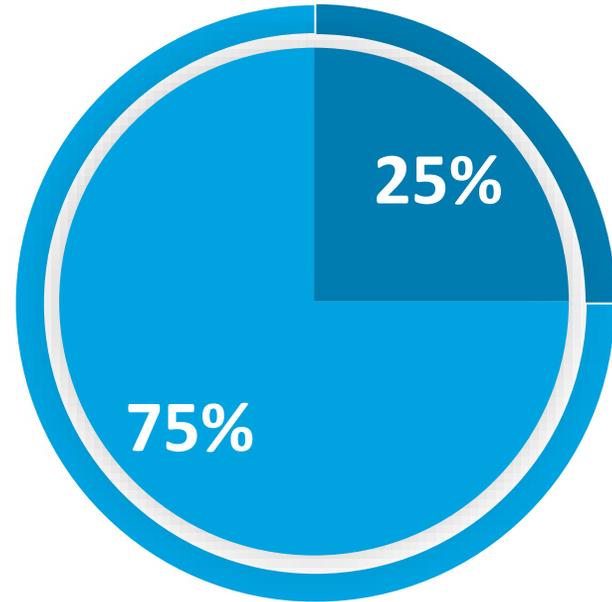


■ とても上がる ■ まあまあ上がる

限定プランの存在が勤務地としての満足度向上に繋がると感じられている



#### 宿泊者

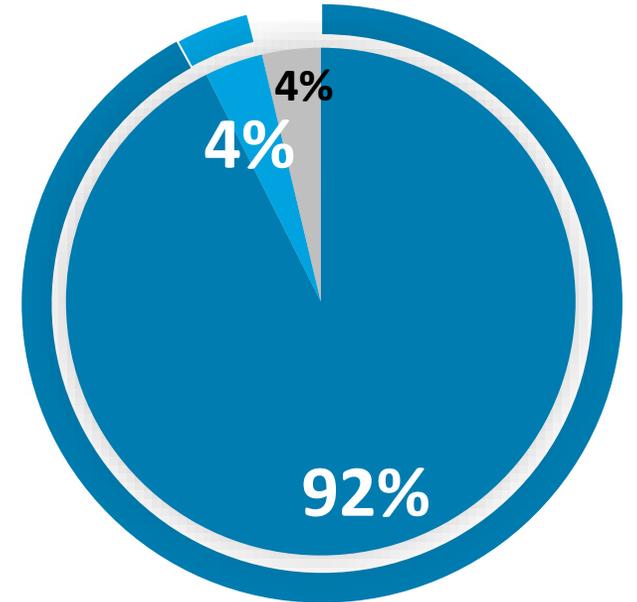


■ とても上がる ■ まあまあ上がる

限定プランの存在は、品川駅周辺を宿泊地として選ぶ要因になり得ると高く評価されている



#### 住民



■ とても上がる ■ まあまあ上がる ■ 少し不満

居住地の満足度が「とても上がる」と回答する割合が非常に高かった

## 4. 今年度の成果

### 実績報告：協働企画提案者（地域事業者）の本事業における振り返り

	振り返り	気づき	今後の課題
 Prince Hotel Shinagawa 品川 プリンスホテル	✓ データの裏付けがあったことで実施でき、データに基づくPDCAの機会になった	✓ データを根拠にペルソナ別でプラン造成する考え方が有効と感じた ✓ 実販売を通して、現場の反応や手応えを得られた	✓ プラン設定・システム面を改善し運用負荷を軽減すること ✓ お得感の伝え方も改善余地あり
 マクセル アクアパーク品川	✓ 本事業を通して地域の関係者と繋がれたことも今後に向けた成果	✓ 本事業のプラン販売傾向や、通常プランとの比較を通じて、今後のプラン内容・価格・対象エリアの適正値の感覚を改めて掴めた	✓ closed告知やエリア／条件設計で、通常販売に影響しない展開を検討する必要がある
 株式会社 ジール	✓ 新規顧客の利用につながり、単独では難しい取組ができた	✓ 対象外からの問い合わせもあり断るケースも出た。エリア限定ではあるが、運用次第で対象エリア拡大の可能性はある	✓ お得感の見せ方、乗り場・場所の分かりやすさ、プラン内容バリエーション再検討 ✓ 継続的な運用に向けては対象地域の拡大
 品川インターシティ	✓ データに基づくことで、これまで実行できなかった複数企業・行政を跨ぐ施策を実施できた	✓ 動機づけがあれば「駅を越えて高輪側の施設へ」「品川駅から遠い港南側へ」在勤者が動くという明確なエビデンスが得られた	✓ 館内告知は鮮度に左右されるため、定期的な情報更新＋SNS等の継続露出が必要

データを根拠とした施策により、組織を跨ぐ連携や新規顧客獲得、在勤者の回遊促進に成功した。運用負荷や告知方法については一部課題が残った為、今後の改善点としてブラッシュアップを図る。

## 4.今年度の成果

実証自治体からも、良かった点・改善点など、今後に繋がるご意見をいただきました。

### 実績報告：実証自治体からの声

#### 1. 総評

本事業は、官民連携によるデータ活用の初の実証実験として、品川駅周辺の課題可視化と具体的施策を実現しました。港区観光協会が主体となり民間との協力体制を強化したことで、これまで漠然と認識されてきた地域課題を「データ」に基づく共通認識へと整理でき、今後の産官連携及び区民、観光協会の分野横断的な連携の基盤形成につながったと評価しています。

#### 2. 今回の主な成果

- ・知見の獲得：行動データに基づき、区民に対する地域の魅力再発見や在勤者の経済活動、告知手法の課題を把握。
- ・連携強化：観光協会主導で多様な事業者が参画し、顔の見える継続的なネットワークを構築。
- ・意思決定の転換：人流や経済波及を可視化し、データに基づく議論と共通認識の醸成を実現。

#### 3. 今後の課題・検討内容

今後は、データ活用を一過性の取組に留めず、区や観光協会が事業を実施する際の判断基準として継続的にデータを活用することに加え、区民や事業者などにもわかりやすく情報提供し、区民にも区内観光を楽しんでいただくメリットを提示していくことが必要です。

本事業の成果を、区内だけでなく他自治体とも広く共有し、他地域への展開や広域的な応用につなげるための検討に役立ててまいります。



港区

産業・地域振興支援部

小井土 洋樹 氏

## 5. 今後の展望

## 5. 今後の展望

継続実施と横展開に向け、エリア拡大と運用モデルを具体化することです

### 今年度の総括

#### 本実証の連携施設/エリア

① 品川プリンスホテル



② マクセル アクアパーク品川



③ JR品川駅



④ 品川インターシティ



⑤ 株式会社ジール

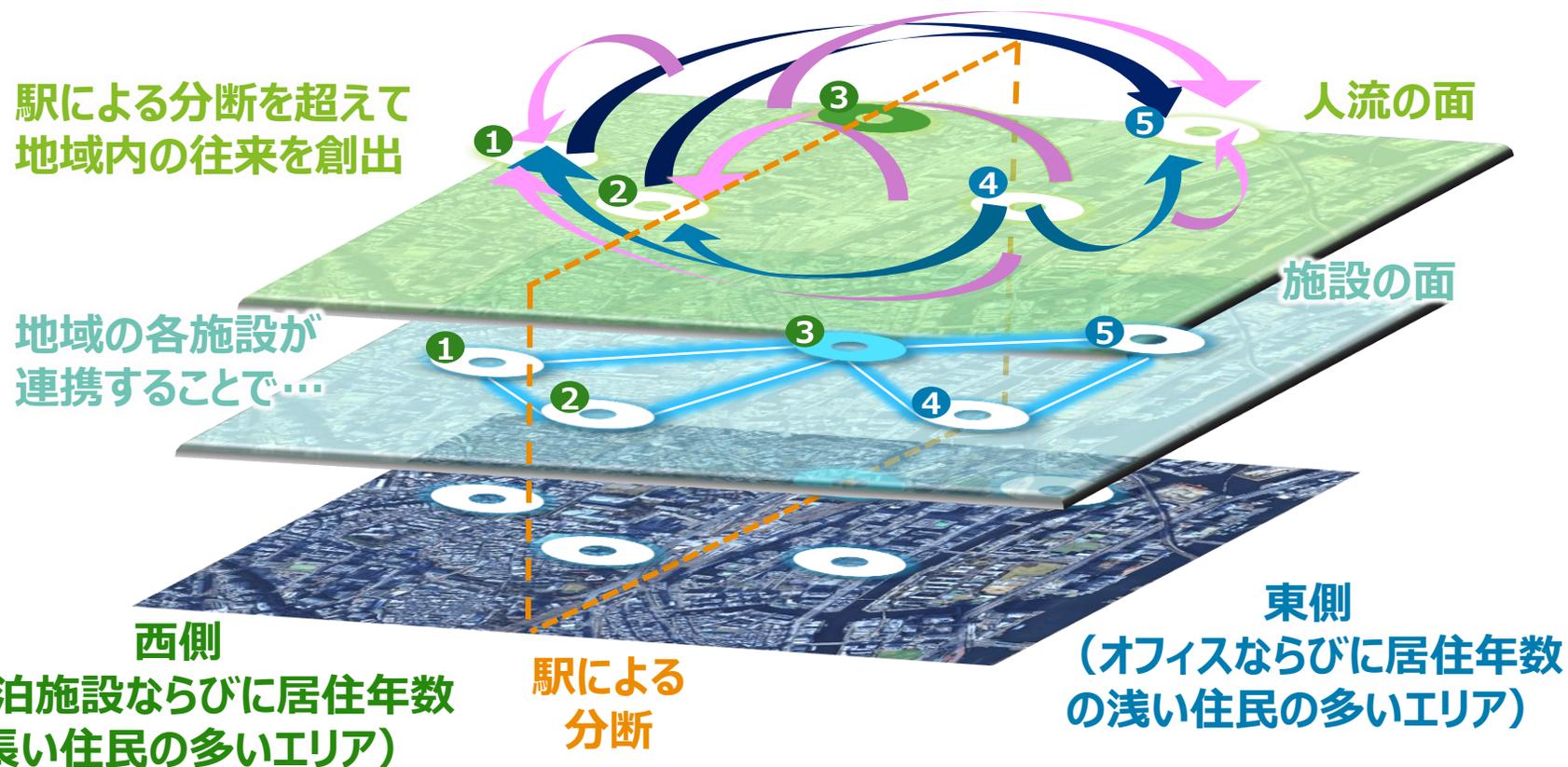


### 実証成果

本事業を通じて、官民が連携してデータを分析し、在勤者・宿泊者・住民の移動傾向を把握した上で共通認識を持って施策を立案・実施した結果、地域内往来や新たな消費の創出に繋げる事が出来ている。また、事業結果を通して今後有効となる施策検討や、プロモーション展開に資する知見を得ることができた

人流の凡例： 在勤者 宿泊者 住民

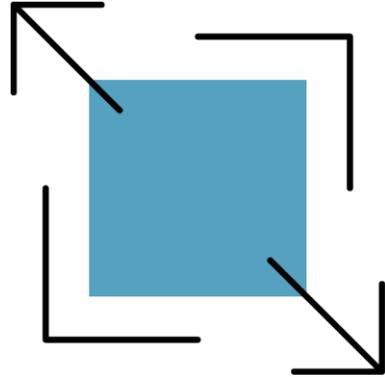
本実証における各施設の連携と人流の可視化



## 5. 今後の展望

本年度の結果を踏まえ、次年度以降もデータを活用した地域内の経済活性化・周遊を促進する活動に取り組んでいく

### 次年度以降の取組について（方針）



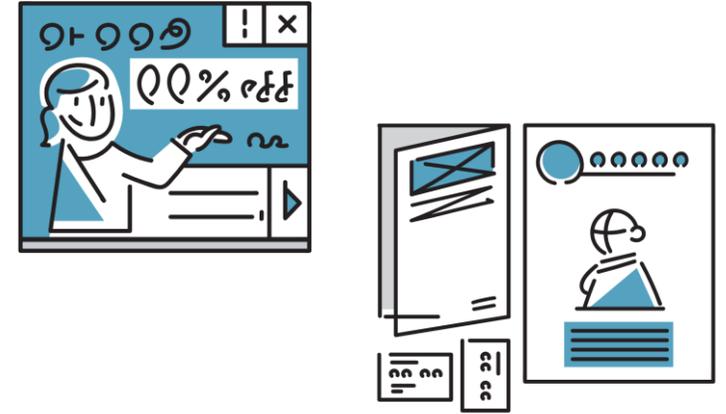
#### 対象エリアの拡大

公的協力・事業者協力が得やすくなる事を目的に、「市区町村単位以上」へ対象エリアを拡大



#### 一般販売 + @の 限定プラン開発

機会損失防止・開発負担の軽減・訴求力強化を目的に、限定プランの開発



#### ターゲットに応じた 広告媒体の使い分け

プロモーション効果の最大化を図る事を目的に、媒体ごとの特性を見極めたプロモーションを実施

## 5. 今後の展望

本取り組みの実施が有効と考えられる自治体や企業さま  
本モデルを特にご活用いただけそうな地域や団体の特徴

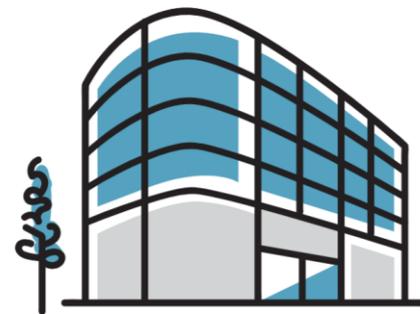
### 自治体



「人流はあるが経済に繋がっていない」「地域内連携が  
図れない」といった課題を持つ自治体

- ✓既存人流の「消費機会創出」に課題がある地域
- ✓「属性別または属性横断」の地域活性化を求める地域
- ✓官民や民間連携の「共通言語」を必要としている地域  
など

### 企業・団体



データ分析を「調査」で終わらせず、「実益（消費）」と「検  
証」にまで繋げたい企業・団体

- ✓レジャー施設・飲食店等のコンテンツ提供者
- ✓交通事業者（鉄道・バス）等の人流関連データ保有者
- ✓デベロッパー・OTA等のカスタマー接点&データ保有者  
など

# TDPF事務局からのお知らせ

東京都デジタルサービス局  
データ利活用担当 課長代理  
清水 紘司

# TDPFポータルサイトのご案内

会員同士のつながりを広げる場としてぜひご活用ください！

TDPF会員が利用可能



## データを見る・登録する



登録されている様々な官民データを探したり、自身の保有データを登録したりできます。

## 会員一覧を見る



プロフィール情報を登録している会員の一覧を確認できます。

## 掲示板を見る・投稿する



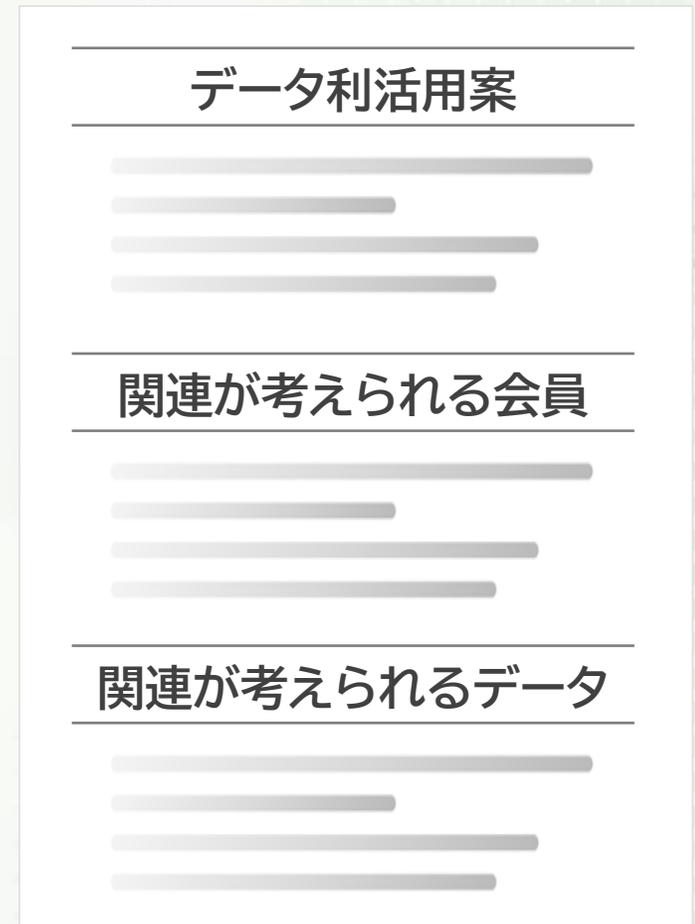
会員間で情報交換・意見交換を行えます。イベントなどの情報も掲載されています。

## TDPF AIを使う



AIを活用して、データ利活用や共創のヒントを探ることができます。

# TDPFに格納されているデータを AIにフル活用！



# 令和8年度事業(案)「データ駆動型サービス創出事業」

## 目的

- 官民の様々な分野のデータを掛け合わせ、**データ利活用の先進的なユースケースを創出**する「ケーススタディ事業」を実施
- **これまでの取組を継承**しつつ、サービス実装後の普及や都民の皆様の利便性向上を見据え、**革新的かつ実効性のあるソリューションを創出**するため、「データ駆動型サービス創出事業」として刷新

## 求める要件

- 都民の皆様の利便性向上に資する**公共性の高い分野**（例：防災、観光、エネルギー、交通、ウェルネスなど）に寄与する取組であること。
- 東京都の**スマートシティを支えるデータ利活用・データの流通を推進**する先進的なプロジェクトであること。
- サービスの効果を多くの方が実感できるような**普及可能性や実用性の高いサービス**であること。
- **AI等先端技術や多様なデータを活用した革新的かつ実効性のあるソリューション**であること。

## 今後の予定

- 上記要件を満たすようなプロジェクトを**令和8年5月に募集を開始し、3件を採択予定**
- **取組の成果に応じた財政支援（単年度の協定締結）**のほか、**プロジェクトの進行管理・社会実装に対する伴走支援**を実施予定

※本事業は、令和8年度の歳入歳出予算が東京都議会において可決された場合に確定します。

# TDPF入会のご案内

TDPFでは、東京全体のDXの実現に  
共に挑戦していただける仲間を募集しております！

## 登録ステップ

STEP1

GビズIDプライムで認証



会員登録フォームより申請

(会員規約・データ利用規約に同意)

STEP2

会員審査

STEP3

入会受付完了

(2週間以内に登録が完了)

会員登録はこちら



<https://www.tdpf-hp.metro.tokyo.lg.jp/admission/>

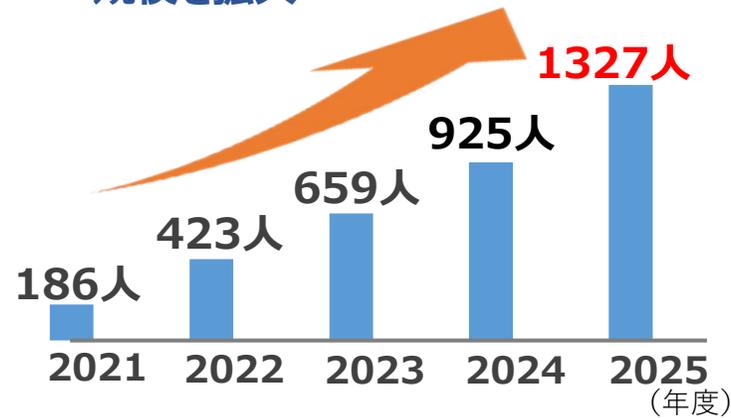
# 都知事杯オープンデータ・ハッカソン

詳しくはこちら



東京都オープンデータカタログサイトに掲載されているオープンデータを活用し、社会課題の解決に向けたデジタルサービスを企画・開発するイベント

参加の裾野を広げつつ、年々開催規模を拡大



2025年度のFinal Stageでは24チームが都知事杯を目指し、創意工夫による多彩な作品を発表しました



参加者募集  
(6月6日～7月31日)

キックオフイベント

プログラム開発  
(8月23日,24日)

First Stage  
(8月27日～31日)

選出

Final Stage  
表彰式  
(10月26日)

実装支援

サービス創出

Demo Day  
(3月14日)

# 都知事杯オープンデータ・ハッカソン2025 Demo Day について



- **開催概要：**  
都知事杯オープンデータ・ハッカソン2025において、令和7年10月のFinal Stageに出場後、社会課題の解決や都民生活に役立つサービスのリリースに向けて開発を進めてきた16チームによる成果発表会
- **日時：**3月14日（土）13:00～15:40
- **形式：**オンライン配信
- **視聴方法：**右QRコードからお申し込みください  
<https://odh-tokyo2025-demoday.peatix.com/>

申込はこちら



# TDPF会員とのマッチングを希望するハッカソン参加チームの紹介

proj-inclusive×一般社団法人防窮研究所  
(2023年度参加・都知事杯受賞)

## 支援みつもりヤドカリくん

支援みつもりヤドカリくん

知らないだけかも? あなたの家計を支える支援制度



計算結果	
給付される可能性のあるお金	
詳細な給付条件や申請方法については市町村の窓口にお問い合わせください。	
合計	100,197 円/月
▼ 児童手当	15,000 円/月
▼ 生活保護	85,197 円/月

支援が必要な方や支援者が、使える可能性が高い支援制度と、その金額を見積もることができるサービスです。

市民有志が中心となって開発を継続しています。



TDPF会員とのマッチング希望内容：

事業化・起業に向けた支援、共同研究・共同開発、実証フィールドの提供、データ提供・データ連携に関する協業、サービス改善・事業化に向けたメンタリング・支援、自サービスの売却先・営業先の開拓、サービス改善のための意見交換

SMOOTH WORLD (2024年度参加)

## FIELD HUB



### 地域の情報可視化

観光施設/名所、地域の口コミ、充電スポット、鳥獣害への対応、ハザードマップや避難所の開設状況等、様々な情報を地図で簡単に表示。移動車両の位置情報なども表示できます。

### 素早いサービス立ち上げ

お客様固有の環境設定、アカウントの抽出し、Excel等で管理されている緯度経度付のスポットを初期登録するだけで、素早く地図サービスを利用開始できます。



ランディングページ



デモサイト

uhuru

駐車場、トイレ、電源等の情報を地図上に可視化する事業者向けアプリに、不足する情報を住民が投稿できる機能を実装しました。この機能は株式会社ウフルの「elcompath」に統合され、同サービスは市民参加型プラットフォームとして進化しています。

TDPF会員とのマッチング希望内容：

自サービスの売却先・営業先の開拓  
サービス改善のための意見交換

ふつうの探検部  
(2024年度参加)

## 3D文化財共有サイト

金刀比羅宮と百度石



大きな画面で3Dモデルを見る

### 歴史と由来

虎ノ門の金比羅宮は、1679年に讃岐の金刀比羅宮から御分霊を勧請して創建された由緒ある神社です。海上安全・商売繁盛の神として信仰を集めており、江戸時代から庶民の信仰の対象となってきました。境内には、願掛けのために百回参拝（百度参り）をする風習に使われた「百度石」が今も残っています。

全国の文化財や史跡などを地図上で閲覧できるサービスです。

3Dモデル表示機能を実装し、ブラウザ上で文化財を360度から詳細に観察でき、現地にいるような臨場感あふれる体験を提供します。



TDPF会員とのマッチング希望内容：

事業化・起業に向けた支援、共同研究・共同開発、実証フィールドの提供、サービス改善・事業化に向けたメンタリング・支援、自サービスの売却先・営業先の開拓、サービス改善のための意見交換

A -  
(2025年度参加)

## ケアコネクト



～障がい者施設マッチングプラットフォーム～



障がい者施設の空き情報を一目で確認できるプラットフォーム。検索や比較を効率化し、入居待機問題の解消を目指しています。



(Final Stageプレゼン動画)

TDPF会員とのマッチング希望内容：  
自サービスの売却先・営業先の開拓

## CareHub (2025年度参加)

### CareHub



障がい福祉サービスの情報断絶解消に向けて、リアルタイムで施設の空き状況を可視化。支援計画書を自動生成することで施設の利用開始を迅速化します。



(Final Stageプレゼン動画)

TDPF会員とのマッチング希望内容：  
事業化・起業に向けた支援  
実証フィールドの提供

## チーム慶應理工 (2025年度参加)

### KIRUKA (キルカ)



住民参加型の樹木管理アプリ。危険木情報をリアルタイムに共有し、効率的な伐採計画と区民参加型の意思決定を実現します。



(Final Stageプレゼン動画)

TDPF会員とのマッチング希望内容：  
事業化・起業に向けた支援、共同研究・共同開発、  
実証フィールドの提供、自サービスの売却先・営業先の開拓、  
サービス改善・事業化に向けたメンタリング・支援、  
サービス改善のための意見交換

# データ可視化で見える街の実態・変化

一般財団法人GovTech東京

テクノロジー本部 データ利活用グループ エキスパート

櫻川 輝和

# 今回のデータ可視化のアプローチ

TDPFに登録されている会員様のデータを活用して、「街の実態・変化」の可視化を実施

## TDPF会員様 保有データ

ヒト



モノ



カネ



## 自治体標準オープンデータセット

## 組み合わせパターン

ヒト



モノ



モノ



カネ



カネ



ヒト



## 今回ご紹介する3つの事例

- 事例①：滞在人口と事業所数の関係
- 事例③：居住人口と事業所数の関係
- ※③でオープンデータを活用

事例①：事業所数と賃金の関係

事例②：職種別求人と勤務人口の関係

# 利用したデータとダッシュボードの構築

TDPFに登録されている会員様のデータを活用し、ダッシュボードを構築してデータを可視化

ヒト

500m四方の標準  
地域メッシュの滞在人  
口データ



株式会社Agoop

モノ

事象所情報をカテゴリ  
毎に分類



日本ソフト販売株式会社

カネ

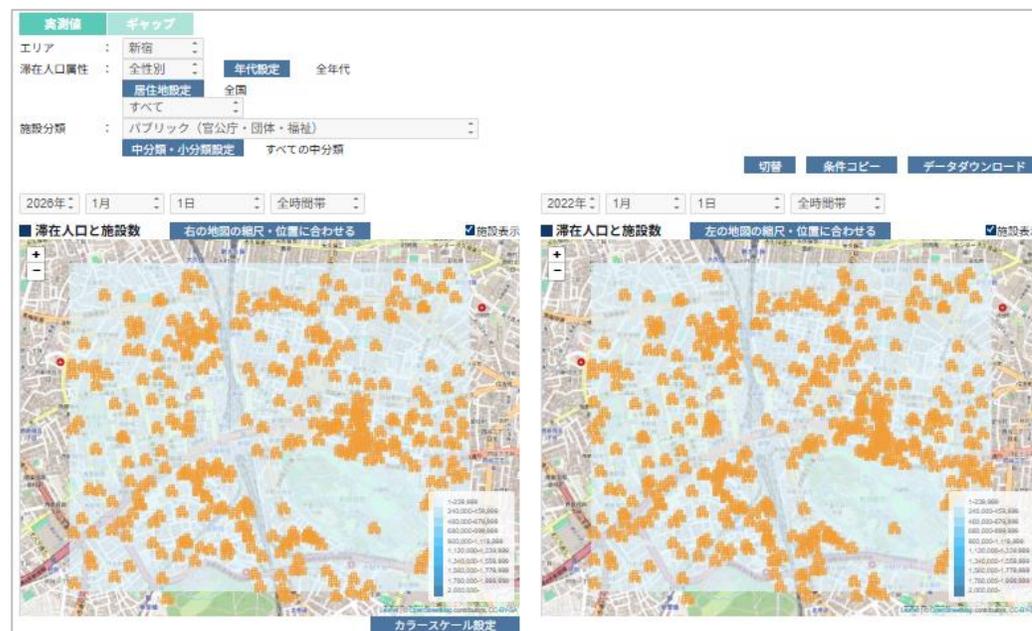
募集賃金データ・募集件  
数を職業カテゴリ毎に  
分類



株式会社フロッグ

「街の実態・変化」可視化ダッシュボード

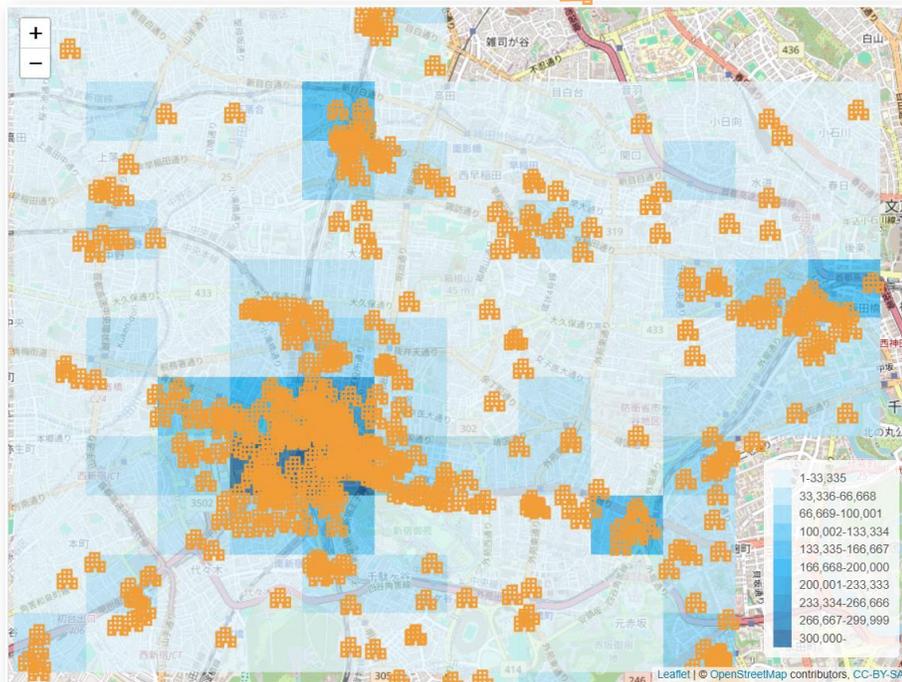
データを組み合わせたダッシュボードを独自に構築し、  
街の実態や変化を可視化



# 事例①:人流・事業所・求人データの「新宿」を可視化

## 人流の多いエリアにカフェが多く立地

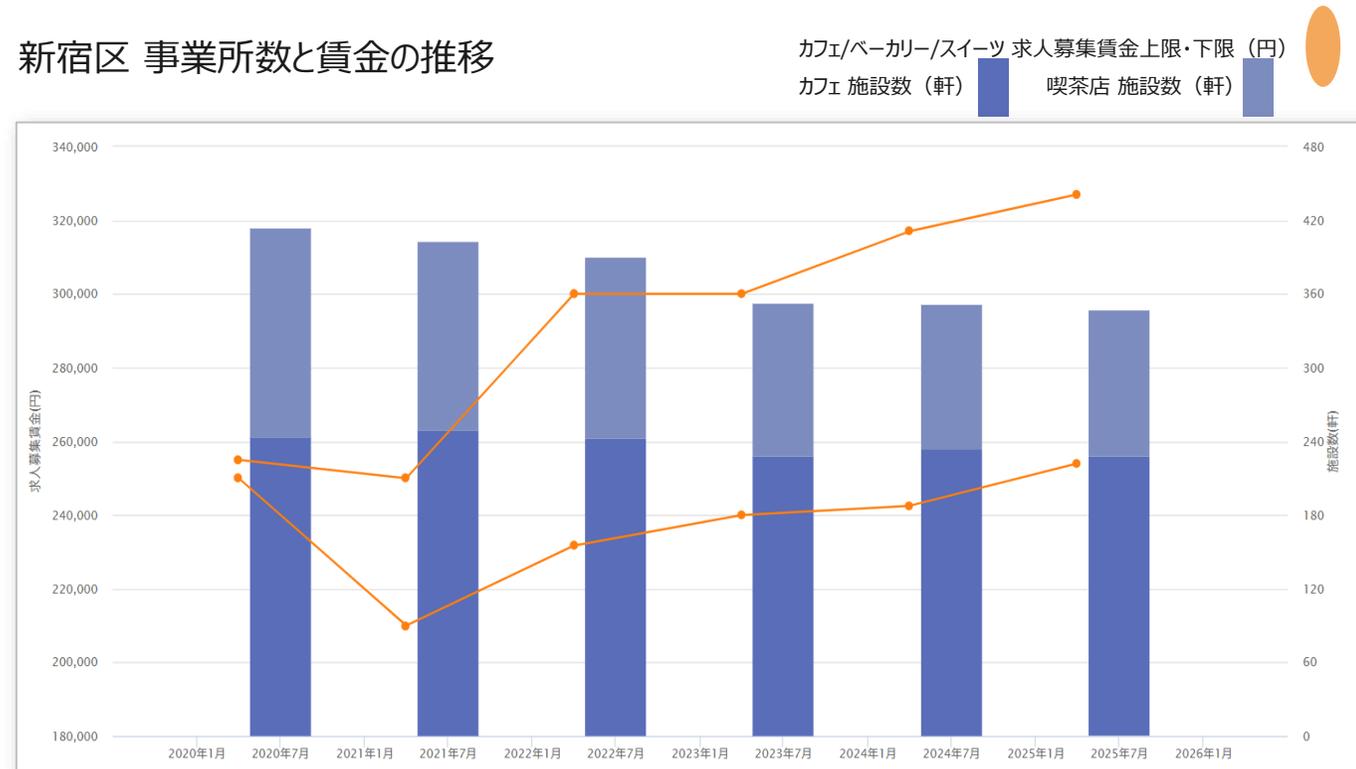
新宿区 滞在人口と事業所



- 補足
- 500mメッシュで滞在人口（2025年10月1日時点）の分布を可視化
  - 使用データ：株式会社Agoop / 日本ソフト販売株式会社

## 事業所数の減少と賃金が上昇傾向

新宿区 事業所数と賃金の推移

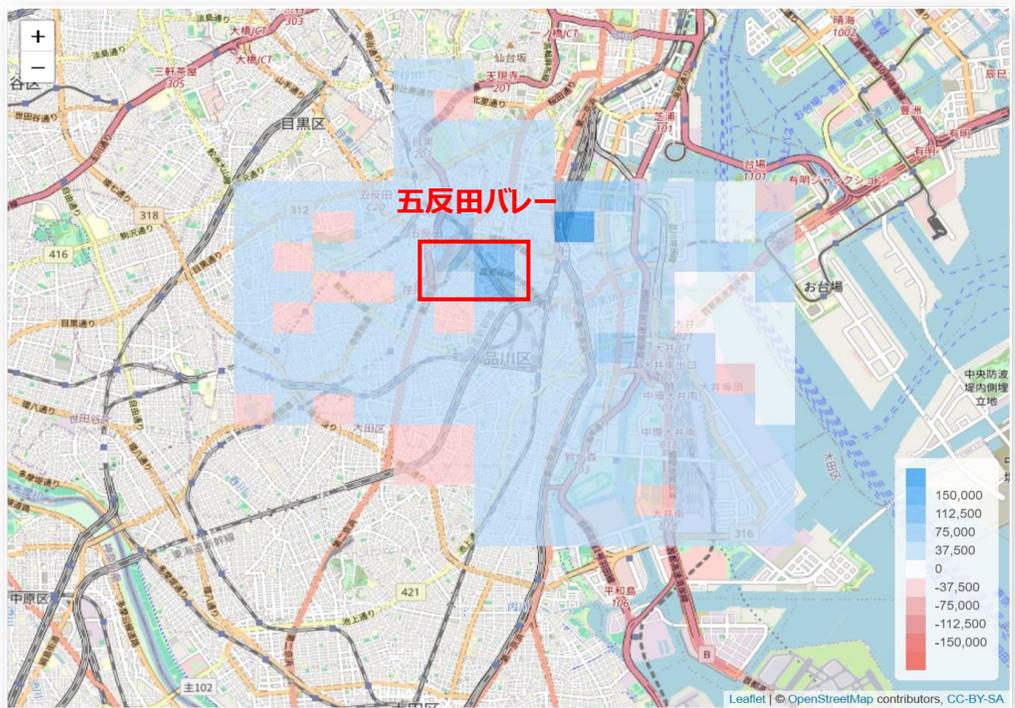


- 補足
- 第一軸（左）：求人募集賃金 (円) / 第二軸（右）：施設数 (軒)
  - 使用データ：株式会社フロッグ / 日本ソフト販売株式会社

# 事例②：人流・求人データの「品川区」を可視化

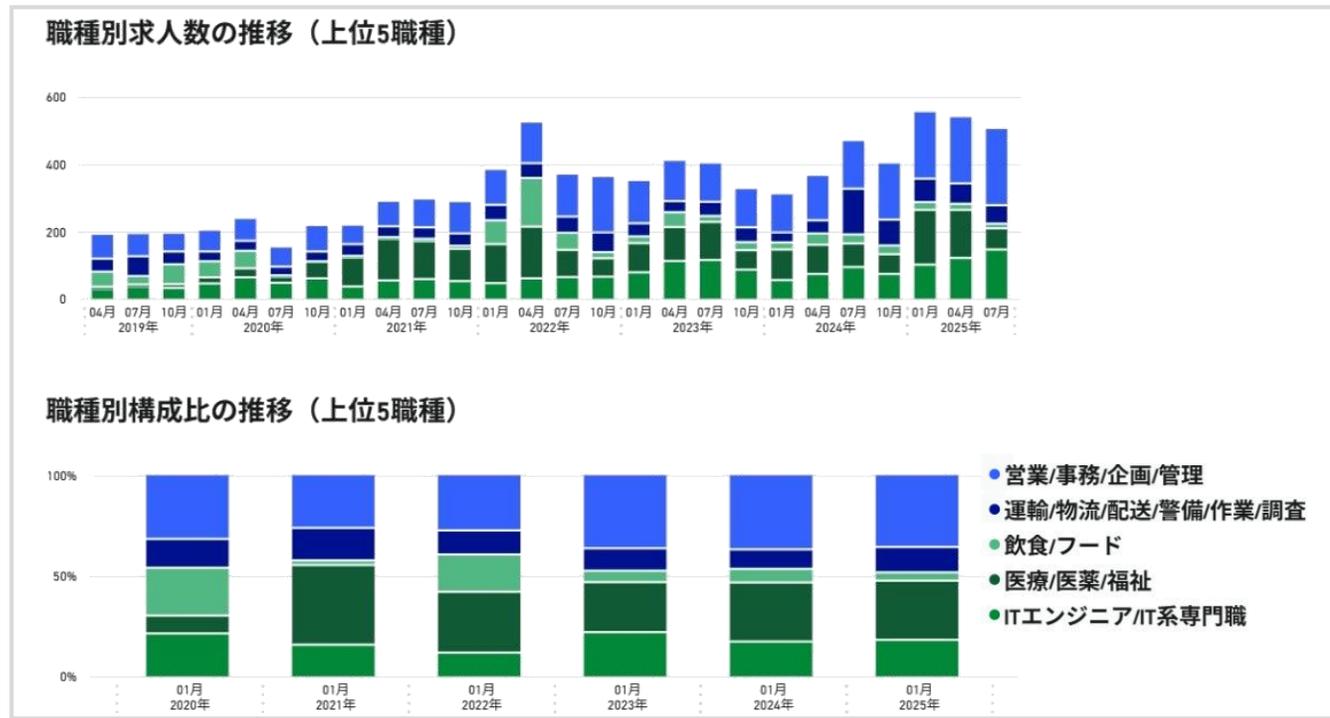
## 勤務人口の増加に伴い、職種別の求人トレンドの構造が変化

品川区 勤務人口の変化（2023年7月→2024年7月）



- 補足
- 2023年7月1日15時と2024年7月1日で勤務人口を比較し500mメッシュで可視化
  - 使用データ：株式会社Agoop

品川区 職種別求人数の推移（上位5職種）



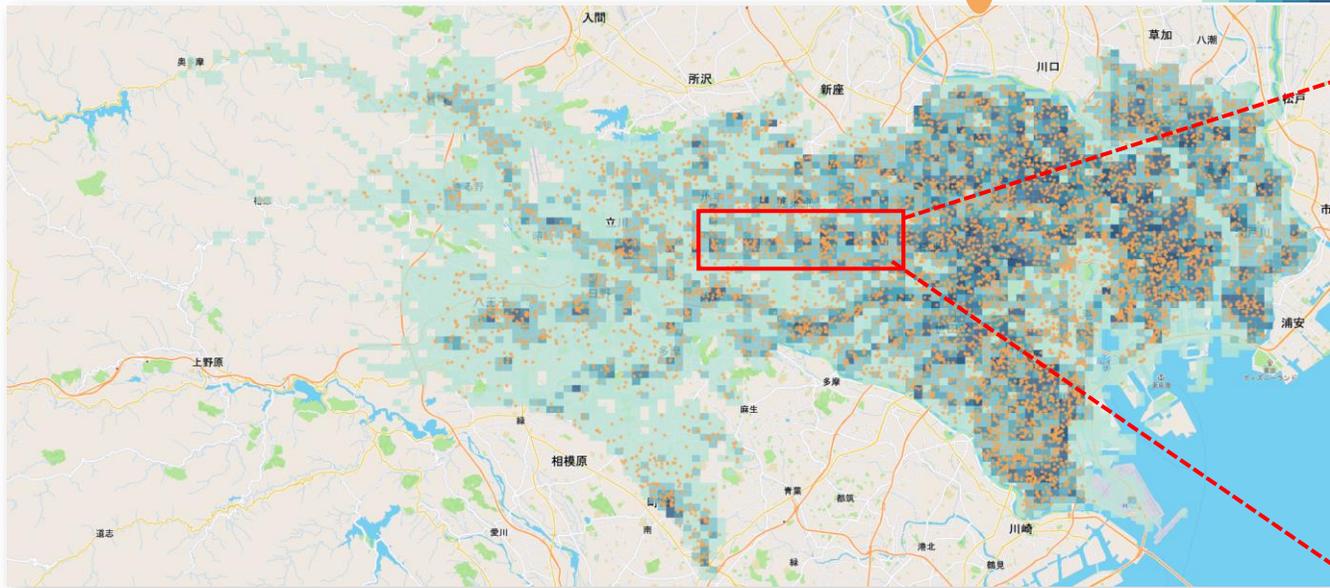
- 補足
- 2019年4月から2025年7月までの総求人件数が多い上位5職種に絞り、求人件数の推移を可視
  - 使用データ：株式会社フロッグ

# 事例③：人流データ・オープンデータで「子育て施設の立地状況」を可視化

居住人口が多い駅周辺に、子育て施設（幼稚園、保育園）が多く立地

東京都 居住人口と幼稚園保育園等

子育て施設：  平均滞在人口： 



武蔵野市・小金井市周辺

子育て施設：  平均滞在人口： 



補足

- 500mメッシュで居住人口（2025年4月時点）の分布を可視化
- 使用データ：自治体標準オープンデータセット（05.子育て施設一覧）/株式会社Agoop

# 今回の結果とデータの可視化から見えた可能性

ヒト・モノ・カネのそれぞれのデータを組み合わせることで、街の実態や変化が見えてきます



- ・人流の多いエリアにカフェ・喫茶店が多く立地している（事例①）
- ・居住人口が多い駅周辺に、子育て施設が立地されている（事例③）



- ・事業所数の減少と賃金の上昇が同時に確認され、求人状況の変化の可視化（事例①）



- ・勤務人口の増加に伴い、求人トレンド構造の変化を可視化（事例②）

データを可視化することで、新しいヒントやトレンドの発見へ